# Vixen

# SXD2赤道儀取扱説明書



#### このたびはビクセン天体望遠鏡「SXD2赤道儀」シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

「SXD2赤道儀」は天体写真撮影を意識した赤道儀です。また付属のコントローラー「STAR BOOK TEN」の大型液晶画面による天体の自動導入をはじめ、自動追尾、 天体情報表示機能など、星空を楽しむための様々な機能を搭載しております。ぜひこれらの機能をご活用いただき、快適なスターウォッチングをお楽しみください。 ※この説明書は「SXD2赤道儀」シリーズ共通の説明書です。

お買い求めいただいた機種によっては、必要ない説明も掲載されていますのでご了承ください。

- ※鏡筒とのセット品でお求めの場合は必ず鏡筒ユニットに付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。またカメラアダプターなど各種応用機器をご使用 される場合もそれぞれに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ※本書の掲載内容は本書を作成した段階での内容となっております。コントローラーのプログラムの更新で本書にはない機能が本体に含まれる場合があります。この場合追加の説明は弊社ホームページで公開しておりますのでご確認ください。また、SXD2赤道儀をお買い求めいただいた当初はコントローラーのプログラムが最新となっているとは限りません。最新のプログラムは弊社ホームページにて順次公開いたしますのでご確認ください。
- ※電源は別売となっております。ACアダプター12V・3A(別売)の使用、またはシガープラグを使用してポータブル電源SG-1000SX(別売)などバッテリー のシガーライター用ソケットから電源供給してご使用ください(電池ボックス(乾電池)では正常に動作いたしません)。

#### 必ず最初にお読みください

安全上のご注意 この説明書では、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。内容(表示、 記号)をよくご理解のうえ、製品をご使用ください。

表示の説明	
▲警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容です。
	※1:重症とは、失明、治療のための入院または長期の通院を要す重大な怪我など を指します。
⚠注意	取扱いを誤った場合、人が軽傷(※2)を負うこと、または物的損害(※3) の発生が想定される内容です。
	※2:軽傷とは治療のための入院または長期の通院を要さない怪我などを指します。 ※3:物的損害とは、家屋、家財、ペットなどに関わる損失、損害を指します。

#### ⚠警告

- ○天体望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどのレンズ機器で、絶対に太陽を のぞいてはいけません。失明の危険があります。
- ◎レンズキャップを外したままで、直射日光の下に製品を放置してはいけま せん。放置すると火災の原因となることがあります。
- ○水などがかかる場所では使用しないでください。故障の原因となるばかり ではなく、感電や火災の原因となることがあります。
- ○ご自分または弊社以外による修理、改造、分解はおやめください。故障の原 因(症状の悪化を含む)となるばかりではなく感電や怪我、火災の原因とな ることがあります。修理や点検をご希望される場合は、お買い上げの販売店 または弊社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
- ①レンズキャップ、乾燥剤、小さな部品類、包装用ポリ袋などでお子様が遊んだりしないように管理してください。飲み込んだりかぶったりすると、窒息死、怪我、健康被害を負う危険があります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ①煙が出ていたり、変な臭いがする時は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く、電池を取り出すなどしてください。そのまま使用すると火傷、感電、または火災の原因となることがあります。安全を確認した後、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
- ①内部に水や異物が混入した場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから 抜く、電源を切る、電池を取り出すなどしてください。そのまま使用すると感電、発熱、 火災の原因となることがあります。お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポー トセンターにご連絡ください。
- ①電源コード、電源プラグなどが傷んだり発熱した時は直ちに電源を切り、電源プラグが 冷えたことを確認の上、コンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電、火 災の原因となることがあります。お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポート センターにご連絡ください。
- ①本体やウェイトなど、本製品には重量の大きいパーツ、部品が含まれます。取り扱いには十分ご注意ください。落下すると故障の原因となるばかりではなく、骨折など重大な怪我をする危険があります。
- ①お手入れなどで揮発性のあるクリーナーを使用する場合、およびスプレー缶タイプの クリーナーなどを使用する場合は、換気のよい場所で行ってください。密閉された環境 で行うと中毒を起こすことがあります。
- ①お手入れなどで可燃性のあるクリーナー、およびスプレー缶タイプのクリーナーなどを使用する場合は、火気を避けて行ってください。引火などによる火災の原因となることがあります。

#### 保証について

●保証書の記載内容を良くお読みください。

記号の説明	
♦♦	してはいけない内容です。
①指示	実行しなければならない内容です。

#### ⚠注意

- ○濡れた手での操作はおやめください。特に、プラグ、コネクターの抜き差し、 および電子パーツの操作をすると感電や故障の原因となることがあります。
- ◎移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原 因となることがあります。
- ○電源コードなど通電のある配線を束ねたまま使用することはおやめください。束ねている部分に常に負荷がかかっていること、および電気抵抗による発熱が相互作用してコード被覆が傷み、ショートすることがあります。また火災の原因となることがあります。
- ①プラグ、コネクターなどをお取扱いの際はコネクター本体を持ち、まっすぐに抜き差ししてください。コードを無理に引っ張ったりすると、コード、プラグ、コネクターなどが傷つき、火災、感電などの原因となることがあります。
- ①電池を使用する場合は、次のことをお守りください。これを守らないと、機器が正常に動作しないばかりか電池の液漏れ、破裂などによる火傷、怪我の原因となることがあります。 万一、液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください(液に直接触れないようにしてください)。特に、液が目に入った場合は直ちに医師に相談してください。。
  - ◎指定以外の電池は使用しないでください。
  - ◎種類の異なる電池新しい電池と使用中(使用済)の電池をまぜて使用しないでください。
    ◎電池に表示されている使用推奨期限を過ぎた電池、使用済電池を入れたままにしないでください。

#### 使用上のご注意(使用、お手入れ、保管など)

- ○炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しない でください。故障の原因となることがあります。
- 本体を清掃する際、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変質 <sup>〇</sup>する恐れがあります。

水などがかかる場所では使用しないでください。故障の原因となるばかり <sup>〇</sup>ではなく、感電や火災の原因となることがあります。

- ①保管する際は直射日光を避け、風通しのよい乾燥した場所に保管してください。ホコリ除けとしてビニールなどをかぶせておくと、さらによいです。
- ①電池で動作する電子パーツを長期保管される場合は、必ず電池を抜いて保管してください。電池が液漏れすることがあります。
- ①製品に、雨や水滴、泥、砂などがかからないようにしてください。これらが付着して汚れた場合(レンズなどの光学面を除く)、硬く絞った濡れ布巾などでよく拭き取ってください。清掃の際は傷をつけないように十分ご注意ください
- ①レンズなどの光学面にホコリやゴミが付着した場合は、市販のカメラレンズ用ブロワ 一等で吹き飛ばしてください。
- ①万一、指紋や油脂など落としにくい汚れがレンズに付着した場合、市販のカメラレンズ用 ブロワー等でホコリやゴミを取り除いた後、カメラレンズ用レンズペーパー(市販品)※に 少量のカメラレンズ用レンズクリーナー(市販品)※をしみこませ、軽く拭き取ってく ださい。レンズなどの光学面は大変デリケートです。清掃の際、傷をつけないように十 分ご注意ください。

※それぞれに付属の説明書、注意書きなどもよくお読みください。

#### 目 次

はじめに・・・・・ P 2
必ず最初にお読みください ・・・・・ P 2
⚠警告 ······ P 2
<b>☆注意・・・・・・P2</b>
保証について・・・・・ P 2
使用上のご注意(使用、お手入れ、保管など)・・・・・ Ρ 2
目 次······P3
ご使用の前に・・・・・ Р 4
©セット内容の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ご使用方法 ・・・・・ P9
◎全体の流れ ·····P9
① 準備 ····· P10 STAR BOOK TEN用メモリー電池について ···· P10
STAR BOOK TENHACED - 電池についていいけいいい         ②電池の入れ方         P10         ③電池の交換方法         P10         文体望遠鏡の組立て         F11         I 三脚の設置         P11         ①素道儀の接続         回赤道儀の接続(SXG/\-7ビラ-を使用する場合         P12         ◎赤道儀の接続(SXG/\-7ビラ-を使用する場合)         P12         ◎赤道儀の接続(SXG/\-7ビラ-を使用する場合)         P12         ◎赤道儀の接続(SXG/\-7ビラ-を使用する場合)         P12         ◎赤道儀の接続(SXG/\-7ビラ-を使用する場合)         P12         ◎赤道儀の接続(SXG/\-7ビラ-を使用する場合)         P13         IV鏡筒の取付け         P14         Vファインダーの取付け         P15         VIファインダーの取付け         P16         WI鏡筒とウェイトのバランス合わせ         P16         ◎ 赤緯バランスのとり方         P17         ◎ 赤経バランスのとり方         P18         IXSTARBOOKケーブルの接続         ◎ STARBOOKケーブルを新道儀に接続します。         P19         ◎ STARBOOKケーブルを新道儀に接続します。         P19
(2) 初期設定・       P20         I 電源を入れる・       P20         II日付時刻設定・       P20         II田付時刻設定・       P20         II観測場所設定・       P21         ③新規入力の場合・       P21         ③利潤子ータを適用する場合または修正削除する場合・       P22         ◎タイムゾーンについて・       P23         ◎各地の経緯度・       P23         Ⅳ言語設定・       P23
③ 基本操作 ······ P24
<ul> <li>I 天体望遠鏡を動かす・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
Ⅲ 大体観測を始めてみよう・・・・・・・・・ P31

④ 天体の自動導入・・・・・ P32
◎ 天体自動導入の仕組み · · · · · · · · P32
◎ 天体自動導入の流れ ······ P32
I 赤垣俄の設直·····P33 II ホームポジションの確認 ·······P33
Ⅲ アライメント(方向設定)・・・・・・・・・・ P35
Ⅳ 天体の導入開始 ····································
V CHART MODEにおける自動導入・・・・・・・ P42 VI 各種天体の導入について・・・・・・・・・・・・・・・・・ P44
SOLAR キー(太陽、月、惑星)・・・・・・・・ P44
NAMED キー(有名な天体)・・・・・・・・・ <b>P44</b>
M キー(メシエ天体)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
STAR キー(恒星)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◎導入例〔月面地図〕 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
月面地図を呼び出す① ••••••• P45
月面地図を呼び出す②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
画面の説明(SCOPE MODEの場合)・・・・・・ P47
SCOPE MODEで自動導入を行う場合・・・・・ P48
拡大、縮小、スクロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P48 反転 回転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P48
左右鏡像反転 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
上下鏡像反転 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••
180度回転 ······ P49
回転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
CHART MODEで自動導入を行う場合 ··· P50
登録されてる月面地名リスト ········ P51
◎導入例[NGC224(M3]:アントロメタ銀河)]・・・P52 ◎天体メニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P53
OBJECT + P53
"導入天体リスト"の表示方法・・・・・・・ P53
"星座"からの目動導人方法 ・・・・・・P54 "バイェル記号"画面を直接呼び出す ・・・・ P55
"座標"からの自動導入方法 ・・・・・・ P56
"彗星"からの自動導入方法 ・・・・・・ P57
"人工衛星"からの目動導入方法 ・・・・・・ P59 "ユーザー座標"からの自動導入方法 ・・・・ P61
"ホームポジション"に戻す方法・・・・・・・ P62
⑤ 広田編 ······ P63
<ol> <li>心市福</li> <li>「極軸望遠鏡のご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ol>
◎極軸望遠鏡の各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P63
◎北半球における極軸の合わせ方 ・・・・・・ P63
◎南半球における極軸について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◎ 南干球における極軸の合わせ方・・・・・・・ P00 参考:八分儀座4星の見つけ方・・・・・・・ P67
◎より精密な極軸合わせ(上級者向け) ···· P68
◎北半球における設置······ P68
◎ 南半球における設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P70 ◎ 高端度またけ低端度地方におけるセッティング・・・ P71
◎高橋度などは監修及ものについってリュンシート11 Ⅱ "初期設定"画面(電源投入直後の画面)・・・・ P72
前回の架台設定を使用・・・・・・・・・・・・ P72
時刻の設定 ······P72 観測場ご
観測场/// ··································
夜間表示······ P73
キーの照明 ······ P73
音量調整······P74 十気美補正 ······ P74
言語/Language ····································
メモリの初期化 ····· P75
メモリの初期化 ······ P75 Star Book TENについて ····· P76
メモリの初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
メモリの初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
メモリの初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
メモリの初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

恒星の表示 · · · · · P80 仮見タ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
′但∉石・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P81 バイエル記号 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P82
太陽·月·惑星 ····· P83
彗星······P84
入丄衛星 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
祝野円 ······P87
カタログ天体 ······ P88
マーク·奋号·名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
種類······P90
架台の設定 ······ P91
万回キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
赤経赤緯 ······ P92
X-Y P92
オートガイダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
PEC制御 ····································
バックラッシュ補正・・・・・・ P99
導入速度変更 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
モーター消費電力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P102
架台の種類 ・・・・・ P103
子午線越え ······ P104
強制追尾停止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
自動導入(東側) • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
アライメントデータ削除 ······ P107 エはの沪尼 ····· P109
入体の道尾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
時刻の設定 ・・・・・ P109
日時表示 ······ P109
武河場/ゴー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
夜間表示 · · · · · P112
キー照明 ······ P112 ナタギオエ
→ A 定備止 ······ P113 音量調整 ······ P113
導入確認メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・ P114
言語/Language ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
後能拡張・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Star Book TENについて ······ P115
LANについて ······ P116 加ム信却
※ 古 1 f 報 ····· P117 IVSTAR BOOK TEN単体でのご使用について···· P118
◎各種パソコン接続機能 ・・・・・ P118
Vバージョンアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P119
◎ハーションアッノ手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◎入力手順 ······ P122
◎送信データ形式・・・・・・ P126
VII 付録 (Appendix) ······ P128 ◎STAR BOOK TFNコントローラー
本体コネクターの仕様 ··········· P128
◎赤道儀側端子仕様・・・・・・・・・・・・・ P128
◎赤追儀本体寸法凶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
②SXG-HAL130三脚(別売)寸法図 ······ P130
◎ピラー脚 SXG-P85DX (別売)寸法図・・・・ P130
⑥ FAQ(質問編)······ P131
⑦ FAQ(トラブル編)・・・・・ P134

ビクセン製品ご相談窓口のご案内・・・・・ P139

3

◎セット内容の確認

#### 「SXD2赤道儀」は以下のものが入っています。内容をお確かめください。

赤道儀以外のセット内容(鏡筒など各種機器)についてはそれぞれに付属の説明書にてご確認ください。※電源は別売となっております。

#### SXD2赤道儀のセット内容 \*1.\*2

SXD2赤道儀本体×1
SXD2赤道儀本体×1
SXウェイト3.7kg×1個、1.9kg×1個
STÂR BOOK TÊNコントローラー本体×1
STÂR BOOKケーブル×1
LANケーブル用フェライトコア×1
プラスドライバー×1
M8ネジ×2本
六角レンチ6mm、5mm、1.5mm、1.27mm(各1本)
シガーソケット用電源コード×1
STAR BOOK TEN用ストラップ×1
SXD2赤道儀取扱説明書(本書)×1
カラー星空ガイドブック×1
1年間・5年間保証書(電子機器1年、機械パーツ5年)×1
ユーザー登録葉書×1

STAR BOOK TEN内蔵時計用メモリー電池CR2032(動作確認用)×1個

\*1:望遠鏡セット品でお買い求めの場合は内容明細が異なることがあります。 \*2:電源は別売です。

# ◎赤道儀の原理

#### 赤道儀とは?

星は北極星(正確には天の北極)を中心に して1日約1回転しているように見えます (星の日周運動)。これは地球が地軸を中 心にして1日に約1回自転しているために 起こるものです。この日周運動に合わせ て望遠鏡を動かせる構造を持つ架台(望 遠鏡を載せる台)を「赤道儀」といいます。 「赤道儀」は、その回転軸(極軸)と地軸(地 球の自転軸)を平行に設置することで機 能するようになります。(下図を参照)







# ◎赤道儀の基本動作と注意事項

# SXD2赤道儀の動作は、すべてSTAR BOOK TEN コントローラーによる電動式となっています。

赤道儀は全体の重量バランスが取れた状態ではじめて正確に機能します。 バランスが崩れたまま使用すると、星をスムーズに追尾できない、振動の 影響を受け易い、鏡筒がずれるなどして観測が行なえない、あるいは故障 の原因となる場合もあります。必ず重量バランスを取ってください。バラ ンスの取り方については、準備の項(P16~参照)をお読みください。

# ◎注意1:クランプをゆるめずに手で動かすと、故障の原因となります。 ◎注意2:強いショックを与えるとギヤやベアリングに重大な 損傷が起こり正常に動作ができなくなることがあります。

SXD2赤道儀は赤道儀をホームポジションに向けるため、また収納の際に コンパクトにまとめられるよう、クランプ(しめつけノブ)を装備してい ます。また万がーショックを受けた場合に重要パーツであるギアを保護 するため、収納して運搬する際は、クランプを必ずゆるめてください。また、 クランプをゆるめた状態を除き、手動では決して動かさないでください。 (コントローラにてご使用の際は必ずこのクランプをしめてください。)

#### ◎注意3:STAR BOOKケーブルはパソコンなど他の機器には "絶対に"接続しないでください。

接続した場合、故障や発熱、感電などの事故が起きる可能性があります。 STAR BOOKケーブルのプラグ形状はRS232C(D-SUB 9 PIN)と同等です が、パソコンなど他の機器に接続できる仕様とはなっておりませんので ご注意ください。



例:SXD2-AX103S

5

◎スペック	仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。
仕様	SXD2赤道儀本体
赤経微動	ウォームホイールによる全周微動、φ72mm・歯数180枚、材質: 真鍮
赤緯微動	ウォームホイールによる全周微動、φ72mm・歯数180枚、材質: 真鍮
ウォーム軸	φ 9 mm、材質: 真鍮
赤経軸(極軸)	φ35mm、材質:炭素鋼
赤緯軸	φ 40mm、材質: 炭素鋼
ベアリング数	9個
ウェイト軸	
極軸望遠鏡	内蔵式6倍20mm・実視界8°、水準器・明視野照明内蔵、据付精度約3′
	時 刻 目 盛: 1目盛10分単位、範囲:16時~翌8時
	月日目盛:1日盛2日単位
	経度差補正:1目盛5°単位、標準子午線から±20°以内で対応
	北 半 球 :北極点導入目盛仕様(2025年まで対応)、南半球 :八分儀座4星導入スケール仕様
方位角範囲	微動:約±7°、ダブルスクリュー式微動ネジ付: 1回転約1.2°
極軸傾斜角範囲	高度0~70°(微動範囲±15°)、目盛2°間隔、3段階使用可(高緯度、中緯度、低緯度対応)
	タンジェントスクリュー式微動ネジ付: 1回転約0.8°
駆動	パルスモーターによる電動駆動、マイクロステップ駆動(約250pps)
自動導入·追尾	STAR BOOK TENコントローラーによる自動導入、最高約1000倍速(対恒星時)、高精度追尾
搭載可能重量	約1.3~15kg(モーメント荷重32.5~375kg·cm: 不動点より25cmで約1.3~15kg)
コントローラー接続端子	D-SUB9PINオス
電源端子	DC12V EIAJ RC5320A Class4(統一規格)センタープラス
電源·消費電流	SXD2赤道儀本体+STAR BOOK TEN: DC12V・0.45~2.2A(標準約10kg搭載時)・0.6~2.5A(約16kg搭載時:最大搭載)
大きさ	343×360×128 mm(突起部をのぞく)
重さ	約9.2kg(ウェイトを含まず)
ウェイト	1.9kg×1、3.7kg×1
他オプション(別売)	SXG-HAL130三脚、SXGハーフピラー、ピラー脚SXG-P85DX、電源(SG-1000SX、ACアダプター12V・3A)

仕様	STAR BOOK TENコントローラー
CPU	32bit RISC Processor 324MHz SH7764
画面	TFT型5インチカラー液晶、WVGA(800×480=384,000p×I)65,536色・バックライト付
電源端子	DC12V EIAJ RC5320A Class4(統一規格)センタープラス
オートガイダー端子	6極6芯モジュラージャック(外部オートガイダー用)
LAN端子	10BASE-T
赤道儀接続端子	D-SUB9PIN オス
拡張スロット	アドバンスユニット(別売)対応
赤経赤緯表示	赤経 RA : 1s(時角)単位、赤緯 Dec : 0.1′単位
電源	DC12V(観測時は赤道儀側より電力供給)
内蔵時計用メモリー電池	CR2032×1個(モニター用電池)
消費電力	STAR BOOK TEN単独使用時: 12V・0.5A(最大)
動作温度	0∼40°C
大きさ	縦169×横154×厚さ30mm(突起部を除く)
重さ	380g(内蔵時計用メモリー電池、拡張ユニット、ケーブル類を除く)
記憶天体数	272,342個(SAO:258,997個、NGC:7,840個、IC:5,386個、M:109個※、太陽、月・惑星7個・準惑星)
	※M40:欠番となっています、M91:NGC4548、M102:NGC5866として適用しています
主な機能	天体自動導入、恒星・太陽・月・惑星・彗星追尾、人工衛星追尾、月面地図、バックラッシュ補正、PEC機能、
	外部オートガイダー接続、夜間表示、天体情報表示、5ヶ国語対応(日本語/英語/イタリア語/ドイツ語/スペイン語)、
	輝度調整、スタンバイ機能、スピーカー内蔵、LAN接続によるバージョンアップ機能
	■対応OS
	Microsoft Windows® XP HomeEdition Service Pack 3以降
	Microsoft Windows® XP Professional Service Pack 3以降
	Microsoft Windows® Vista HomeBasic
	Microsoft Windows® Vista HomePremium
	Microsoft Windows® Vista Business
	Microsoft Windows® 7 HomePremium
	Microsoft Windows® 7 Professional
	Microsoft Windows® 7 Ultimate
	Microsoft Windows® 8
	Microsoft Windows® 8 Pro ※MacOS、Linux、Unixには対応していませんので、ご注意ください。

# ◎ STAR BOOK TENコントローラー図解



#### ② ズームキー ------

条件により次の機能に対応します。

②ズームキー	画面表示状態を段階的に拡大縮小します。
	画面を拡大表示
	画面を縮小表示

②ズームキー	各種メニュー画面表示にて カーソルの縦移動または数値入力に対応。
	カーソルが上に1つずつ移動。画面に表示しきれない多数 天体をメニュー表示している場合は5行飛ばしで移動。 数値入力では数値10ずつ増加。
	カーソルが下に1つずつ移動。画面に表示しきれない多数 天体をメニュー表示している場合は5行飛ばしで移動。 数値入力では数値10ずつ減少。

@ <b>ズ</b> ームキー	モーター操作時におけるモーター反応速度を段階的 に変更します。(約0.5~1000倍速:対恒星時。 最大値は設定により変わります)
	減速(画面拡大にリンク)
	増速(画面縮小にリンク)

@ <b>ズー</b> ムキー	文章などの表示で画面に収まりきらない場合に上下 にスクロールできます。
	上にスクロールできます。
	下にスクロールできます。



スター ブック テン STAR BOOK TENコントローラー端子面

- ⑥ 外部オートガイダー端子(A.G.)
- ⑦ LAN端子(10BASE-T)
- ⑧ マウント接続端子(MOUNT)
- ⑨ 拡張スロット(カバー内側。アドバンスユニット(別売)に対応)

④ 方向キー	星図表示のスクロール
	液晶画面モニターに映し出された星図表示が▲・マ・④・ に対応してスクロールします※。 ※方向キーの設定が高度方位設定の場合
	方向キーの設定が赤経赤緯またはX-Y設定の場合、④・ で赤緯方向、▲・▼で赤経方向にスクロールします。
$\bigcirc$	<ul> <li>              ・● に対応した方向に対応してカーソルが移動します。また条件により、             ・■:ENTÉRキー同等機能(ただし値の決定機能は持ちません)      </li> </ul>
	<ul><li>・メニュー表示を一つ戻すとして機能します。</li></ul>

⑤ 10キー・ コマンドキー	10キー(テンキー)・コマンドキーの各機能 (数値入力機能以外)
	©画面モード(SCOPE MODE、CHART MODE)の切替に 対応します。特にCHART MODE → SCOPE MODEへの 切替の際は自動導入開始に対応します。 ©メニュー画面などで値の入力において、値の決定に対応します。
クリア CLEAR	表示されているダイアログボックス(MENU画面、メッセージ 画面など)をクリア(消去)します。クリアすると星図画面(初期 設定では最初の初期設定画面)に戻ります。
	メインメニュー画面を表示します。 各種設定をする際に使用します。
V-7- SOLAR	太陽、月、惑星、準惑星を自動導入の対象としてメニューで選択 できます。長押しすることにより"月面地図"画面が呼び出せます。
×−∆ <b>2</b> NAMED	アンドロメダ銀河、プレアデス星団など有名な名称を持つ 天体を自動導入の対象としてメニューで選択できます。
7-ルエックスエー 3 R/X/A	方向キーの動作モードを高度方位、赤経赤緯、X-Y(赤道儀の機械座標) から選択できます。長押しすることにより"表示形式"画面が呼び出せます。
エムまたはメシエ 4 M	M(メシエ)天体を自動導入の対象としてメニューで選択 できます。
エヌジーシー アイシー 5 NGC/IC	NGC/IC天体を自動導入の対象としてメニューで選択できます。 NGC/ICの切替は (manu)キーで行います。
<i>λ</i> 9− <b>6</b> STAR	シリウス、アンタレスなど代表的な名称を持つ恒星を自動導入の対象としてメニュー で選択できます。長押しすることにより"バイエル記号"画面が呼び出せます。
オブジェクト <b>7</b> OBJECT	天体メニューを表示します。
$\begin{array}{c} 1 - \overline{\tau} \cdot 1 - \overline{\nu} - \overline{\nu} \\ \hline 8 \\ \text{ETC} \end{array}$	数値入力のみ。(2012年11月現在)
アライン 9 ALIGN	アライメント(STAR BOOK TENが記憶する星図と実際の 天体とのマッチング)を行います。

# ◎ STAR BOOK TENコントローラー画面表示の詳細







項目	説明
12 目標天体の赤経	目標天体(ターゲット)の赤経、赤緯座標です。
·赤緯座標	
1③ アライメント数	取得したアライメントの総数です。
⑭ 拡大率グラフ	星図表示の拡大率をイメージグラフ化したものです。
15 モーター速度	個別の拡大率において方向キーを操作した場合に
	おけるモーター速度の最高値を表したものです。
16 方向キーモード	方向キー ▲・マ・ ●・ に対する動作方向を
	指定します。
① 赤経線	赤経線です。0h~23hまで1h間隔となっています。
18 赤緯線	赤緯の線です(極のみ交点)。
	-90~+90まで10°間隔となっています。
19 地平線	地上における地平線に相当します。

天体の図記号\*1

	46 ° J		
記号	内 容	記号	内容
٩	系外銀河	0	火星* <sup>2</sup>
100	散光星雲	<b>(</b> ])	木星* <sup>2</sup>
:::	球状星団		土星* <sup>2</sup>
$\cdot$	散開星団	-	天王星
0	惑星状星雲	-	海王星
	太陽* <sup>2、*3</sup>	0	冥王星(準惑星)
	月*2、*4	۲	彗星* <sup>5</sup>
	水星*2	-5-	人工衛星*5
	金星* <sup>2</sup>	<ul> <li>*1:イメージ図である</li> <li>また一部天体</li> <li>状況に関わられ</li> </ul>	あり実際の見え方とは異なります。 本(*2参照)を除き画面表示拡大 っず表示の大きさは変わりません。

\*2:太陽、月、水星、金星、火星、木星、土星は画面表示拡大状況により見かけの大きさが変わります。また、月水星、金星の満ち欠け、月面地図、木星の表面模様及び大赤斑の概略位置、四大衛星、土星の環の傾きに対応します。

\*3:惑星などの日面通過、日食、月食などにおける厳密な位置確認には対応しておりません。

\*4:満ち欠けの様子はあくまでイメージです。また月の形状についてもイメージであり、掩蔽観測、月食などにおける厳密な位置確認には対応しておりません。

\*5:軌道要素データを登録しないと表示されません。



方向設定が完了すれば、自動導入によるスターウォッチングが可能です。



9

# STAR BOOK TEN用メモリー電池について

STAR BOOK TENコントローラーでは内蔵時計などで、電池(CR2032)を使用します。工場出荷時は電池をセットしていませんので、電池を入れ てください。電池の持続時間は新品電池をセットした場合で約1年間です。

(電池を入れない、もしくは電池切れの場合でもご使用いただけますが、ご使用毎に時計や観測地設定を入力していただく必要があります。)



#### ◎注意

フタを開けた際、中に電気伝導性のあるもの(金属類、液体など)を入れたりしないでください。感電、故障の原因となることがあります。

# 天体望遠鏡の組立て

- 鏡筒やパーツ類を取付ける場合はそれぞれの説明書も併せてお読みください。
- 赤道儀単体でお求めの場合またはお買い求めのセット内容によっては含まれないものもあります。
- ◎ 重量があるので組立て時は十分に注意してください。落下すると機器が故障するばかりでなくケガをする危険があります。

○ 組立て時、三脚の可動部分に指などをはさまないように十分注意してください。

# [ 三脚の設置

三脚は別売です。ただし望遠鏡 セットでお求めの場合はセット に付属していることがあります。

- ▲水平で安定した観測場所を選んで設置してください。
- 2 必要に応じて三脚の長さを調整してください。高さ調整クランプをゆるめると長さが調整できます。設定後はゆるまないようにしっかりとしめつけてください。
- 3次に、天体望遠鏡が転倒しないよう、三脚をいっぱいに開いて設置してください。また、上面が水平になるように設置してください。



▲ 水平支点(ツノ)を取付けます。 三脚架台上面の表記を確認し、 搭載するマウントに合わせた 方にねじ込みます。(4-1) 市販のドライバーなどを使用 してゆるまないようにしっか りと固定してください※。(4-2)



- ※水平支点を取付ける場合はゆ るまないようにしっかりと固 定してください。特に奥までし っかりとねじ込んで固定しま せんと使用中に曲がったり破 損することがあります。
- ※ 水平支点が北側になるように 三脚を設置してください。



◎SXGハーフピラーを使用する場合

ハーフピラー本体に水平支点 (ツノ)、スペーサーを取付けます。

ピラー架台の外側にあるネジ 穴を利用し水平支点、スペーサ ーを取付けます。(1-1)



SXG-HAL130三脚





2ハーフピラーの下にある固定ネジをあらかじめゆるめておき、ハーフ ピラーを三脚に載せます。(2-1) 載せる際は、ハーフピラーの下にある穴と脚側(三脚、ピラー脚など)の水平支点(ツノ)の位置を合わせて載せてください。(2-2) 載せた後は三脚にある架台固定ボルトとハーフピラーの固定ネジをしっかりとしめて固定してください。(2-3)







※ハーフピラーの水平支点が北側になるように三脚を設置してください。

#### ①準備

# Ⅱ 赤道儀の接続

# ⚠ 赤道儀は大変重量がありますので、取扱いには十分ご注意ください。

# ◎赤道儀の接続(SXGハーフピラーを使用しない場合)

架台の方位調整ツマミをあら かじめゆるめておきます。



2 写真を参考に架台を三脚の上 に置き、下から架台固定ボルト (下からのネジ)で固定します。 取付ける際、三脚架台部分にあ る水平支点(ツノ)が方位調整 ツマミのネジではさみ込まれ る位置になるように配置して ください。(2-1)、(2-2)





3 最後に方位調整ツマミをしめ てください。



# ◎赤道儀の接続(SXGハーフピラーを使用する場合)

架台側の方位調整ツマミをあらかじめゆるめておき、左写真のように ハーフピラーの上に載せます。

2その後ハーフピラー内部にある架台固定ボルトをしめて固定します。

赤道儀に使用する場合は、ハーフ ピラーにある水平支点(ツノ) が方位調整ツマミのネジでは さみ込まれる位置になるよう に配置してください。





3 最後に、方位調整ツマミをしめ てください。



#### 以下SXGハーフピラーを使用していない写真で説明しています。

# Ⅲ ウェイトの取付け

搭載機材が軽量の場合はウェイト軸の重量だけでバランスが合うことがあります。搭載機材の重量が2kg程度の場合、ウェイトは取付け不要です。

# ⚠ ウェイトは大変重いパーツですから、取扱いには十分ご注意ください。

ウェイト軸固定クランプをゆ るめると、ウェイト軸を引き 出せます。ウェイト軸をいっ ぱいまで引き出して、ウェイ ト軸固定クランプをしっかり としめます。



2 ウェイト脱落防止ネジを回し て取外します。ウェイトにある ウェイト固定クランプをゆる めて、ウェイト軸に通します。



3 ウェイトを通す際は写真のようにウェイト固定クランプが上(ウェイト軸の付け根側)になるようにしてください。





4
ウェイト固定クランプをしめ
て固定します。また
安全のため
ウェイト脱落防止ネジをウェ
イト軸先端に再び取付けてく
ださい。ゆるまないようにしっ
かりと固定してください。



# Ⅳ 鏡筒の取付け

SXD2赤道儀ではアタッチメントプレートWTまたはアタッチメント レール(スライドバー)を装備した鏡筒を取付けることができます。 例: AX103S、ED115S、VC200L



#### ① 鏡筒が脱落するとたいへん危険です。取扱いには十分ご注意ください。

鏡筒が脱落するとたいへん危険です。鏡筒固定ネジはしっかりとしめてください。併せて鏡筒脱落防止ネジも一番奥までねじ込み、しっかりとしめてください。

#### ● AX103S鏡筒を取付けた例

「写真のように鏡筒固定ネジ、 鏡筒脱落防止ネジをあらかじ めゆるめておきます。



2鏡筒のアタッチメントプレート WTを写真のように赤道機の 筒受けの溝にはめます。



3 鏡筒を支えながらネジをしめて 固定します。

①鏡筒固定ネジ
 ②鏡筒脱落防止ネジ
 の順でネジをしめます。鏡筒固定
 ネジはゆるまないようにしっか
 りしめ込み固定してください。



次頁の「Vファインダーの取付け」へ進みます。

V ファインダーの取付け(機種によりファインダーは異なります。)

ファインダーを使用するためには調整が必要です。詳しくはP28~をお読みください。

#### ▲ 警告!

作業の性質上、手順を誤るとファインダーなど取付けた機器を落下させる危険もあります。落下させると機器故障の原因となるばかりではなくケガをす る恐れがありますので、作業中の鏡筒保持は十分注意して行ってください。特にネジ類をゆるめる場合はゆるめすぎに十分ご注意ください。



# ◎XYスポットファインダーの場合

ファインダー脚固定ネジを回しゆるめます。

2本体の向きに注意しながら、ファインダー脚台座のアリミゾに差し込み、 ファインダー脚固定ネジを回し固定します。

※ スポットファインダー脚はプラスチック製です。(強くしめ過ぎますと 破損につながる場合がありますのでご注意ください。)



# Ⅵ フリップミラーの取付け

ここではAX103S鏡筒の例でご説明いたします。機種によっては フリップミラーではなく、接眼アダプターのみが付属していること があります。

詳しくは各鏡筒の説明書にてご確認ください。

写真のように接眼部にある2本の固定ネジをゆるめてフリップミラー を取付けます。

2取付けたら固定ネジをしっかりしめて固定してください。



#### Ⅲ 接眼レンズの取付け

ここではAX103S鏡筒の例でご説明いたします。機種によっては 接眼部が異なることがあります。 詳しくは各鏡筒の説明書にてご確認ください。

接眼レンズ固定ネジをゆるめ、接眼レンズを右図のように差し込みます。

差し込んだら接眼レンズ固定ネジで固定してください。

※ フリップミラーでは、2ケ所に接眼レンズを取付けることができます。 ただし接眼レンズの同時使用はできません。



# Ⅷ 鏡筒とウェイトのバランス合わせ

■ バランスを合わせなければならない理由

ドイツ式赤道儀では赤経軸(極軸)、および赤緯軸と呼ばれる互いに直交する2つの軸に沿って回転動作します。それぞれの回転はギアにより行い ますが、ギアの負担が少ないほど安定する性質があります。重量バランスが崩れているとギアに負担がかかり、正常動作しないことがあります。 天体望遠鏡では性質上高い回転精度を要求されるため、できるだけギアの負担を少なくすることが重要です。このため赤経と赤緯それぞれの回 転軸に重心が来るように調整します。

※ 1.3kg以下の鏡筒を搭載するとバランスが取れないことがあります。この場合はマルチプレートDX(別売)などを併用して1.3kg以上となるよう にしてご使用ください。

#### ▲ 警告!

作業の性質上、保持の方法によっては鏡筒やファインダーなど取付けた機器を落下させる危険もあります。落下させると機器故障の原因とな るばかりではなくケガをする恐れがありますので、作業中の鏡筒保持は十分注意して行ってください。特にネジ類をゆるめる場合はゆるめす ぎないように十分ご注意ください。

# ◎ 赤緯バランスのとり方

# アタッチメントレール(スライドバー)式鏡筒の場合

ウェイト軸

赤緯クランプ

第篇またはウェイト軸を手で 支えながら、赤経クランプをゆ るめて(1-1)、ウェイト軸が水 平になるようにします。(1-2) 位置が定まったら赤経クラン プをしめて自然に動かないよ うにします。

※必ず鏡筒またはウェイト軸 を手で支えながら行ってくだ さい。手で支えずにクランプを ゆるめるとケガや故障の原因 となります。

2次に鏡筒を手で支えながら赤 緯クランプをゆるめます。(2-1)

ここで、赤緯クランプをゆるめ ても鏡筒が重量によって自然 に動かない状態であるかどう かを確認します。手を離しても 鏡筒が動かない場合は調整の 必要はありません。手を離すと 重量で自然に動く場合は以下 の調整をします。

鏡筒を手でしっかりと支えながら アタッチメントレール(スライド バー)をしめつけている鏡筒固定 ネジを少しゆるめます。 (①注意)

目安として鏡筒が矢印( ← → ) の方向にスライドできるよう にゆるめます。鏡筒の位置をず らして鏡筒固定ネジをしめて 仮固定し、手を離しても鏡筒が 自然に動かなくなる位置(重心) を探します。



#### ① 注意

ネジをゆるめ過ぎると鏡筒が落下する恐れがあります。大変危険ですの で十分ご注意ください。

落下防止のため必ず鏡筒をしっかりと保持しながら調整してください。

3場所(重心)が定まったら鏡筒 固定ネジをしめます。ゆるまな いようにしっかりと固定して ください。 鏡筒脱落防止ネジも併せてし めてください。

4 赤緯クランプをしめて赤緯 バランス取りは完了です。



# 鏡筒バンド式鏡筒の場合

2次に鏡筒を手で支えながら赤 緯クランプをゆるめます。

铜

赤経クランフ

1-22-1

ウエイト軸

ここで、赤緯クランプをゆる めても鏡筒が重量によって自 然に動かない状態であるかど うかを確認します。手を離し ても鏡筒が動かない場合は調 整の必要はありません。手を 離すと重量で自然に動く場合 は調整します。



鏡筒を手でしっかりと支えな がら鏡筒バンドのしめネジを 少しゆるめます。 **①注意** 

目安として鏡筒が矢印( ← → ) の方向にスライドできるよう にゆるめます。鏡筒の位置を ずらしてみて、手を離しても 鏡筒が自然に動かなくなる位 置(重心)を探します。 と>ト1



#### ① 注意

ネジをゆるめ過ぎると鏡筒が落下する恐れがあります。大変危険で すので十分ご注意ください。 落下防止のため必ず鏡筒を保持しながら調整してください。

3場所(重心)が定まったら鏡筒バンドのしめネジをしめます。ゆるまないようにしっかりと固定してください。



#### ヒント1:バランス

重心がとれず、バランスが取れない場合、あるいは取りにくい場合 は汎用スライドバー(別売)、マルチプレートDX(別売)などの併用を 推奨いたします。

# ◎ 赤経バランスのとり方

・ウェイト軸を手で支えながら赤緯軸、またはウェイト軸が水平になるまで回転させます。手を離しても鏡筒が自然に動かなければ調整の必要はありません。手を離すと重量で自然に動く場合は調整します。

- ウェイト軸を手で支えながらウェイト固定クランプをゆるめて、ウェイトをウェイト軸上でスライドさせウェイト固定クラ
- ンプを仮固定します。この操作をくり返しながら、鏡筒の重さとウェイトの重さがつり合う位置を探してください。①注意 手を離しても鏡筒が重量で自然に動かなくなるまで行います。
- ※ 搭載機材重量が軽量である場合はウェイト軸自体の重さでつり合うことがあります。と>>2 この場合ウェイトは使用せず、ウェイト軸を伸ばした際の長さでバランスを取ってご使用ください。
- ※ <u>1.3kg以下の鏡筒を搭載するとバランスが取れないことがあります。この場合はマルチプレートDX(別売)などを</u> 併用して1.3kg以上となるようにしてご使用ください。

₿ つりあった位置が見つかりましたらウェイト固定クランプをしめます。ゆるまないようにしっかりと固定してく ださい。

A 赤経クランプをしめて赤経バランス取りは完了です。

#### ①注意

あまり大きくウェイトをスライドさせないでください。急に動いて鏡筒が三脚・体などに当たって危険ですので十分ご注意ください。

# ヒント2:バランス目安







# IX STAR BOOKケーブルの接続

#### ◎STAR BOOKケーブルを赤道儀に接続します。

■コネクター差し込み形状に合わ せて一番奥まで差し込みます。



2コネクターにある固定ネジをし めてしっかり固定してください。



#### ◎STAR BOOKケーブルをSTAR BOOK TENに接続します。

ケーブルのもう一端をSTAR BOOK TENコントローラーに繋 ぎます。 コネクター差し込み形状に合 わせて一番奥まで差し込みま す。

**2**外れないように固定ネジでしっかり固定してください。



#### ① 注意:STAR BOOKケーブルのお取扱いについて

①ケーブルのコネクター付近を強く曲げたり引っ張ったりしないで ください。断線の恐れがあります。

- ①STAR BOOKケーブルはパソコンなど他の機器には"絶対に"接続しないでください。接続した場合、故障や発熱、感電などの事故が起きる可能性があります(STAR BOOKケーブルの仕様はRS232Cではありません)。
- ①STAR BOOKケーブルを収納する場合、結んだり強く折りたたまな いでください。断線の恐れがあります。
- ①STAR BOOKケーブルを着脱する場合、必ずコネクター部分を持ってまっすぐに着脱してください。特にケーブルを抜く際にコードを引っ張ると断線する恐れがあります。

# X 電源コードの接続

電源は別売となっております。ACアダプター12V・3A(別売)の使用、また はシガーコードを使用してポータブル電源SG-1000SX(別売)などバッテ リーのシガーライター型ソケットから電源供給してご使用ください(電 池ボックス(乾電池)では動作いたしません)。

電源スイッチがOFF(「O」が押し込まれている状態)となっていることを 確認し、赤道儀の電源端子に電源コードを繋ぎます。



#### ① 注意:電源および電源コードのお取扱いについて

- ○電源コードのコネクター付近を強く曲げたり引っ張ったりしない でください。断線の恐れがあります。
- 〇コードを束ねたまま使用することはおやめください。
   熱などによりコードの被膜が破れ、ショートする恐れがあります。
- ○カーバッテリーをご使用の場合、エンジンをかけたまま使用しないで ください。ノイズなどにより赤道儀が誤動作することがあります。
- ① 市販の電源をご使用の場合は12V3Ah以上のものを使用してください。 シガーソケットを装備した電源があれば付属のシガーソケット用電 源コードが接続できます。
- ① 電源コードを着脱する場合、必ずプラグを持ってまっすぐに着脱してください。特に電源コードを抜く際にコードを引っ張ると断線する恐れがあります。

① カーバッテリーをご使用の場合、バッテリーあがりにご注意ください。

ここではご使用にあたり最低限必要な機能のみを説明いたします。

"初期設定"画面にあるメニューでこちらの説明に掲載のない機能については⑤応用編:"初期設定"画面(P72~)をご覧ください。

Ⅰ 電源を入れる



電源スイッチは赤道儀本体にあります。 電源スイッチの 、「」」側を押すと電源が 入り、「〇」側を押すと電源が切れます。



2電源を入れた際、STAR BOOK TENが起動 することをお確かめください。※



3初期設定の画面が表示されます。※

- ※メモリー電池を入れた直後やメモリー電池が消耗している場合、あるいはバージョンアップした場合は、画面下部に、『Memory Error !! \*:\*: Initialized Memory Data』と表示 されることがあります。この場合、内部メモリーは工場出荷状態になります。
- ※ 初期設定画面の表示中は赤道儀は動きません(静止ししたままです)。恒星時追尾は星空画面が 表示された以降に開始されます。(P35参照)

# Ⅱ 日付時刻設定

日付時刻設定は本製品を初めてご使用される場合、STAR BOOK TENコントローラーのメモリー電池を交換した場合、日付時刻が狂った場合、 より正確に日付時刻を設定したい場合にのみ必要な設定です。ビント3

観測日を入力、および観測時刻を24時間制(地方標準時)で入力します。ただし地理学的に一致する時刻にのみ対応します。サマータイムなど法令 により制定された時刻には対応がありませんのでご注意ください。



# Ⅲ 観測場所設定

この作業は本製品を初めてご使用される場合、STAR BOOK TENコントローラーのメモリー電池(CR2032)を交換した場合、観測場所を厳密に 設定したい場合、および観測地を大幅に移動した場合にのみ必要な設定です。

観測場所を設定します。ここでは観測場所の名称、経度(東経・西経 ヒント7)、緯度(北緯・南緯 ヒント8)、タイムゾーン(ヒント9)までを設定します。 最大10件まで登録可能ですので、海外で使用される場合などで使い分けて設定ができます。

ヒント7	東経とはイギリスグリニッジ天文台を通る経度線を基準(0°)として東に180°までの経度を表します。西経とは同様にして西に180度までの経度です。
ヒント8	北緯とは赤道から北極にかけて90度までの緯度を表します。南緯とは同様に南極までの緯度です。 <mark>ヒント 7</mark> 東経・西経と併せて地球上の座 標をなしています。
ヒント9	同じ地方標準時を使用する地域や区分のことをタイムゾーンといいます。イギリス・グリニッジ天文台を通る地球の経度線で赤道方向に24分割 したものに時刻(h)を与えています。日本国内では十9となっています。STAR BOOK TENコントローラーにおけるタイムゾーンは地理学的
	【に一致する時間にのお対応します サマータイムかど法会に下り制定された時間には対応がありませんのでご注意ください

#### ◎新規入力の場合

例として札幌〔東経(E)141°21′、北緯(N)43°04′、タイムゾーン(TZ)+9〕でご説明いたします。日本各地の経緯度についてはP23にてご確認ください。



置いて方向キー (▲)・(▼) で行います。 設定完了後、 (витер)キーを2回押します。※

※"観測場所"画面を終了し"初期設定"画面と なった時点で設定が反映されます。

#### 日本国内でのご使用の場合タイムゾーン(TZ)は必ず十9にしてください。ヒント9



21

# ◎入力済データを適用する場合または修正削除する場合









金設定したい項目を選択し、ENTER キーを押します。方向キー ▲・▼ で OK/データの変更/削除いずれかを選択し、ENTER キー(または方向キー ▶)を押します。





**3**0K:選択した観測地の情報が読み込まれます。

データの変更:新規入力の場合と同様の方法で データを入力します。



\_\_\_\_\_ 【削除:データを削除します。



! " # \$ % & ' ( ) \* +, - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [¥] ^ \_ ` a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z { | } ~

最大20文字まで。(全て半角文字)

ヒント12:入力可能文字



♥削除してもよければ"OK"を選択して [ENTER を押します。※

- ※設定している観測地を削除すると直近で使用していた観測データが採用されます。このため削除後であってもデータが削除されず残ってしまったように見えますのでご注意ください。
- ※ "観測場所"画面を終了し"初期設定"画面と なった時点で設定が反映されます。

# ◎タイムゾーンについて

日本国内におけるタイムゾーンは(TZ)**十9**となっています。 海外で使用する場合におけるタイムゾーンにつきましては現地のタイムゾーンにあわせて設定してください。

#### ◎各地の経緯度

以下は日本各地におけるおおよその経緯度(市庁舎等所在地基準)です。詳細な経度緯度が必要な場合、および海外で使用する場合は地図やGPS、 カーナビの位置情報、インターネットなどでご確認ください。

地	名	経 度 (東経)	緯 度 (北緯)	地名	経 度 (東経)	緯 度 (北緯)	地	名	経 度 (東経)	緯 度 (北緯)	地	名	経 度 (東経)	緯 度 (北緯)
根	室	145° 35′	43° 20′	さいたま	139° 39′	35° 52′	大	津	135° 51′	35° 01′	高	知	133° 32′	33° 34′
札	幌	141° 21′	43° 04′	千葉	140° 06′	35° 36′	奈	良	135° 48′	34° 41′	松	山	132° 46′	33° 50′
青	森	140° 45′	40° 49′	小笠原	142° 12′	27° 06′	京	都	135° 46′	35° 01′	鹿児	2島	130° 33′	31° 36′
盛	岡	141° 09′	39° 42′	東京	100° 40′	25° 40′	和	歌山	135° 10′	34° 14′	奄	美	129° 30′	28° 23′
秋	田	140° 06′	39° 43′	(新宿)	139 42	35 42	大	阪	135° 30′	34° 42′	宮	崎	131° 25′	31° 54′
仙	台	140° 52′	38° 16′	横 浜	139° 38′	35° 27′	神	戸	135° 12′	34° 41′	大	分	131° 37′	33° 14′
山	形	140° 20′	38° 15′	静岡	138° 23′	35° 59′	鳥	取	134° 14′	35° 30′	熊	本	130° 42′	32° 48′
新	潟	139° 02′	37° 55′	富山	137° 13′	36° 42′	松	江	133° 03′	35° 28′	福	岡	130° 24′	33° 35′
長	野	138° 12′	36° 39′	金沢	136° 39′	36° 34′	岡	山	133° 55′	34° 39′	佐	賀	130° 18′	33° 16′
甲	府	138° 34′	35° 40′	福 井	136° 13′	36° 04′	広	島	132° 27′	34° 23′	長	崎	129° 53′	32° 45′
前	橋	139° 04′	36° 23′	名古屋	136° 54′	35° 11′	山		131° 28′	34° 11′	那	覇	127° 41′	26° 13′
水	戸	140° 28′	36° 22′	岐阜	136° 46′	35° 25′	徳	島	134° 33′	34° 04′	宮さ	島	125° 17′	24° 48′
宇都	宮	139° 53′	36° 33′	津	136° 30′	34° 43′	高	松	134° 03′	34° 21′	石	垣	124° 09′	24° 20′

# Ⅳ 言語設定

STAR BOOK TENをご使用いただく際の言語を五ヶ国語(日本語/英語/イタリア語/ドイツ語/スペイン語)から指定できます。 工場出荷時設定は日本語です。



# [ 天体望遠鏡を動かす



赤道儀の赤経・赤緯クランプがしまっているこ とをご確認ください。







4ホームポジション設定画面(鏡筒を西向きに水平にしてください)が表示された状態で赤道儀を動作させることができます。方向キー ▲・▼ で赤緯方向、 ●・● で赤経方向に動作します。 動作の感覚をつかんだりファインダーを調整したりする際に便利です。
だだしこの段階では恒星時追尾のための動作を開始しません。方向キー ▲・▼・●・を押さない限り赤道儀は静止したままです。

#### ◎導入速度の変更

方向キー操作時の最大導入速度(モーター速度) を変更できます。

初期の設定: 500倍速(対恒星時) メインメニューで導入速度を3以下に設定し ている場合は400倍速以下の速度となります。 参照:"導入速度変更"(P101)

ホームポジション設定画面においてSTAR BOOK TENのズームキー ▲ で減速、 ▼ で増 速となります。高倍率時に微妙な操作をしたい 時、および低倍率時に大きな動作をさせたい時 などに調整してください。



 ※この状態では追尾はしておりません。
 スコープ モード チャート
 星空画面 (SCOPE MODEまたは CHART <sup>モード</sup> MODE)が表示されるようになってから
 追尾が開始されます。(P35)参照

# Ⅱ 地上の景色を見る

天体望遠鏡は天体を観察する機器です。しかし、目安として200m程度以上の距離があれば昼間の地上の景色でも見ることができます。 天体望遠鏡で昼間明るいうちに地上の景色を見る理由として次の2つの重要な目的があります。 (ほとんどの場合倒立像または斜めに見えます。)

#### ◎天体望遠鏡の操作に慣れましょう

天体望遠鏡の操作に慣れる前にいきなり暗い夜空の下で天体観測を始めるのは難しいものです。 昼間の地上の景色をのぞきながら天体望遠鏡の基本動作を確認することで夜の観測時に困らないように備えます。

#### **◎ファインダーの光軸を合わせます** E>ト14

ファインダーとは天体望遠鏡の照準器のことです。こちらで見たい対象を合わせると望遠鏡本体から見えるようになるものです。しかし、天体望遠鏡 を組立てた段階では天体望遠鏡鏡筒の視野とファインダーの視野は一致していませんので、ご使用前に調整する必要があります。(P28参照)

ヒント15

天体望遠鏡は倍率が高いので見えている範囲が極めて狭いものです。従って方向を定めようとしてもなかなか定まりません。 ヒント14 ファインダーはこの手助けをする上で非常に重要な装置です。

原則初回のみ調整することで、以降の調整は不要です。ただし運搬などで分解された場合、および狂った場合は再調整する必要があります。

## 1まず天体望遠鏡をのぞいてみましょう

#### | ⚠ 警告:太陽は絶対に望遠鏡で直接のぞいてはいけません、失明の危険があります

最低200m以上先が見える視界の広い屋外に天体望遠鏡を設置してください。ヒント15 動作に支障を来たすようなものが周囲にないことをご確認ください。

室内からガラス越しに見ると像がぼやけたり二重になってみえたりします。また窓をあけても室内外に温度差があると窓から空気が流れます。 この影響により像がカゲロウのように揺らいでしまい、よく見えないことがあります。 また、天体望遠鏡鏡筒が外気温になじんでないと像がゆらいでよく見えないことがあります。

(屋外でも気象状態により像が揺らぐことがありますが、室内から見た場合と比較すればかなり安定しています。)

対物キャップ、接眼キャップを取外してください。キャップの場所は機種によって異なります。







接眼レンズを取付ける場所(のぞく場所)を確認します。機種によって取付ける場所(のぞく場所)は異なります。 とント16 またフリップミラーの場合は接眼レンズ を2ヶ所に取付けることができますので、のぞきやすい方の接眼レンズをのぞいてください。また、フリップミラーの切替ハンドルによって、のぞいている接眼 レンズに光路が来るようにしてください。※まず、低倍率の接眼レンズから使ってみましょう。







接眼レンズのmm数が大きいレンズ(=倍率が低い接眼レンズ)を使うと拡大率は小さいですが、 目標物は明るくシャープに見えます。また広い範囲が見えるため目標物が探しやすくなります。こ のため観察を始める際は必ずmm数の大きい低倍率の接眼レンズから使いましょう。と2~21





接眼レンズ固定ネジをゆるめてmm数(接眼レンズに表示されてる数字)の大きい接眼レンズ(=倍率が低い接眼レンズ)ピント17を一番深いところまで差 し込みます。差し込んだ後、接眼レンズ固定ネジをしめてしっかり固定します。

mm数の小さい接眼レンズ(=倍率が高い接眼レンズ)を使用しますと見える像が暗くピントの合う範囲も狭くなります。このため見づ らくなりがちです。観測の初めは、必ずmm数の大きな接眼レンズ(=倍率が低い接眼レンズ)を使用してください。

ヒント17 望遠鏡の倍率は対物レンズ/主鏡の焦 点距離を接眼レンズの焦点距離で割っ た数値です。

例	:	焦点距離800mmの望遠鏡に	こてNL	V20mm、	NLV	ōmmを	使用したサ	昜合

接眼レンズ	望遠鏡の焦点距離		接眼レンズの焦点距離		倍 率
NLV20mm	800mm	÷	20mm	=	40倍
NLV 5mm	800mm	÷	5mm	=	160倍

5 方向キー ▲・▼・ ・ ・ を操作して天体望遠鏡の筒先を見たいもの(200m程度以上遠方にある目標物、鉄塔の先端、アンテナ、電柱の先端など)に向けてみましょう。速すぎる、または遅すぎるなどで合わせにくい場合はズームキー ▲・▼ で扱いやすい速さに速度を合わせてご使用ください。







#### うまく見えない時は次をご確認、またはお試しください。

- ●昼間にのぞいて明かりがまったく見えない場合は対物キャップが閉まっているか、またはフリップミラーの光路がのぞいている接眼レンズ側になって いない可能性があります。対物キャップが閉まっていないかどうかお確かめください。また、フリップミラーの切替ハンドルをまわして光路を切替えて みてください。
- 接眼レンズは取付けましたか? 天体望遠鏡は接眼レンズを取付けないと見えません。
- バローレンズや地上レンズ31.7ADを使用している場合であっても接眼レンズは必要です。
- 目標物までの距離が近くありませんか? 天体望遠鏡は近いところにはピントが合わないことがあります。最低でも200m以上遠方の景色でお試しください。
- 目標物(見たい物体)がとらえられていない可能性があります。慎重に向きを修正してみてください。特に視野一面青みがかった灰色一色、または白一色である場合は、天体望遠鏡が対象物をとらえず空に向いている可能性があります。空でもピント位置は必ずあるはずですが、目立つ目標がないためピントを合わせるべき位置を確認できません。目標物がとらえられるように向きを直してみてください。



ヒント19

 
 ・ 直角側のイラストは接眼レンズが真上に向いている場合です。真上でない場合は 見え方が異なります。のぞく位置(ポジション)によっては横に見える場合があります。

 ・鏡筒の種類、角度によっては像が斜め、倒立鏡像となることがあります。



## 2 倍率を変えてみましょう

天体望遠鏡は接眼レンズを交換することで倍率を変更できます。倍率を高くするとより目標物(天体)を大きく拡大して見ることができます。ヒント20 ただし、高倍率にするほど見える範囲が狭くなり、像が暗く不鮮明となっていきます。ヒント21

ヒント20 恒星は大きさを確認できないほど遠方にありますので、倍率を高くしても光の点にしか見えません。

接眼レンズ固定ネジをゆるめ、mm数の大き な接眼レンズからmm数の小さな接眼レンズ (=倍率が高い接眼レンズ)に差し換えてみ ましょう。差し換える際、mm数の大きな接眼 レンズ(=倍率が低い接眼レンズ)視野の中 央に対象物(天体)が見えるように天体望遠 鏡の向きを調節してから差し換えてくださ い。 ビント21 差し換えたら必ず接眼レンズ固 定ネジをしめてください。 またフリップミラーを使用している場合は覗い

ている接眼レンズに光路を合わせてください。 ミラー切替ハンドルを回転させて行います。

2 接眼レンズを差し換えた場合はピントを合わせ直します。倍率が高くなるとピントの合う範囲が狭くなるうえ像が暗く、低倍率の場合と比較して不鮮明になります。このためフォーカスノブ(合焦ハンドル)はより一層ゆっくりと慎重に回してください。







接眼レンズのmm数が小さいレンズ(=倍率が高い接眼レンズ)を使うと、目標物を大きく拡大して見ることができます。目標物の一部を さらに拡大して見る場合に使いましょう。

ただし倍率が高い接眼レンズを使うほど、見える範囲が狭くなります。 このため高倍率の接眼レンズと差し換えると目標物が中央に見えなくなるか、または視野から外れて見えなくなってしまうことがあります。

まず低倍率の接眼レンズで目標物が視野の中央に見えるように天体望遠鏡の向きを調節します。目標物を中央にとらえてから高倍率の接 眼レンズに差し換えることで視野内に目標物をとどめることができます。 高倍率の接眼レンズから先に使用すると、視野が狭いがゆえに目標物を見つけられなくなることがありますのでご注意ください。



# 3 ファインダーを合わせましょう

#### ファインダーの必要性

天体望遠鏡は50倍、100倍というような高倍率を出せる機器です。このため見えている視野が狭くなり、目標物を捜すのはとても難しいものです。 そこで目標物を簡単に捜すための照準器がファインダーです。見たい天体(目標物)にファインダーの照準を合わせることで、天体望遠鏡本体から も見えるようになります。天体望遠鏡本体の視界とファインダーの視界を事前に一致させておかないと目標物をとらえることができません。

# 天体望遠鏡による観察の前に、必ずファインダーの光軸を合わせておきましょう。

ファインダーは天体望遠鏡を組立てた段階では照準と天体望遠鏡本体の光軸が合っていません。このためご使用前に光軸の調整が必要です。 ファインダーは一度合わせておけば、狂ったり分解したりしない限り、再度調整をする必要はありません。

#### ◎暗視野ファインダー7×50の場合

暗視野ファインダー7×50の場合、照準として内部に十字線が入っています。十字線の交点と天体望遠鏡本体の視野中心に見える目標物が重なる ように調整します。ここでは目標物として遠方にある鉄塔の先端をイメージしてご説明いたします。

1 "まず天体望遠鏡をのぞいてみましょう"項目(P25参照)に従い、200m以上先にある目標物を天体望遠鏡の視野の中心に導入します。

※ほとんどの天体望遠鏡において、天体望遠 鏡の視野は倒立像となります。

2 次にファインダーをのぞきます。ファインダーの視界にも、天体望遠鏡の視野に見えているものがどこかに見えるはずです。ただし、この時点では偶然の場合を除いて鉄塔の先端は十字線の交点と重なっていません。

※十字線にピントが合っていない場合は接眼 部を回してピントを合わせてください。 (P29参照)

※目標物にピントが合ってない場合はファ インダー対物枠を回してピントを合わせてく ださい(P29参照)





· ※十字線はイメージです。製品と異なることがあります。







例:Aの調整ネジをゆるめ、Bのネジをゆるめると、 電柱の先端は十字線の中央にきます。

※ファインダーの視野は倒立像となります。
また状態により十字線は斜めになっていることがありますが問題ございません。

ファインダーをのぞきながら天体望遠鏡本体でとらえた目標物がファインダーの十字線中央に重 なるように2本のファインダー調整ネジを出し入れして調整します。

一通り調整できましたら、目標物※を変えてファインダーが合っているか試してみましょう。
 ファインダーの十字線の中央に他の目標物を導入します。
 天体望遠鏡を低倍率の接眼レンズでのぞき、ピントを合わせます。
 ファインダーに導入したものが天体望遠鏡の視野にも見えるようになれば調整完了です。

※できる限り遠くにある目標物でファインダーを調整してください。近くの目標物でファインダー を調整すると星空ではファインダーの中央と天体望遠鏡の中央が一致しないことがあります。

以上を行い最終的にファインダーの十字線に合わせたものが天体望遠鏡本体から見えるようにな れば調整完了です。十字線に合わせても本体から見えない場合は更に慎重に1~4を繰り返してく ださい。また更に高精度調整をする場合は天体望遠鏡の倍率を高くして行います。目安として最低 でも100倍程度以上で調整すると実用的です。

28

# ● 暗視野ファインダー7×50の暗視野照明装置

星空をのぞくと背景が暗いためファインダーをのぞいても十字線が見えなくなることも珍しくありません。暗視野ファインダー7×50は暗視野照 明装置を内蔵していますので、照明を点灯することで十字線が赤く浮かび上がります。

- ファインダー側面にある明るさ調整ツマミ( 電源スイッチ兼用)を回すとスイッチOFF、ON (明るさ無段階調光)ができます。好みの明る さでご使用ください。
- ※ 電源スイッチの切り忘れにご注意ください。 電池消耗防止のため、ご使用後は必ずスイッチ OFFとなる位置まで回してください。
- ※ 明るさ調節ツマミに刻印されている"・"と、 本体に刻印されている"・"が上下に並んだ 状態で電源OFFとなります。





※ 照明が明るいほど電池の消耗が早くなります。また、照明が明るいと星が見えなくなることがあります。お好みに合わせて見やすい明るさでご使用ください。

#### ● 暗視野ファインダー7×50のピント合わせ

暗視野ファインダー7×50は工場出荷時において、正視で無限遠にピントが合うように調整されています。しかし、近視や遠視の場合ピントが合わ ないことがあります。ピントが合っていない場合は以下の手順でピントを合わせてください。

#### ● 十字線がはっきり見えない場合

ファインダーをのぞ きながら接眼部先端 をまわして接眼レン ズのピントを十字線 に合わせます。



#### ● 風景・星がはっきり見えない場合

200m程度以上遠方の 目標物※に向けてファ インダー全体としての ピントを合わせます。 ロックリングを十分ゆ るめた後、ピントリン グを回してピント位置 を探します。一番よく 見える状態となりまし



たら調整をやめ、ロックリングを元通りにしめてください。

※ 近くの目標物でピントを合わせると星にピントが合わないことがあります。

# ◎ XYスポットファインダーの場合

光軸クランプを左に回してゆるめ、大まかに 鏡筒と平行になるように調整した後、光軸ク ランプを右に回してしめて、固定します。

2 天体望遠鏡本体に低倍率となる接眼レンズ を取付け、"まず天体望遠鏡をのぞいてみま しょう"項目(P25参照)に従い遠距離にある 目標物(鉄塔の先端など)を、天体望遠鏡本体 をのぞきながら視野にとらえます。

3 XYスポットファインダーの明るさ調節ツマミを右に回して赤い点(スポット)を点灯させます。

※スポットの明るさは無段階で調節できますの で、適当な明るさになるまで回してください。

※明るさ調節ツマミに印刷されている"・" と、本体に印刷されている"・"が上下に並 んだ状態で電源OFFとなります。



※暗い環境での使用を想定し、明るさを抑えてあります。昼間や明るい室内ではスポットを確認しにくいことがあります。

↓ 対物レンズの中央下部にある突起(対物照準)と、照準指標線が一直線になるところに赤いスポットが点灯していることを確認してください。確認ができたら、この赤いスポットが、天体望遠鏡本体でとらえた目標物(鉄塔の先端など)に向くように位置を調整します。

※赤い点(スポット)は正視で使用した時に無限遠でピントが合うようにしてあります。近視などで赤い点にピントが合わない場合はメガネ等をお使いください。

₿ 位置微調整は、上下微動ツマミおよび左右微動ツマミで行います。上下微動ツマミと左右微動ツマミを回して調節し、目標物と赤いスポットが重なるよ Ĵ ぅにします。







6 位置調整が終わりましたら、明るさ調節ツマミをカチッと音がするまで左に回し、電源をOFFにします。夜、実際の天体観測をはじめる際などに、再度明るさ調節ツマミを回して赤いスポットを点灯 させてください。

※明るさ調節ツマミを無理に強く回すと、ファインダーの調整がズレる場合がありますのでご注意 ください。

※明るくすると電池の消耗が早くなります。また使用後は電源をOFFにしてください。



# Ⅲ 天体観測を始めてみよう

ここからはいよいよ天体望遠鏡を夜空へ向けてみましょう。まず見やすい天体から徐々に暗い天体へ目を向けていきましょう。 手始めに、一番身近な天体である月を観測してみましょう。 倍率による見え方





※注意:観測する時期によって、形、大きさが異なります。

# ●月を見てみましょう

# ★時期または時間により見えないことがあります。★現段階で星図は表示されていません。



- ファインダーの十字線付近(XYスポットファ インダーの場合は赤いスポット付近)に月が見 えるように、方向キー▲・▼・●・ を操作して天体望遠鏡を動かします。
- 2 天体望遠鏡に低倍率の接眼レンズ (=mm数の 大きな接眼レンズ)を取りつけてのぞき、フォー カスノブ(合焦ハンドル)を回してピントを合 わせます。

3 必要に応じて接眼レンズを交換し、倍率を変 えてみます。

↓ 天体望遠鏡をそのまま見ていると、日周運動
しント22により月(他の天体でも同じです) はどんどん動いていき※、視野から外れて見えなくなってしまいます。

※赤道儀が追尾していない状態において。 スコープ モード チャート モード SCOPEMODE、CHAPTMODE(P35参照) では赤道儀が追尾します。(赤道儀が正しくセ ッティングされている場合)

高い倍率ほど早く移動します。STAR BOOK TEN の方向キー▲・▼・●・● を 操作して視野の中央に入れ直してください。



※十字線はイメージです。製品と異なることがあります。





# ヒント22: 星の日周運動とは? 星は北極星(正確には天の北極)を中心にして1日約1回転しているように見えます。 (星の日周運動) これは地球が地軸を中心にして1日1回

自転しているために起こるものです。







※のぞく向きなどにより移動の方向は異なります。



天体の自動導入とは"数個の天体"をコンピータに記憶させ、見たい天体を自動的に探す機能です。 月や明るい惑星など見た目で位置がわかる天体であれば観察も容易です。しかし非常に暗い惑星や淡い星雲、星団などを見ようとすると見た目だ けでは位置がわからないことがあります。そこで、天体の自動導入機能を利用することにより簡単に見たい天体を視野に導くことができます。

#### ◎ 天体自動導入の仕組み

恒星は見える位置(視位置)が恒星間で相対的 に殆ど動きません。このため、地球上の地図と 同様、天体においても恒星の位置を示す地図に 相当するもの(天体座標)が定義されています。



この座標を利用することで天体の位置関係が分か ればほかの星の位置を導き出すことができます。 例えばカーナビゲーションにおけるマップマ ッチング(地図と実際の自車の位置を合わせる 作業)と同様です。

# ◎ 天体自動導入の流れ

#### I 赤道儀の設置

赤道儀の極軸を天の北極方向に向けます。長時間露光による写真撮影をする場合は精密な設置が必要です。それ以外は極軸をおおよそ北極星の方向に 向けるだけでも特に問題はありません。※南半球で使用する場合は天の南極、または天の南極付近に向けます。

#### Ⅱ 鏡筒ホームポジションの確認

赤道儀の赤経クランプ、赤緯クランプををゆるめるか、またはSTAR BOOK TENコントローラーを使って望遠鏡鏡筒をホームポジション(望遠鏡の最 初の形/極軸を北、鏡筒の対物側を西※)にします。※南半球で使用する場合は極軸を南、鏡筒の対物側を東に向けます。

STAR BOOK TENコントローラーは入力済みの観測地の経度緯度および時刻、天体座標情報を保持していますので、この時点で現在真西(南半球で使用する場合は真東)となる天体座標の1箇所(一つ目の基準点)を機械的に記憶したことになります。このため、次に導入したい天体をおおよその向きに天体望遠鏡を向けることができるようになります。(ホームポジションの精度がよければ最低限ファインダーの視野内のどこかに捕らえられるレベルを想定しています。)

#### Ⅲ アライメント(方向設定)

STAR BOOK TENコントローラーが記憶している天体座標上の位置情報と実際に見える星の位置(視位置)をアライメント作業で一致させます。 ホームポジションの確認作業でおおよその位置(西または東の確認)が既に記憶されていることになります。自動導入を行う際、この情報だけでは高精度 な自動導入ができません。アライメントを追加することで自動導入の精度を向上させることができます。導入精度に満足できるまで行なってください。

#### IV 天体の自動導入

アライメントの作業が終わりましたらいよいよ天体の自動導入を開始します。STAR BOOK TENの星図画面上、または天体メニューから選択により見たい天体を選んで自動導入します。

## Ⅰ 赤道儀の設置

○ 天体望遠鏡を組立て、同頁のいちばん下にある写真を参考に極軸方向が天の北極方向になるように設置します。星雲・星団など長時間露出を必要とする 撮影をされない場合は厳密に天の北極に合わせなくてもおおよそ合っていればほとんど影響ありません。※







高度調整ツマミを回す時は、高度調整クランプをゆるめてから回してください。高度調整が終了したら高度調整クランプをしめてください。 方位調整ツマミは片方をゆるめて、もう片方をしめながら動かします。

※ 南半球でご使用の場合は極軸が天の南極方向(方位磁針等を参考に方位が南向き、高度が観測地緯度)となるように設置してください。
 ※ 天の北極の高度は観測地の緯度に一致しています。

#### Ⅲ ホームポジションの確認

赤道儀本体の電源を入れ、時刻設定、観測地設定など初期設定までを済ま せてください(P20~23参照)。ヒント23

接眼レンズは最低倍率(mm数の大きい接眼レンズ)のものをセットして ください。

#### ヒント23:初期画面から

STAR BOOK TENコントローラーの画面表示がすでに星図表示 されている場合は一度電源を切って、初期画面からはじめてく ださい(P20参照)。

"鏡筒を西向き水平にしてください"の画面が表示され、方向キー(右側
 ▲・●・●)で赤道儀を動作できるようになります。
 だだしこの段階では恒星時追尾のための動作を開始しません。方向キー
 を押さない限り赤道儀は静止したままです。

3 赤道儀の赤経・赤緯クランプをゆるめ、鏡筒を西向き水平※になるようにします。この時 STAR BOOK TEN画面に表示されたポジションを参考にしてください。向きが定まりましたら赤経・赤緯クランプをしめて固定します。以後観測終了までクランプはゆるめません。ホームポジションは最初の位置合わせの作業です。最初の自動導入の結果にも影響しますので、できるだけ正確に行なうことを推奨します。

※ 南半球でご使用の場合は東向き水平に設 置してください。









※ 指標について

SXD2赤道儀は写真のような指標を設けてい ます。鏡筒を西向き水平となるポジションにす る際、指標を揃えることで鏡筒を西向き水平と なるための目安としてご使用いただけます。





# Ⅲ アライメント(方向設定)



0K

赤道儀が恒星時追尾のための動作を開始します。この時点でおおまかな自動導入ができるようになりますが、精度よく自動導入させるためにはアラ イメント(方向設定)とと24 が必要です。ただし1の状態のまま時間が経過 すると赤道儀が地平下に向いてしまいCHART MODEの画面になるこ とがあります。



これ以降、星空画面が表示されている時に (ENTER) キーを押すごとに CHART MODEとSCOPE MODEが切替わります(P38参照)。特に CHART MODE時に (ENTER) キーを押すと自動導入動作が開始されます。 その状態が液晶モニター画面左上に表示されますのでご確認ください。



#### ◎ SCOPE MODEとは

スコープ モード SCOPE MODEとは方向キー ▲ · ▼ · ▲ · ▶ の操作による 望遠鏡動作を優先したモードです(赤枠の画面)。星図画面スクロール と望遠鏡の動作が連動していますので、画面を見ながらの位置調整作 業や、自動導入を使わずに星図画面を見ながら天体を導入する作業に 対応します。

更に10キーにより各種天体メニューを直接選んで自動導入すること



#### ◎ CHART MODEとは

CHART MODEとは方向キー▲・▼・▲・▶の操作による 星図画面スクロールを優先したモードです(青枠の画面)。望遠鏡動作 との連動がないため軽快なスクロールができます。SCOPE MODE同様 10キーにより各種天体メニューを直接選ぶことができる他、画面のス クロールにより天体メニューにない天体の自動導入にも対応します。 なお、自動導入後はSCOPE MODEに切替わります。

アライメントに使用する恒星(基準点)を選びます。 27825 アライメントは実際の恒星視位置と望遠鏡の向きを一致させる作業で すので、アライメントに使用する恒星は、かならず名称と夜空の中でど の位置にあるかを知っているものから選んでください。

ヒント25

アライメントは恒星以外でも行えますが、基準点としての アライメント精度が恒星より低くなることがあります。 (P39 アライメントのヒント参照)





ここでは基準点としておうし座・アルデバランを選んだ例でご説明い たします。 SCOPE MODE 画面にて (SRAP)を押します(もしくは (REACT)を押すと "天体メニュー"画面となります。方向キー ▲・▼ で "恒星"を選択し、(ENTER) を押しても同じです)。



SCOPE		2011	/12/21 18:42:40
天休メニ	,β 1- 24 (0) #1 7555	いるた <sup>い</sup> 月1	See (
5.3%: ★ NGUNG 型子 本 10000000000000000000000000000000000	日	9 うしかい座 α星 みなみじゅうじ座 α1星 エリダヌス座 α星 おおいぬ座 ε星 みなみのさんかく座 α おおぐき座 ε星 しし座 γ1星 ペガスス座 γ星 ペルセウス座 β星 わし座 α星 おうし座 α星 つる座 α星	• <sup>*</sup> <sup>*</sup> <sup>*</sup> π <sup>*</sup> , <sup>*</sup> <u>Υ</u> <sub>1</sub> μ
** 赤経1865	58m37s 方位270°11.5° 00 0' 高度-00°16 0'	TARGET 赤経18h58m37s	Align:0 ALTAZ x500

方向キー (▲) · (▼) で観測できる恒星を選択(◎印のある恒星が地平線 上にありますので導入、観測できます。)し、 (ENTER)を押します。





ここで"アルデバラン 導入しますか"というメッセージが表示されま すとント26 ので方向キー ▲・▼ で"OK"を選択し、EMTER を押します。 自動導入が開始されます。また動作を開始した段階で目標天体(ターゲ ット)が認識されTARGET部分に赤経赤緯座標などが表示されます。

ヒント26	導入確認メッセージがOFFとなっている場合はメッセージ
	が表示されることなく、即自動導入が開始されます。
	(P114参照)

●自動導入中画面(画面右下にGO TOと表示されます)





自動導入が完了すると"ピポン"という音とともに動作が停止します。
初回導入動作が完了すると天体望遠鏡が目標天体のおおよその方向に 向きますが、天体望遠鏡の視野に必ずしも導入されるとは限りません。 このため以下の手順で修正します。





方向キー ▲・▼・・● を押すことで望遠鏡が動きますので、 望遠鏡の視野中央に"アルデバラン"を導入していきます。ズームキーを 用いると望遠鏡速度も変わります。画面表示を拡大すると速度が遅くな るため細かな修正ができるようになります。(P7参照)

◎ 基準点とする天体"アルデバラン"をファインダーの視野に導入。

続いて望遠鏡の視野に 導入します。 ヒント27



	望遠鏡の向きを動かすと"アルデバラン"が液晶モニター
	画面上視野円中心から外れます。
	 これは現時点でSTAR BOOK TENのデータと実際のアル
ニント27	デバラン視位置が異なるために起こるものですので異常で
	 はありません。現段階では実際の望遠鏡視野が正しい向き
	となりますので、画面表示との差異は無視してください。
	※アライメントを取得することにより一致します。

ファインダーの中心に"アルデバラン"を導入後、望遠鏡には低倍率の接眼 レンズ(mm数の大きいもの)を用いて視野に導入します。更に高倍率の接

眼レンズ (mm数の小さ いもの) に交換して正 確に視野の中央に導入 しましょう。速さを調 整するため、ズームキー と併せて作業されるこ とを推奨いたします。 (**P7**参照)







アルデバランが望遠鏡の視野中央に導入できたら、(9)キーを押します。



確認のメッセージが表示されますので方向キー (▲)・ (▼) でOKを選択 し、(ENTER) キーを押します。



これで1点アライメントの設定が完了したことになります。液晶モニ ター画面上では目標天体"アルデバラン"と視野円の中心が一致します。

5 天体を自動導入するには最低限2点以上のアライメントが必要です。さらに2点目、3点目・・・と異なる恒星でアライメントを追加することで自動導入の精度が向上します。自動導入精度に満足されるまで 3~5 を繰り返してください(最大20点まで取得できます)。

※アライメントを取得する場合、できるだけ角度の離れた恒星で取得す ると精度が向上します。

※アライメントの数は画面右下に表示されます。

# ◎ 太陽の近傍(太陽を含む)にある天体の導入

太陽の近傍(太陽を含む)にある天体を導入する場合は危険を知らせる 警告が表示されますので方向キー ▲ · ▼ でOKまたはキャンセルを 選択して、 ENTER キーを押します。 <u>小</u> 太陽または太陽近傍を導入する 場合は観測に十分ご注意ください。特に太陽を直接見ると失明の危険 がありますので絶対に直接見ないでください。更にファインダー等の



### ◎ 導入の停止

自動導入中にいずれかのキー(ズームキーを除く)を押すと動作が一時 中断されます。鏡筒が何かに干渉するなどで緊急停止させたい場合、お よび導入を中止する場合にこの機能をご使用ください。

また動作中断と同時に"導入を再開しますか"というメッセージが表示 されますので、方向キー ▲・▼ で OK またはキャンセルを選択し ENTER を押してください。OKを選択すると動作を継続します。 キャンセル を選択するとその場で自動導入動作を完了、追尾も停止し ます。望遠鏡マークが ▲ となったことをご確認ください。 追尾を再開する場合は"架台の設定"画面で"天体の追尾"を"ON"とし ます(P108参照)

また導入をキャンセルした場合、目標天体(ターゲット)情報はリセットされますのでご注意ください。



# ◎SCOPE MODEとCHART MODEの切り替え

ENTER キーを長押しするとSCOPE MODEとCHART MODEが切り替わります。

●CHART MODEで (ENTER) を長押しするとSCOPE MODEに切り 替わります。星図中心は天体望遠鏡の向いている方向に一致します。

●SCOPE MODEで (ENTER) を長押しするとCHART MODEに切り 替わり、直近にCHART MODEでスクロールした画面状態になります。

# ◎ アライメントのヒント

- アライメントに使用する天体は恒星を推奨いたします。
- ◎ 恒星は点光源であるため面積を持ちま せん。このため視位置としてピンポイ ントで選択できます。



◎ 恒星間の相対視位置変化はほとんどあ りませんので、恒星の座標は事実上動 かないものとしてみなすことができます。 このためSTAR BOOK TENの画面と星 図上のデータ(固定値)との誤差が極め て小さくなります。





特に彗星と人工衛星は軌道要素そのものが不確定要素を多分に含み ますので、アライメントに使用するデータとしては適していません。

- △ 月、太陽(観測できる機器をお持ちの場合)、惑星、彗星、星雲、星団は 面積を持ちますので、アライメントに使用する位置が定まりません。 このためアライメント精度が向上しないことがあります。
- 10°以上離れた恒星を全天まんべんなくアライメント取得することで自動導入の精度が高くなります。最大20点までアライメントを取得可能です。
- 10°以内に取得済アライメントデータがある場合、次のメッセージが 表示されます。



アライメントを実行すると10°以内にあるアライメントデータが"すべて" 消去され、新しいアライメントデータが有効となります。アライメン トを中止する場合はキャンセルを選択してください。

アライメントデータが取得済のアライメントデータと重複した場合、 次のメッセージが表示されます。



アライメントを実行するとアライメントデータが上書きされます。 アライメントを中止する場合はキャンセルを選択してください。

- 自動導入精度が悪いと感じられる場合は、アライメントデータの 削除を検討してみてください(P107:アライメントデータ削除参照)。 削除のうえ入力しなおすこともできます。
- 極付近(天の北極付近、および天の南極付近)の天体をアライメント データとして使用すると精度が向上しないことがあります。
- 地平付近の天体をアライメントデータとして使用すると精度が向上 しないことがあります(大気による影響を受けるため)。
- CHART MODEで星図から天体を選ぶよりも"メニュー"から天体を 選んでアライメントを取得する方がアライメント精度が高くなります。





- アライメントを取得した時点における高度方位データをもとに個々のアライメントデータを認識しています。このため日周運動により約10度以上移動している場合(例えば天の赤道付近の天体であれば時間で約40分以上経過している場合)、同じ天体をアライメントに使用した場合でも別のデータとして認識されます。
- 取得したアライメントデータから信頼性の高い2点間を元に視位置の計算を行っています。

### Ⅳ 天体の導入開始

IIIでアライメントが完了しましたらいよいよ天体の自動導入です。STAR BOOK TENコントローラーの液晶画面上で見たい星雲、星団などを選んで天体の 自動導入ができます。以下はオリオン座の散光星雲M42(オリオン大星雲)の自動導入例です。





自動導入がが完了すると"ピポン"という音とともに動作が停止します。

# V CHART MODEにおける自動導入

CHART MODEではSCOPE MODE時と同様に自動導入機能が使用できるほか、星図画面スクロールにより任意の場所を選択、自動導入させることも可能です。ここではアライメントが完了しているものとし、目標天体としてオリオン座大星雲M42を選んだとしてご説明いたします。

※画面の拡大率は方向キー (▲)・(▼)・ (◀)・ (▶)を操作していた時

のモータースピードに連動します。

<sup>スコープ モード</sup> SCOPE MODEになっている場合は ENTER を押してCHART MODEに 切替えます。青枠の画面になったことをご確認ください。









# ₩ 各種天体の導入について

10キー(テンキー)に表示されているメニューをそのまま呼び出して自動導入することができます。



- 以下は、主な天体の導入例です。
  - ◎ 導入例〔月面地図〕
  - ◎ 導入例〔NGC224(M31:アンドロメダ銀河)〕

### ◎ 導入例〔月面地図〕

月面の主要な海、地形を指定し導入できます。月食時は地球の影(食の状態) を表現できます。また天頂プリズム、天頂ミラーなどの併用を考慮し、像の 回転や鏡像反転などにも対応します。

### 注意

- ●図はイメージであり実際の月の見え方と異なることがあります。
- ●月面地図は現在の月齢や秤動を簡易計算して表示していますが、実際の見え方とは若干異なることがあります。
- ●月はかなり光量の多い天体ですので、そのまま観測すると眩しくてよ く見えなかったり、目が疲れたりすることがあります。ムーングラス などで減光して観測することをお勧めします。

月面地図を呼び出す① ["月面地図"画面を直接呼び出す方法〕





▲ COPE MODEの場合"月面地図 導入しますか"というメッセージが表示 されます。※導入確認メッセージの設定にかかわらずメッセージを表示します。 "月面地図"画面表示を実行する場合は、方向キー▲・▼ で"OK"を選択 し (ENTER)を押します。

自動導入が開始され、導入完了とともに"月面地図"画面が表示されます。 ※"OK"を選択すると天体望遠鏡が動き出しますので十分ご注意ください。

呼び出しを中止する場合は、方向キー▲・▼ で"キャンセル"を選択し て(ENTER)を押すか、方向キー ◀ または (CLEAR)を押します。元の画面に戻り ます。



CHART MODE の場合 "月面地図選択しますか"というメッセージが 表示されます。

"月面地図"画面表示を実行する場合は、方向キー ▲・▼ で "OK" を 選択して (ENTER)を押します。"月面地図"画面が表示されます。



### 月面地図を呼び出す② ("月面地図"を"天体メニュー"で呼び出す方法)

 $S_{23-7}^{3-7}$  モード SCOPE MODE の場合は"導入確認メッセージ"の設定が "ON" であるこ  $f_{7+7}$  モード とを確認します。CHART MODE の場合は次に進みます。

(7)を押すと "天体メニュー" 画面が表示されます。





Δ









CHART MODE の場合は "月面地図選択しますか"というメッセージ が表示されますので、方向キー ▲・▼ で "OK" を選択して ENTER を 押します。"月面地図" 画面が表示されます。





"月面地図"画面を終了する場合 (ENTER)を押します。

### 画面の説明

月の向きは星図モード(高度方位・赤経赤緯)で表示される向きを基準と しています。



46

#### 画面の説明 [SCOPE MODEの場合]

画面①〔「月面地図」の大きさや位置を操作できます〕





# SCOPE MODEで自動導入を行う場合

# 拡大、縮少、スクロール(画面①参照)

(<u>0</u> MENU) ズームキー ▲・▼ によりズームアップ、ダウンに対応します。

ズームアップすると細かな地名が表示されます。

へのフラーバロロー 2011/03/13 20:44:32 □□ 1回地図 ◎:導入できます MENUキー : ▲▼⋖▶機能切替 .



方向キー ▲ · · ▼ · ● · ► により視野をスクロールできます。 ・ズームアップ時は細かなスクロールに対応します。

・SCOPE MODE、CHART MODE にかかわらず、月面地図のスクロ ール範囲は月面中心から約0.6°(正確には月面直径の1.35倍)になります。 月面登録地点が画面内に1つもない状態にもなりますのでご注意ください。 ・ (\_\_\_\_\_\_)で画面を切替え、月面表示部分を無効(枠内がグレー)とした場合、 方向キー (▲)・▼ で月面地名リストに沿ってスクロールすることができま す。赤道儀の動作とリンクしていませんので、スムーズなスクロールができま す。ただし、この場合ズームキーと反転、回転が無効となります。



#### 反転、回転 (画面①参照)

天頂プリズム、フリップミラーなどの併用、または反射式鏡筒などに対応した向きに切り替えることができます。 (MENU) で画面を切替え、月面表示部分を有効(枠色が黒)にします。

### 左右鏡像反転



赤経 5h54m30g 方位275'36.3' TARGET 赤経 5h54m30g Align:0 X-Y 永祥 +22'99.5' 高厚 34 8.5' 月面地図 赤祥 +22'59.5' x500

#### 上下鏡像反転

(And Designed State)を押すごとに反転、非反転を切替えられます。反転時は 💠 が緑で 表示されます。他の反転、回転との複合使用にも対応します。



48

### 180度回転

(MAA)を押すごとに180 度回転します。180度回転時は つが緑で表示されます。他の反転、回転との複合使用にも対応します。



### 回転

(4) (5) (5) を押すと視野を自由に回転できます。回転中はRotate が緑で表示されます。他の反転、回転との複合使用にも対応します。



# 自動導入

<sup>スコープ</sup> モード <sup>チャート</sup> SCOPE MODE、CHART MODE にかかわらず、登録の地名 を任意に指定して自動導入することができます。ここでは"晴れの海"を 例にご説明します。

- ※自動導入につきましては、あくまでも目安です。また、初期設定やアライ メントが完了していることを前提としています。倍率やセッティング状 況によっては正確に自動導入できないことがあります。
- ※月面地名リストで"<sup>©</sup>表記のある地名が自動導入できます。ただし、現在 月の中心が地平線上にあるかどうかで判断しています。個別の地名での 自動導入可否を判断しておりませんのでご注意ください。

(MENU)で画面を切替え、月面表示部分を有効(枠色が黒)にします。

ズームキー (▲)・(▼) および方向キー (▲)・(▼)・ (◀)・ (▶) を使用 して見たい地名を選択します。

・ズームキー (▲) でズームアップすることで細かな地名が表示されるようになります。

・SCOPE MODE では望遠鏡の動作と方向キー  $(\blacktriangle)$ ・  $(\blacktriangledown)$ ・  $(\blacklozenge)$ ・

● および画面表示がリンクしています。このため設定状況によって



# **CHART MODE** で自動導入を行う場合

ズームキー (▲)・(▼) および方向キー (▲)・(▼)・ (◀)・ (▶) を使用 して見たい地名を選択します。ここでは "コペルニクス" を例にご説明 します。

 ・ズームキー (▲) でズームアップすることで細かな地名が表示される ようになります。



(ENTER)を押すと"コペルニクス 選択しますか" というメッセージが表示され ます。

選択する場合は方向キー ▲ ・ ▼ で "OK" を選択し ENTER を押します。 コペルニクスを中心とした月面地図が表示されます。





自動導入する場合は (ENTER) を押します。SCOPE MODE に切替わる と同時に自動導入が開始されます。



★2 赤経17h12m03s 方位212"49.7' TARGET 赤経17h12m03s Align:0 赤縦-24"43.7' 高度+21"41.8' コペルニク赤縫-24"43.7'

# 登録されている月面地名リスト (2011年11月現在)

# クレーター (1~115)

1	コペルニクス	43	ゲーリッテ	85	カンパヌス
2	ティコ	44	フラマリオン	86	メルカトル
3	エラトステネス	45	アルバテグニウス	87	カプアヌス
4	スタディウス	46	ボスコビッチ	88	ハインツェル
5	プラトー	47	ユリウスカエサル	89	メー
6	クラヴィウス	48	マニリウス	90	シラー
7	プトレマイオス	49	プリニウス	91	ラグランジュ
8	アルフォンスス	50	エウドクソス	92	ラマルク
9	アルザッケル	51	ブルグ	93	メルセニウス
10	アリスタルコス	52	デラルー	94	ダーウィン
11	アルキメデス	53	エンディミオン	95	クラスノフ
12	アリストテレス	54	ヘラクレス	96	クルーガー
13	ポシドニウム	55	アトラス	97	ビリー
14	クレオメデス	56	メッサラ	98	リッチオリ
15	ラングレヌス	57	ゲミヌス	99	ヘヴェリウス
16	フェンデリヌス	58	ガウス	100	ヘディン
17	ペタビウス	59	マクロビウス	101	マリウス
18	フルネリウス	60	タルンティウス	102	カルファヌス
19	テオフィルス	61	ゴレクニウス	103	クラフト
20	キリルス	62	コロンボ	104	セレウコス
21	カタリナ	63	サントベック	105	エディントン
22	ピッコロミニ	64	フラカストリウス	106	ストルーヴェ
23	マウロリクス	65	スネリウス	107	ラッセル
24	シュテフラー	66	ステヴィヌス	108	ブリッグス
25	ファラデー	67	サグト	109	メーラン
26	シッカルト	68	ラビレヴィ	110	シャープ
27	ガッサンディ	69	メティウス	111	ハルパルス
28	グルマルディ	70	ファブリキウス	112	ピタゴラス
29	ケプラー	71	ヴラーク	113	フィロラウス
30	ブリアルドス	72	ピティスクス	114	ゴルトシュミット
31	グーデンベルク	73	プールバッハ	115	W. ボンド
32	レーマー(レーメル)	74	レギオモンタヌス		
33	カッシーニ	75	ワルター		
34	アリスティルス	76	マンチヌス		
35	アウトリュコス	77	クルチウス		
36	ティモカリス	78	マギヌス		
37	ラムベルト	79	モレトス		
38	ラインホルト	80	ブランカヌス		
39	ランズベルグ	81	ピタトス		
40	ガンバール	82	ウィルヘルム		
41	フラマウロ	83	ロンゴモンタヌス		
42	パリー	84	シャイナー		

洧	海·大洋·湖·入江·沼 (A~Y)				
A	氷の海(寒さの海)	J	雲の海	s	虹の入江
В	雨の海	к	神酒の海	т	露の入江
С	晴れの海	L	フンボルト海	υ	熱の入江
D	静かな海・	м	スミス海	v	中央の入江
Е	危機(危難)の海	N	東の海	w	愛の入江
F	嵐の大洋	0	南の海	х	病の沼
G	蒸気の海	Р	死の湖	Y	腐敗の沼
н	豊かな海	Q	夢の湖		
1	湿りの海	R	時の湖		1 1

Ц	山脈・崖・谷など [a~o]					
a	アルプス山脈	f コーカサス山脈	k レイタ谷(流域)			
b	アペニン山脈	g ヘームス山脈	I アリアデウス谷			
с	カルパティア山脈	h タウルス山脈	m ヒギヌス谷			
d	ピレネー山脈	i 直線崖	n シュロッテリー谷(流域)			
e	ジュラ山脈	j アルタイ壁(断崖)	o シャープ谷			

# ◎ 導入例[NGC224(M31:アンドロメダ銀河)]

以下 (\$\_)キーでNGC224(M31:アンドロメダ銀河)を導入した例でご説 明いたします。

 ・感 テレーを押すとNGC天体またはIC天体のメニューが表示されます。
 NGC天体とIC天体の切替 ビント35 は (0 キーで行います。ただし、切替
 を行う場合 (150) を押した直後に行ってください。間に他の作業が入
 ると数字キーの (0 いの)で認識されます。



ヒント36	◎"が表示されている天体が観測可能な天体です。
ヒント37 🕫	ヾームキー▲・▼ で行うと5行ずつカーソルが移動します。
ヒント38	0キー (テンキー) により直接数値を入力することもできます。 0キーにより (Mage)→ (Age)→ (Age) と直接入力 (P20参照)
	MODE 2011/12/21 22:54:35 団 ③:導入できます MENUキー : NGC/IC切替
9 . OK N OK N +1 O N	4 将入しますか 赤経赤緯: 0h43m18s +41*19.6' いセル 高度方位: 298*00.8' +38*05.3' 系外銀河

祝直径: 178.0

(7) (8) (9) ALIGN

(4) (5) (6) M (5) (6) (5)

C)

赤経 8h35m36s

赤経 8h35m36s 方位 79°06.7' TARGET 赤緯+32°36.4' 高度+48°34 2' ----

Align:4 ALTAZ

3 ENTER または方向キー ▶ を押すとNGC224が選択され"NGC224 導入しますか"というメッセージが表示されます。 と>>39
 導入する場合は ENTER 、導入する天体をを変更する場合は方向キー
 ▲ · ▼ でキャンセルを選択し、 ENTER または方向キー ▲ にて前の画面 に戻ります。自動導入そのものを中止する場合は (LEAR キーを押します。



● 自動導入中画面(右下にGO TOと表示されます)



● 自動導入完了画面



自動導入が完了すると"ピポン"という音とともに動作が停止します。

### ◎ 天体メニュー



天体メニュー(総合メニュー)が表示され、各種天体の自動導入に対応します。

	ี่ เมลิสาว	201 ο <sup>H27</sup> .β1	1/12/21 18:45:31 📖
考入天休リスト ×シエ天休 NGC/IC天体 、 太陽・月・惑星 恒星 星座 右名な王休	* * * * *	1.9-1.ju	<sup>M57</sup> • α <sub>π</sub> π <sup>M92</sup>
<ul> <li>● 日本人体</li> <li>● 日本人体</li> <li>● ● ●</li> <li>● ●</li> <li>● ●</li> <li>● ●</li> <li>●</li> <li></li></ul>		<i>β</i> (星)	B NY STITE
★ ★凝18h58m37s 方位270 赤綺-00°00.0' 高度-00	36.5' TARG 50.8'	ET 赤释18h58m37s - 赤緯-00°00.0'	Align:0 ALTAZ x500

#### 天体メニュー

導入天体リスト	►	右欄参照
メシエ天体	►	● キーと同等。(P44参照)
NGC/IC天体		5 NGCIC キーと同等。(P44参照)
太陽・月・惑星	►	1 SDAR) キーと同等。(P44参照)
恒星	►	6 (STAR) キーと同等。(P44参照)
星座	►	P54参照
有名な天体	►	(P44参照) NMMED キーと同等。(P44参照)
座標	►	P56参照
彗星	►	P57参照
人工衛星		P59参照
ユーザー座標		P61参照
ホームポジション		P62参照

# "導入天体リスト"の表示方法

最近導入した天体(天体メニューで指定した天体)を最大20個記憶します。 電源を切ってもデータは維持されますので、次回観測時に参照および自 動導入に対応します。メモリの初期化を行うことで消去されます。

#### 導入天体リスト 🕨 🕨

 
 で表示)を押します。 "天体メニュー" 画面が表示されますので、方向キー
 ▲ ・ ▼ で "導入天体リスト" を選択し ENTER (または方向キー ▶)を 押します。



4 5 M NGC/IC STAR	
(1) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	
	( D

2 最近導入した天体リスト(最大20個)が表示されます。方向キー▲・▼で 天体を選択し (ENTER)(または方向キー ▶)を押すと天体が選択されます。

以降、通常の方法で自動導入できます。





「◎」の表示されている天体は観測可能な天体です。 「◎」の表示されていない天体を選択すると"地平下のため自動導入でき ません"というメッセージが表示されます。目標天体(ターゲット)とし て選択することはできませんが、天体の情報のみ表示されます。

3 終了するには方向キー ◀ を押します。 "天体メニュー" 画面に戻ります。メニューをすべて終了するには (QLEAR) を押します。

#### 【補足1】過去に導入した天体リストがない場合の表示について

過去に導入した天体リストがない場合は"導入天体リスト"の右に ▶ が表 示されず"天体リスト"を選択できません。



#### 【補足2】自動導入可能天体および制限について

- ○太陽・月・惑星(準惑星)・彗星・人工衛星は時間とともに天体座標が変わりますが、目標天体(ターゲット)として指定時に反映されますので、自動導入・追尾に対応します。
- ○彗星・人工衛星の名称・軌道要素を変更した場合、目標天体(ターゲット) として指定時に反映され、表示・自動導入・追尾に対応します。
- ○ユーザー座標で内容(座標や名称)を変更した場合、変更直前の情報が 維持されます。このため内容を変更した場合は、表示・自動導入・追尾に 対応しません。

### "星座"からの自動導入方法

選択した星座を自動導入できます。またその星座に含まれる恒星をバイ エル記号 ヒント40 で選択して自動導入することができます。

※天体望遠鏡は視野が狭いため導入しても星座全体をみえるものではありません。

星座

【 "天体メニュー"画面にて方向キー (▲)・ (▼) で"星座"を選択し [■NTER または方向キー (▶) を押します





2 "星座"画面となりますので、方向キー (▲)・(▼) で導入する星座名を 選択し (ENTER) または方向キー (▶) を押します。



3 自動導入する場合は ENTER キーを押します。おおよそ星座名の表示されている場所が導入されます。

自動導入しない場合は方向キー ◀ または方向キー ▲ · (▼) で "キャンセル"を選択し、(ENTER)を押すと一つ前の画面に戻ります。

星座に含まれる恒星を選択する場合は方向キー (▲)・(▼)で"バイエル 記号"を選択し、(ENTER) キーにてバイエル記号 ヒント40 で記された恒星を 選択できるようになります。

SCO	PE MC	DE		201	1/12/21 23:46	:32 🔳
		₽=,	木星・	8	PDX4	
满7	、 <u></u> 足座 向:	道入できます		<u>.</u> a		$\lambda >$
マクト	0 102	かくじゅう座	尊入しますか	20 K	עכדלש	
NGC/ 太陽	© U ок Ч ≠-	ャンセル	赤経赤緯 高度方位	7h00m35s 158°20.4'	-03°01.0′ +49°07.7′	
但星座 日 年 年 年 年 二 年 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	رب بابار س	イエル記号	いっかくし ●「いった つ想像上の	ジゅう座 かくじゅう座」 り馬の姿をして	は、頭に長い こいます。	角をも
彗星 人工 ユー	0		「いっかく バルチウン	くじゅう座」は ス"が設定した	は、17世紀に し、新しい星座	学者" です。
	0 8		◆ここをう ・『"ばら	Fェック 5星雲" (NG	C2237)	』があ
▲ 赤籍	23h59m18s 7	方位270°46.7° 高度-01°05.0′	TARGET 方位	<u>7</u> " : ₹" : - :	Align:0	ALTAZ x500
	$\bigcirc$	(OBJECT) (B) ETC	) (9 Align	( P	$\gamma$	
		4 M (5 NGC/IC	) (6 STAR			
		SOLAR (2 NAMED	) <b>3</b> R/X/A			

バイエル記号(いっかくじゅうγ)を選択した例

CLEAR

 $\mathbf{v}$ 

SCOPE MO	DE CEMADA MODE	2011/12/21 23:47:07
メスス - 天体メニュー		S-FRX9
- 蒋入 星座 · ◎ 湾 メシ ◎ す いっか	停入できます かくじゅう座 導入しますか	ີ ກິນວ <u>ະ</u> ອນ
Net/ 大幅星空名標星工ーー の1         のKキャ           01         0 <th>バイエル記号     ③:溶入できます       ③ α     Mon       ④ β     Mon       ④ γ     Mon       ③ δ     Mon       ④ ζ     Mon       ④ ζ     Mon       ⑤ S     Mon       ③ T     Mon       ③ U     Mon       ⑥ V     Mon</th> <th>0<sup></sup> 7<sup>-</sup> に長い角をも。 世紀に学者" い星座です。 37)』があ</th>	バイエル記号     ③:溶入できます       ③ α     Mon       ④ β     Mon       ④ γ     Mon       ③ δ     Mon       ④ ζ     Mon       ④ ζ     Mon       ⑤ S     Mon       ③ T     Mon       ③ U     Mon       ⑥ V     Mon	0 <sup></sup> 7 <sup>-</sup> に長い角をも。 世紀に学者" い星座です。 37)』があ
▲ 赤發23h59m47s 方	位270°46.7° TARGET 方位	- Align:0 ALTAZ

# 5自動導入する場合は方向キー▲・▼で恒星を選択し、ENTERキーを 押します。

SCOPE MO	DE TEMP	2011/12/21	23:47:30
▼ スス 天体×ニュー	-€= ···· 55	TANK AND A TANK AND	
考入 <u>星座</u> ◎ 減 メシ ◎ すいっか	導入できます かくじゅう座 導入しま	・ ・ アルフェラ	
· NGC/ ◎ U OK 太陽 U キャ	バイエル記号 ©:満 ③ α γ-Hon 導入	入できます、 しますか	)'
	● 4 ● 1 = キャンセル ● 4 ● 4 ● 5	赤経赤緯 : 6h15m 高度方位 : 176°19 恒星 光度 : 4.1等	n25s -06°16.7′ 9.9′ +47°57.4′
	© T Mon © U Mon © V Mon		37)』があ
▲ 赤経23h59m47s 方 赤緯-00°00.0°高	位270°46.7′ TARGE1 度-01°05.0′	「方位" AI	ign:0 ALTAZ x500

# "バイエル記号" 画面を直接呼び出す

 $s_{\text{COPE}}^{z_3-\vec{r}}$  SCOPE MODE またはCHART MODE にて ( $\hat{s}_{\text{SR}}$ ) を長押しす るとバイエル記号を参照する星座リストの画面を直接呼び出せます。 方向キー (▲)・(▼)で星座を選択して (ENTER) (または方向キー (►)) を押すとバイエル記号リストが表示されます。

これによりバイエル記号による恒星の目標天体(ターゲット)指定が速 やかに行えます。





,赤絳 0h22m50s 方位271°47.8' TARGET 方位---赤纃+07°22.5' 高度+10°10.5' 高度---



指定を中止する場合は方向キー(◀)または (CLEAR)を押します。

### ヒント40: バイエル記号とは

バイエル記号とはドイツの天文学者ヨハン・バイエルが、160	)3年

に発表した恒星の命名法です。

星座ごとにギリシア文字(小文字) $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ ・・・で命名されています。

### "座標"からの自動導入方法

赤経赤緯または高度方位の座標を任意に指定して自動導入します。

座標

【
"天体メニュー"画面にて方向キー ▲・▼ で"座標"を選択し、 [NTER
(または方向キー ▶) を押します。



方向キー (▲)・ (▼) で"赤経赤緯"または"高度方位"に設定し、方向キー ④・ ▶ で設定値までカーソルを移動します。続いて方向キー ▲・ ▼ で値を変更し、 (ENTER)を押します。

#### ●座標画面

ŋ

4





3 自動導入する場合は (ENTER) キーを押します。自動導入しない場合は方向 キー ◀ (または方向キー ▲・▼ で"キャンセル"を選択し、(ENTER ) を押すと一つ前の画面に戻ります。

SCOPE MODE 2011/12/21 23:49:21 ▼木星 -2-.8 天体メニュー 導入 座標 メシ NGC/ キャ 赤経赤緯 座標 導入しますか キヤ OK キャンセル 赤経赤緯: 5h43m13s +02\*31.4\* 高度方位: 190°56.9' +56°21.2\* 5h43m13s +02°31.4 恒星 星座 有名な天体 座標 人工衛星 ユーザー座標 ホームボジション Align:0 ALTAZ 赤経 0h02m07s 方位270°46.7′ 赤統-00°00.0′ 高度-01°05.0′

データ入力に間違いがある場合、および入力したデータが地平下になる場合は警告表示されます。

●データ地平下画面



#### ●データ不正画面



### "彗星"からの自動導入方法

軌道要素データを登録した彗星を自動導入、追尾します。彗星の軌道要素 につきましては天文雑誌などでご確認ください。ここではマックノート 彗星(C/2009 R1)の例でご説明いたします。

#### ◎軌道要素の入力

最新の軌道要素を入力します。彗星の軌道要素は最大10点まで登録できま す。彗星の軌道要素は市販の天文雑誌やインターネット情報などで公開さ れています。しかし公開されている情報は常に更新されています。このため、 できるだけ新しい情報を入手することを推奨いたします。軌道要素の内容に よっては自動導入の精度が悪い、追尾精度が悪い、または自動導入できない ことがあります。

ヒント41 観測直前に時刻を正確に合わせることを推奨します。





#### "彗星"画面が表示されます。





方向キー ▲ ・ ▼ で登録のない項目を選択して [EMTER] (または方向キー ▶ )を押し、"新規作成" 画面に進みます。方向キー ◀ ・ ▶ で 設定値までカーソルを移動し、 22142 方向キー ▲ ・ ▼または10キー (テンキー)にて文字または数値を入力します。すべて入力完了後 [EMTER] を2回押して軌道要素データ入力完了です。

こント42 文字入力中のカーソル縦移動はズームキー▲・▼ で行います(方向キー▲・▼ では縦移動できません)。

彗星データを元に数値を入力します。参照彗星データ桁数が入力可能桁 数を上回る場合は入力できる範囲で端数を四捨五入してください。また 桁数に満たない数値を入力する場合は"0"を入れて詰めてください。

入力例: 3.132179というデータの場合は000.00000という形で 入力しますので、以下のような値で入力してください。 → 003.13218

例:マックノート彗星	e(C/2009 R1)の軌道要素データ
名前	Mc Naught C/2009 R1
近日点通過(T)	2010 / 6 / 2.67841 TT
近日点引数(ω)	130.70095°
昇交点黄経(Ω)	322.62188°
軌道傾斜角(i)	77.03226°
近日点距離(q)	0.4050263 AU
離心率(e)	1.0003431

EPOCH = 2010年6月13.0日

#### ●軌道要素入力画面(入力途中)

天体メニュ	- ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	$ \wedge \wedge_{\alpha} > $	
将人当生	新規作成	<b>アルフェラツ</b>	2
太恒星有座三人ユー	OK キャンセル 名前 近日点通過(1) 近日点引数(ω) 昇交点黄経(Ω) 軌道傾斜角(i) 近日点距離(q) 離心率(e)	: MeNaught2009R1 : 2010/06/02.67841 [TT] : 130.70095 [*] (J2000) : 322.62000 [*] (J2000) : 000.00000 [*] (J2000) : 1.0000000 [AU] : 1.0000000	

#### ●彗星メニュー画面(データが入力された画面)



データに誤りがあると以下のように項目が赤く表示され不正データで あることが通知されます。入力ミスにご注意ください。

#### ●データが不正の場合の画面



#### ◎選択した彗星を自動導入

OK:選択した彗星を自動導入する場合に選択します。

SCOPE	MODE	2011/12/22 00:05:49
- 茶休入二日 - 考入 - 考入 - メシ	ー ②:導入できます HcNaught2009K5 ∛	*第2ドル
NGC/ ③ 太陽 恒星	OK キャンセル	★経赤緯: 4h52m05s +09*40.8' 高度方位: 224*21.0' +56*38.7' 執道要素
生有標語	データの変更 削除	
★》赤释 5h17 赤释+46°0	●大星 <sup>10</sup> m32s 方位314°37.0′ 0.6′高度+73°48.4′	・ * ガ TARGET 赤経 5h17m32s Align:4 カペラ 赤純 +46*00.6* ×690
	7     8       0BJECT     ETC       4     5       NGC/IC	(Star)
	1     2       SOLAR     2       MAMED     0       MENU     CLEAR	

# 自動導入する場合は(ENTER)キーを押します。自動導入しない場合は方向 キー (<)(または方向キー (▲)・(▼)で"キャンセル"を選択し、(ENTER)) で一つ前の画面に戻ります。

#### ◎選択した彗星のデータの変更

登録した彗星のデータを変更する場合に選択します。

軌道要素のデータを変更する場合は変更する軌道要素を表示した上で 方向キー (▲)・(▼) で"データの変更"を選択し、(ENTER) キーを押します。 以降は軌道要素の新規入力と同様の手順で入力します。

#### ●軌道要素入力画面でデータの変更を選択

	SCOPE	MODE	2011/12/22 00:06:15
10	α  天体メニュー	- -	マージー アージー
- 5	蒋入 彗星	◎:導入できます	
1	メシ	McNaught2009K5	導入しますか
4	NGC/ 太陽	OK キャンセル	赤経赤緯 : 4h52m05s +09°40.8′ 高度方位 : 224°21.0′ +56°38.7′
1	、 但生 星座 有名 座標	データの変更 削除	軌道要素 近日点通過(T) : 2010/04/30.02286 [TT] 近日点引数(ω) : 66.17274 [°] (J2000)
			昇交点莨羅(Ω) : 257.85578 [*] (J2000) 軌道倾斜角(i) : 103.87956 [*] (J2000) 近日点距離(q) : 1.422935 [AU] 離心率(e) : 1.0008525
*	· 赤経 5h17m	●木星 <sup>4</sup> 32s <u>方位</u> 314°28.2°	。 TARGET 赤発 5h17m32s Align:4 ALTAZ

●データ変更中の画面



#### ◎選択した彗星のデータの削除

登録した彗星のデータを削除する場合に選択します。

軌道要素を削除する場合は削除する軌道要素を表示した上で方向キー (▲)·(▼)で"削除"を選択し、(ENTER)キーを押します。いったんデータを 削除すると元に戻りませんので十分ご注意ください(元に戻すにはデ ータを入力し直す必要があります)。また、LAN接続によりパソコンか らデータ入力、訂正、削除することもできます。(P122~参照)

#### ●軌道要素入力画面で削除を選択

5	SCOPE.	MODE	2011/12/22 00:07:09
10.1	.a 」。 .Ba 天体メニュー	- -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1	将入 彗星	◎:導入できます	
1	メシ	McNaught2009K5	導入しますか
4	NGC/ 太陽	OK キャンセル	赤経赤緯 : 4h52m05s +09*40.8' 高度方位 : 224°21.0' +56°38.7'
1	恒星 星座 有名 座標	データの変更 削除	軌道要素 近日点通過(T) : 2010/04/30.02286 [TT] 近日点引数(ω) : 66.17274 [°] (J2000)
1	麗		昇交点黄経(Ω): 257.85578 [*] (J2000) 軌道傾斜角(i): 103.87956 [*] (J2000) 近日点短端(a): 1.4222825 [AU]
-			近口, 距離(4/ 1.1.4223335 (A0) 離心率(e) : 1.0008525
	· KUS	<b>木星</b> 74 H33	T T
*2	赤経 5h17m 赤緒+46°00	i32s 方位314°09.9' ).6' 高度+73°36.8'	************************************

#### ●削除画面



# "人工衛星"からの自動導入方法

軌道要素データを登録した人工衛星を自動導入、追尾します。

#### ◎軌道要素の入力

軌道要素を最大10点まで登録できます。

人工衛星の軌道要素は市販の天文雑誌やインターネット情報などで公開 されています。しかし公開されている情報は常に更新されています。この ため、できるだけ新しい情報を入手してください。軌道要素の内容によっ ては自動導入の精度が悪い、追尾精度が悪い、または自動導入できないこと があります。特に人工衛星の場合は軌道要素のデータの信頼性だけではなく 設定の影響を大きく受けます。このため観測前に観測地経度・緯度と時刻を 秒単位で正確に設定することを推奨いたします。

人工衛星の軌道要素につきましては市販の天文雑誌、CelesTrakホームペ ージ(海外機関)、NASAホームページ(海外機関)などでご確認ください。

ここでは気象衛星NOAAの軌道要素を利用した例でご説明いたします。

#### 人工衛星 📃 🕨 🕨

【 "天体メニュー"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"人工衛星"を選択し、 [ENTER] (または方向キー ▶)を押します。



#### ▶"人工衛星"画面が表示されます。





方向キー ▲・ ▼ で登録のない項目を選択し、 ENTER (または方向キー
 ▶)を押して"新規作成"画面に進みます。方向キー ▲・ ▶ で
 設定値までカーソルを移動し、 2743 方向キー ▲・ ▼ または10キー
 (テンキー)にて文字または数値を入力します。すべて入力完了後 ENTER
 を2回押して軌道要素データ入力完了です。

ヒント43 文字入力中のカーソル縦移動はズームキー▲・<br/>
・<br/>
▼ で行い<br/>
ます(方向キー▲・<br/>
▼ では縦移動できません)。

公開されている人工衛星軌道要素データを元に値を入力します。

#### 例:気象衛星NOAAの軌道要素(TLEフォーマット)

1 04793U 70106A 10136.02215887 -.00000031 00000-0 10000-3 0 5176 2 04793 102.0931 137.9363 0031946 163.7080 196.5027 12.53938386804630

人工衛星の軌道要素は通常TLEフォーマット(Two Line Elements)と呼ばれる形式で公開されています。TLEフォーマットの中から衛星名称(名前)、および軌道に影響するパラメータのみを抽出してSTAR BOOK TENに入力します。 TLEフォーマットは次のような構造になっています。



F	新規作成		
R	ок		
2	キャンセル	名前	: NOAA 1
N		元期	: 10136.02215887 [yrday]
2	3	平均運動減衰率	: -0.00000031 [rev/day 2]
1	1	軌道傾斜角	: 102.0931 [°]
1		昇交点赤経	: 137.9363 [°]
1		離心率	: 0.0030000
2		近地点引数	: 0.0000 [°]
1	1	平均近点離角	: 0.0000 [*]
2	4	平均運動	: 01.00000000 [rev/dav]
	TIE:NOAA 1	1 - Sidew	
7	1 ######1 ##	10138 023	215887 - 00000031 #####-# #####-# # ####



入力例:-3.13217というデータを±000.0000という形で入力→-003.1322 ※データに誤りがあると以下のように項目が赤く表示され不正データであ ることが通知されます。

#### ●入力値が不正の場合の画面

ок	入力値が不正で	¢
キャンセル	名前	: NOAA 1
	元期	: 10136.02215887 [yrday]
2	平均運動減衰率	: -0.00000031 [rev/day^2]
	軌道傾斜角	: 102.0931 [°]
4	昇交点赤経	: 00.0000 [°]
1	離心率	: 0.000000
	近地点引数	: 0.0000 [°]
	平均近点離角	: 0.0000 [*]
	平均運動	: 01.00000000 [rev/day]
TLE:NOAA 1		

#### ◎選択した人工衛星を自動導入(HSTの場合)

OK:選択した人工衛星を自動導入する場合に選択します。



登録した人工衛星のデータを変更する場合に選択します。

軌道要素のデータを変更する場合は変更する軌道要素を表示した上で 方向キー ▲・▼ で"データの変更"を選択し、(ENTER) キーを押します。 軌道要素の新規入力と同様の手順で入力します。



#### ◎選択した人工衛星データの削除

登録した人工衛星のデータを削除する場合に選択します。

軌道要素を削除する場合は削除する軌道要素を表示した上で方向キー ▲・▼ で"削除"を選択し、(ENTER) キーを押します。いったんデータを 削除すると元に戻りませんので十分ご注意ください(元に戻すにはデ ータを入力し直す必要があります)。また、LAN接続によりパソコンか らデータ入力、訂正、削除することもできます。(P122~参照)

### ●軌道要素入力画面で削除を選択

SCOPE MODE	2011/06/30 15:02:14
	terration (Construction) →
P メシ HST 導入しま	すか
NGC/ 太陽 の K キャンセル	赤経赤緯 : 15h13m41s -09*40.0′ 高度方位 : 103°24.4′ +01°59.5′
<ul> <li></li></ul>	軌道要素 元期 : 09343.60367032[yrday] 四均調査時度高度: 0.00000203[rev(dev <sup>2</sup> 3]
.ζ 彗星 人工	
	離心率 : 0.00319910 近地点引数 : 161.7350 [*] 亚均运去期份 : 169.4936 [*]
	平均運動 : 12.53938420 [rev/day]
▲ 赤経 5h15m37s 方位304°10.3 赤線+46°00.6′高度+38°14.8	TARGET 方位
●削除画面	
SCOPE MODE	2011/06/30 15:02:32

SCOPE MODE	121 /4008	2011/06/3	0 15:02:32
M48 天体メニュー	henz (	• Fo-A	14X
。 導入 人工衛星 ◎:導入できま	ৰ ি	X 1 1 1 X S	XXX
メシ HST 導入します/	b\		
NGC/ OK データを削除	しますか?		
2 日本 ◎ キャンセル			
元 右名 デーー・・・	JLNH	. 09343.00307	USZLYFUBYJ
「「「「「「」」」「「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「	平均運動減衰率	: 0.00000302[	rev/day^2]
- 5 - 彗星	軌道傾斜角	: 102.0931	[*]
	昇交点赤経	: 138.9934	[°]
<u> </u>	離心率	: 0.00319910	
ホー <u>ー</u>	近地点引数	: 161.7350	[*]
7	平均近点離角	: 198.4876	[°]
	平均運動	: 12.53938420	[rev/day]
▲ 赤發 5h15m53s 方位304°10.3	TARGET 方位	' /	Align:4 ALTAZ

# "ユーザー座標"からの自動導入方法

特定の赤経赤緯または高度方位を最大10点まで任意に登録することができます。 RADEC (赤経・赤緯)は天体として、ALTAZ (高度・方位)は地上物としての 登録に対応しています。

例えば自分でみつけた新天体を登録することや、定点で観測する場合に限り、 地上物を登録しておくとアライメントに使用できることなどが可能となります。

#### ユーザー座標

'天体メニュー"画面にて方向キー 【▲】・【▼】で"ユーザー座標"を選択 し、(ENTER)(または方向キー (►))を押します。









#### ◎新規作成

方向キー ▲ · (▼) で登録のない項目を選択し、 (ENTER) (または方向キー (▶)を押し"新規作成"画面に進みます。"新規作成"画面を開くと初 期値として現在望遠鏡が向いている赤経赤緯が表示されます。高度方位 にする場合はズームキー (▲)・(▼)でカーソルを"赤経赤緯"表示まで移 動して方向キー▲・▼で切替えます。

\*赤経赤緯で登録した場合、自動導入後は恒星時追尾となります。 \* 高度方位で登録した場合、自動導入後は追尾停止となります。

●新規作成画面(ユーザー座標)を入力中



方向キー (◀)・ ▶)で設定値までカーソルを移動し、ヒント44方向キー ▲ ・ ▼ または10キー(テンキー)にて文字または数値を入力します。 すべて入力完了後 (ENTER)を2回押して入力完了です。



#### ●座標メニュー画面(登録済みの画面)



データに誤りがあると以下のように項目が赤く表示され不正データで あることが通知されます。

#### ●入力値が不正の場合の画面



#### ◎選択した登録点を自動導入

▼

MENU

CLEAR

OK:選択した登録点を自動導入する場合に選択します。



自動導入する場合は (ENTER) キーを押します。自動導入しない場合は方向 キー(◀)(または方向キー (▲)·(▼)で"キャンセル"を選択し、(ENTER)) キーを押すと一つ前の画面に戻ります。

自動導入完了後はそれぞれ導入した対象の性質に合わせて追尾 とント45 または停止いたします。高度方位で登録した場合(地上物など)は自動導入 すると追尾が停止しますのでご注意ください。

改めて追尾をONにするか(P108参照)、または赤経赤緯で座標表示できる 天体(恒星など)を自動導入することで追尾を再開します。

ヒント45 入力でき 追尾のお

- 入力できる値は固定値(座標)であるため、追尾は恒星時 追尾のみとなります。

### ◎選択した登録点のデータの変更(修正)

登録した登録点のデータを変更する場合に選択します。

方向キー ▲・ ▼ で"データの変更"を選択し、 (ENTER) (または方向キー
 )を押し、新規入力と同様の手順で入力します。

#### ●データの変更を選択



●データ変更中の画面



#### ◎選択した登録点のデータの削除

選択した登録点のデータを削除する場合に選択します。

▲・▼で"削除"を選択し、ENTER キーを押します。
 いったんデータを削除すると元に戻りませんので十分ご注意ください
 (元に戻すにはデータを入力しなおす必要があります)。

また、LAN接続によりパソコンからデータ入力、訂正、削除することもできます。(P122~参照)

### "ホームポジション"に戻す方法

クランプをゆるめずに(アライメント情報を維持したまま)鏡筒を観測開 始状態位置(西向き水平。南半球では東向き水平)に戻すことができます。 (P33参照)

ホームポジションを利用すると極軸望遠鏡などの貫通位置も元に戻りま すので、次回の観測をすぐに始められるようになります。ヒント46



#### ホームポジション 🕨

【"天体メニュー"画面にて方向キー ▲ ・ ▼ で"ホームポジション" を選択し、 (ENTER) (または方向キー 下))を押します。

SCOPE MODE CENER	2011/06/30 15:14:15
天体X二1一	6
湾入天体リスト     ・     メシエ天体     ・     Noc/IC天体     太陽・月・惑星     ・     大場・     ・     メ     ・     メ     ・     オ     ・     ボ     は     ・      ・      ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・    ・     ・     ・     ・     ・     ・      ・     ・     ・     ・     ・      ・    ・     ・	$\beta \gamma$ $\eta$
恒星 2 星座 月名な天体 座標 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	カリテン Aur S
は 彗星 人工衛星 ユーザー座標 ホームボジション ▶	$\begin{array}{c} & & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & \\ & \\ & \\ $
★ 赤経 5h17m32s 方位304"45.6' TARGET 赤鎖 446"00.6' 高度+36"33.0' α-Aur	- <u>β</u> NW 赤腔 5h17m32s Align:4 ALTAZ 未録+46°00.6′ × 690

(\*ホームポジションに移動しますか"の画面が表示されます。





方向キー ▲ · (▼) で"OK"または"キャンセル"を選択し、 (ENTER) を押 します。

"OK"を選択するとホームポジションに戻ります。"キャンセル"を選択 すると一つ前の画面に戻ります。

### [ 極軸望遠鏡のご使用方法

#### 極軸望遠鏡とは

極軸望遠鏡は、赤道儀の極軸を天の北極(南半球では天の南極)へ向けてセッティングするためのレチクル(スケール)入りの望遠鏡です。 SXD2赤道儀を使用した望遠鏡システムで星雲や星団などの長時間露出による撮影をする場合は、写真撮影に対応した正確なセッティングが必要です。 極軸望遠鏡を使用することにより手軽に約3´(分)角以内のセッティングが可能となります。 精密なセッティングをされる場合は"より精密な極軸合わせ"(P68参照)をお読みください。

※セッティングの前に観測地の緯度と経度を地図やカーナビの位置情報などで調べておいてください。 ※高度調整ツマミの微動範囲を越える観測地で使用される場合は、"高緯度または低緯度地方おけるセッティング"をご覧ください。(P71参照)

### 注意:極軸望遠鏡につい<u>て</u>

●正確なセッティングをしないで撮影をすると、星が画面中央を軸に回転した像、もしくは流れた像になって写り、点像として写すことができません。 ●北緯70°以北、および南緯70°以南での極軸設定はできません。

### ◎極軸望遠鏡の各部名称



### │◎北半球における極軸の合わせ方

北極星が見える水平な固い場所を選び望遠 鏡を設置します。北極星の見掛け位置や方位 磁針などを使いながら、図のように赤道儀の 極軸方向がほぼ北向きになるように望遠鏡 を設置します。また安定した設置とするため、 なるべく架台が水平になるように三脚の長 さを調節して設置してください。

※北極星が見えない場合は"より精密な極軸 合わせ"をご覧ください。(P68参照)

2 極軸キャップ(フロント・リア)を取外します。 キャップはねじ込み式になっており、反時計 方向に回すことで取外せます。

※極軸望遠鏡で極軸を合わせる際は必ずウ ェイト軸を伸ばしてください。ウェイト軸を 収納したままですと極軸望遠鏡の視野が遮 られます。





極軸キャップ(リア

44



- 2SXD2赤道儀の電源を入れ、STAR BOOK TENコントローラーで鏡筒
- ♥を西向き水平にする画面が表示されるまで進めます。



極軸望遠鏡の対物側から極軸内部 をのぞき、方向キー▲・▼で操 作して赤緯軸を回します。内部が 貫通して極軸望遠鏡が見えるよう になるまで回してください。



※必ずSTAR BOOK TENコントロ ーラーで操作してください。手動で は内部の軸を回すことができません。

5 高度調整クランプをゆるめます。 高度調整ツマミを回して極軸の高 度をおおよそ観測地の緯度に合わ せます。

> 工場出荷時の設定では高度20 ~50°まで設定できます。 他の高度に設定する場合は P71を参考に設定してください。



6 極軸望遠鏡をのぞきながら視野調 整環(アイピース)を回してレチク ル(スケール)にピントを合わせま す。視野調整環を回す際はもう片 方の手で鏡筒部を押さえながら回 してください。







・極軸望遠鏡の照明の明るさを調整します。(P101参照)

水準器の両側を持って時刻目盛を 回し、水準器の泡が水準器指標の 中央にくるようにします。



9日本の標準子午線135°(兵庫県明石市)と観測地との経度差を地図やカ ーナビの位置情報、GPSなどで調べておいてください。

観測地が標準子午線135°より東側(East)にある時は指標線に対して 月日目盛(経度差補正)をE側に移動し、西側(West)にある時は、月日目盛 (経度差補正)をW側に回します。

写真のように鏡筒部を押さえな がらもう片方の手で月日目盛を 回します。経度差分だけを回して ください。



例:東京(約139°)で観測する場合、経度差=139°-135°=4° 子午線0°(経度差補正の0位置)を指標線に合わせ、そこより E側に目分量で約4度移動させます。



極軸望遠鏡の鏡筒部を回して、月日目盛の観測月日と観測時刻を合わせます。

写真では12月20日21時42分となっています。目盛では10分単位まで読み取ることができますが、目分量でおおよそ1分単位まで合わせた例です。



極軸望遠鏡をのぞきながら、方位調整ツマ ミと高度調整ツマミを回して、図のような レチクルの所定位置に北極星を導入しま す。

※ 天の北極は地球の歳差運動のため、視位 置が年々移動します。このため図のように 北極星を導入する位置も移動します。年々 変わる導入位置については、図を参考に補 正してください。

12方位調整ツマミは2本で互いに押し合うネジンとなっていますので、片方をゆるめて片方 をしめることで方位を微動で動かせます。







レチクル拡大図



極軸望遠鏡の視野

※季節や時間により見え方(紙面回転方向の向き)



北極星の導入が完了しましたら位置がずれ |4 ないように高度調整クランプ、方位調整ツ マミをしめて固定します。固定の際、北極星 の位置がずれないようにご注意ください。



明視野照明の明るさが合わない (スケールと北極星が同時に見えに ヒント47 くい)場合は明視野照明の明るさ を調整してください。(P101参照)



# ◎南半球における極軸について

南半球では天の南極付近にある八分儀座にある4つの星の並び(以下"八分儀座4星"といいます : P67参照)を利用した極軸合わせをいたしますが、歳差運 動を考慮したものとはなっておりません。ここでは簡易的な設置についてご説明いたします。精密なセッティングをされる場合は"より精密な極軸合わせ" (P68参照)をお読みください。

# ① 重要:事前に八分儀座を調べることを推奨します

八分儀座は天の南極付近にある星座で、極軸を合わせる際に目安として用います。しかし北半球の北極星(2等星)とは異なり、あまり明るい星がありません (極軸合わせに使用する八分儀座の4星は約5等星です)。更に日本から見えない星座であるため、なじみが薄いこともあるかと存じます。南半球の星座になじみ がない場合は、事前準備として書籍などで八分儀座とはどのようなものであるかをよく調べた上で極軸を合わせることを推奨いたします。

他の星座もなじみが薄い場合は星の位置関係も分かりにくいものです。そこで、北半球で通常使用されている観測機材の他、"八分儀座4星を探す手段"も準備 されることを推奨いたします。例えば星が暗いため倍率5~8倍程度の双眼鏡があると非常に役立ちます(極軸望遠鏡の視野と比較される場合は極軸望遠鏡の 視野が倒立像であることにご注意ください)。また方位の目印が得られにくいため方位磁針を携行、さらに八分儀座4星のおおよその高度が現地の緯度に非常 に近いため、事前に調べておくと役立ちます。

#### ◎南半球における極軸の合わせ方

1 八分儀座4星が見える水平な固い場所を選び望遠鏡を設置します。方位 磁針などを参考にしながら極軸方向がほぼ南向きになるように、また八 分儀座4星の見える位置を参考に極軸高度がほぼこの方向になるように 設置します。また安定した設置とするため、架台が水平なるように三脚 の長さを調節して設置してください。

2 極軸キャップ(フロント・リア)を取外します。キャップはねじ込み式になっており、反時計方向に回すことで取外せます。

3 SXD2赤道儀の電源を入れ、STAR BOOK TENコントローラーで鏡筒を東向き水平にする画面が表示されるまで進めます。



北半球における極軸の合わせ方4~7と同様の作業をします。(P64~参照)

Δ

● 極軸望遠鏡をのぞきながら、方位調整ツマミと高度調整ツマミを回して ○ 八分儀座4星が全部極軸望遠鏡の視野内に入るようにします。



極軸望遠鏡をのぞきながら極軸望遠鏡の鏡筒部(接眼レンズのあるところ) を回し、八分儀座4星の配置とスケールの図が平行になるまで回します。 ※季節や時間により見え方 ここに4つの星を入れます (紙面回転方向の向き) が変わりますのでご注意 ください。 χ  $\cap$ Τ. 1 - 200<sup>00</sup> 11 極軸望遠鏡  $\gamma^2 \cdot \bullet \gamma^3$ の視野 ß

7 極軸望遠鏡をのぞきながら、方位調整ツマミと高度調整ツマミを回して図のようなスケールの所定位置に八分儀座4星が収まるように調整します。



# 参考:八分儀座4星の見つけ方

八分儀座は目立つ星がないため探すのがやや難しいです。しかしながら目立つ天体である小マゼラン雲、南十字座(南十字星)、ケンタウルス座α星、β星な どの位置関係を参考に見つけることができます。下記星図を参考に八分儀座4星の探し方をご紹介いたします。



※図は八分儀座付近の星図を表したものですが、季節や時間により見え方(紙面回転方向の向き)が変わりますのでご注意ください。

### 1. 小マゼラン雲と南十字座を利用した方法

小マゼラン雲の中心付近と南十字座β星を直線で結び、ほぼ1:2の比で区切ったところに八分儀座4星があります。

### 2. 南十字座の配列を利用した方法

南十字座のクロスを十字架に見立てた場合の縦棒(α星とγ星で結んだ線分)を小マゼラン雲の方向にほぼ4.5倍伸ばしたあたりに八分儀座4星があります。

### 3. 小マゼラン雲と水へび座β星、八分儀座γ星を利用した方法

小マゼラン雲から南十字座の方向に少しだけ目を移動すると水へび座β星があります。水へび座β星から更に南十字座方向に進むと八分儀座γ星があ ります。この星は3つ並んでいる(γ1、γ2、γ3)ため見分けがつきます。この距離を更に南十字座方向に進むと八分儀座4星があります。

# ◎より精密<u>な極軸合わせ(上級者向け)</u>

極軸望遠鏡の据付精度は約3′(分)角です。この精度があれば、眼視観測では目標物が視野から外れることがほとんどありません。また撮影につい ても35mm判換算で焦点距離200mm程度以下であれば露出時間5~10分程度までが可能であることを想定しています。

しかし、長時間露出や長焦点で撮影をされる場合は、さらに高精度なセッティングをしなければなりません。より高精度にセッティングするには、 星の動きを確認しながら追加修正を行います。この方法は極軸望遠鏡を使わずに赤道儀を設置する方法でもあるため、北極星が見えない場合や 極軸望遠鏡がない場合の極軸合わせにも応用できます。

### ① 注意:アライメントについて

この手法による極軸の修正作業はアライメント作業の前に行ってください。アライメント情報があると鏡筒の向きを赤道儀が自動的に修正しますので、極 軸のズレそのものを確認できなくなります。とント43このため、極軸の修正ができなくなります。また大気差補正(**P74**参照)はOFFで行ってください。

ヒント48 極軸を合わせた赤道儀モード(P103: 架台の種類参照)であればアライメントの影響がありませんので、既にアライメントを取得されている 場合でもセッティングできます。ただし設置状態が動くため取得済みのアライメント情報は実質上無効となります。

#### ◎北半球における設置

まず極軸望遠鏡による極軸セッティングを行ってください。2から始めることもできますが、最初に極軸望遠鏡を用いたほうが、修正作業が楽になります。 また北極星が見えない場合は極軸望遠鏡を使用できないため、方位磁石などでおおよそ北向きに設置し2から始めてください。

#### ┩ 方位調整 : 東西方向を調整します。

天の赤道付近にある南中前後の明るい恒星を 視野に導入し、東西南北を確認するためモー ターを止めた状態で星が流れる方向(西)を確 認します。方向が確認できたら、以後同じポジ ションで接眼レンズ(接眼部)をのぞきます。 ポジションが変わると方向も変わるため東西 南北がわからなくなることがありますのでご 注意ください。正立像・倒立像であれば反時計 方向に回って西→北→東→南となります。鏡 像であれば反時計方向に回って西→南→東→ 北となります。



以下、屈折直視の場合でご説明いたします。

SXD2赤道儀を恒星時駆動させながら「Or12.5mm Reticle(別売)」など十字線入り接眼レンズを用いて赤道付近にある南中前後の明るい恒星の動きを観察しま す。モーターで追尾させているうち、星が南北に移動することがありますのでこのとき以下の要領で方位調整ツマミを調整します。

鏡筒と星の関係	視野の見え方(倒立像)	方位修正方向
鏡筒が南、恒星が北へ移動	恒星が北へ移動。倒立像のため見かけ上は視野の下に移動して見えます。	極軸方位を東に修正
鏡筒が北、恒星が南へ移動	恒星が南へ移動。倒立像のため見かけ上は視野の上に移動して見えます。	極軸方位を西に修正

※視野の中の星が東西方向にわずかに移動することがありますが、方位調整の作業には影響ありませんのでそのまま続けてください。





最終的に視野の中で星が南(視野の上)・北(視野の下)に移動しなくなった時点で方位調整の完了です。

2高度調整:高度方向を調整します。

東または西の空で天の赤道付近にある明るい 恒星を視野に導入し、東西方向の調整と同様、 視野の中での東西南北を確認します。ここでは 東の恒星の動きを観察した例で説明します。



2と同様にSXD2赤道儀を恒星時駆動させながら十字線入り接眼レンズを用いて行います。また十字線入り接眼レンズのスケール1辺を西に流れる向き と平行にしてください。

東の恒星を選んで動きを観察します。

モーターで追尾させているうち、星が南北に移動することがありますのでこのとき以下の要領で高度調整ツマミを調整します。

鏡筒と星の関係	視野の見え方(倒立像)	方位修正方向
鏡筒が低く、恒星が高い方	恒星が北へ移動。倒立像のため見かけ上は視野の右下寄りに	極軸高度が高いため極軸高度
(または北)へ移動	移動して見えます。	を低く修正
鏡筒が高く、恒星が低い方	恒星が南に移動。倒立像のため見かけ上は視野の左上寄りに	極軸高度が低いため極軸高度
(または南)へ移動	移動して見えます。	を高く修正



最終的に視野の中で星が南(視野の左上)・北(視野の右下)に移動しなくなった時点で高度調整の完了です。

# ◎南半球における設置

◎ 原則として北半球におけるセッティングと同じ流れとなります。ただし星の動きに対する東西南北のイメージが北半球と逆になります。

※赤道儀を設置する向きが北半球の場合と180°反対になります。また星が動く方向も馴染みがない場合がありますので、感覚的に東西南北を間違えないよう にご注意ください。以下、屈折直視の場合でご説明いたします。

● 方位調整:真北方向で天の赤道付近にある(北半球における南中前後に相当)明るい恒星で行います

鏡筒と星の関係	視野の見え方(倒立像)	方位修正方向
鏡筒が北、恒星が南へ移動	恒星が南へ移動。倒立像のため見かけ上は視野の下に移動して見えます。	極軸方位を東に修正
鏡筒が北、恒星が南へ移動	恒星は北へ移動。倒立像のため見かけ上は視野の上に移動して見えます。	極軸方位を西に修正



視野の中の星が東西方向に移動することがありますが方位調整作業には影響ありませんのでそのまま続けてください。 最終的に視野の中で星が南(視野の下)北(視野の上)に移動しなくなった時点で方位調整は完了です。

**り**高度調整:<u>東または西の空で天の赤道付近にある明るい恒星</u>で行います。下記は<u>東の恒星を利用した場合</u>です。

鏡筒と星の関係	視野の見え方(倒立像)	方位修正方向
鏡筒が低く、恒星が高い方	恒星が南に移動。倒立像のため見かけ上は視野の左下寄りに	極軸高度が高いため極軸高度
(または南)へ移動	移動して見えます。	を低く修正
鏡筒が高く、恒星が低い方	恒星が北に移動。倒立像のため見かけ上は視野の右上寄りに	極軸高度が低いため極軸高度
(または北)へ移動	移動して見えます。	を高く修正





最終的に視野の中で星が南(視野の左下)・北(視野の右上)に移動しなくなった時点で高度調整の完了です。

# ◎高緯度または低緯度地方におけるセッティング

SXD2赤道儀の工場出荷時の極軸高度は、日本国内での使用(緯度35°付近) を想定した角度に設定されています。このため、海外などご使用の地方に よっては高度調整範囲を外れるため、範囲を変更する必要があります。 高度調整範囲は、固定ネジの位置により3段階(高緯度、中緯度、低緯度)に 変更できます。

高緯度: 40度から70度

中緯度: 20度から50度 (工場出荷時は中緯度に設定されています)

低緯度: 0度から30度

# ① 注意

※日本国内の使用の場合は工場出荷時のままの設定(中緯度)で ご使用ください。

高度調整範囲を変更する場合、安全のため鏡筒、ウェイトをすべて取外します。

▶ 高度調整クランプをゆるめ、高度調整ツマミで高度を35度にします。

▲ 調整が完了したら、高度





高度調整クランプの下に六角レンチ対応の固定ネジがありますので、

この固定ネジを付属の 六角レンチ(5mm)で取 外します。



▲ 赤道儀本体を支えながら、高度調整クランプをゆるめます。

ゆっくりと赤道儀本体の高度を動かしてください。高緯度側にする場合は、 高度55度、低緯度側にする場合は高度15度となるまで動かし、高度調

整クランプをしめてく ださい。



\_\_\_\_\_\_\_ 取外した固定ネジを差し込み、六角レンチでしっかりとしめます。



7 高度調整クランプを再度ゆるめ、使用する地域の緯度に合う位置まで 高度調整ツマミで動かします。



#### ⊘注意

※赤道儀は重いので急に傾けたりしないようにご注意ください。 故障やケガの危険があります。

※70度以北(南半球の場合南緯70度以南)での極軸設定はできません。

### Ⅱ "初期設定"画面(電源投入直後の画面)

#### 初期設定画面では時刻の設定や観測地の設定など各種の設定ができます。

#### 前回の架台設定を使用

前回の観測状態を維持している場合、前回設定した赤道儀の状態を再現 することができます。(スタンバイ機能)

同機能をONとすることで、電源を切っても前回の観測で使用した観測状態(アライメント情報など)が維持されます。このため次回使用時にアラ イメントを再取得しなくても自動導入を再開できます。例えば、観測途中 で曇ってしまった時などに電源を切っても同じ場所から再開できます。 ※電源の消耗で赤道儀が動作できなくなった場合は前回の架台設定が維持 されていません。またSTAR BOOK TENの内蔵時計用メモリー電池が消耗 している時も同様になります。この場合は初めからアライメントを取り直 してください。



### 時刻の設定

時刻の設定(P20)をご覧ください。 使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。(P109参照)

#### 観測場所

観測場所の設定(P21)をご覧ください。 使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。(P110参照)

#### LCD調整

LCD(画面)の明るさを21段階(0:消灯~20:最大光輝)で指定できますの で好みの明るさにしてご使用ください。

◎STAR BOOK TEN起動時設定:15

¶ "初期設定"画面にて方向キー ▲. ▼ で"LCD調整"を選択し、 ENTER (または方向キー ►))を押します。

初期設定		
0K 前回の架台設定を使用 時刻の設定 観測場所	0FF ▶ Tokyo E139°42′N35°42′+9	
LCD調整	15	
夜間表示 キーの照明 音量調整 大気差補正	0FF 20 15 0FF	
言語/Language メモリの初期化 Star Book TEN について	日本語 ▶ Version: 1,10	
LANIZOUT	192. 168. 0. 109	

#### "LCD調整"画面が表示されます。





※設定の保存はできません。

参照:使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。 (P111参照)

ヒント49 ズームキー▲・▼ で行うと10ずつ値が変化します。 (最大値、最小値およびその付近を除く)
### 夜間表示

天体観測は暗い環境で行いますので、観測者の目も暗い環境に順応して います。このため観測中にコントローラーの明るい画面を見ると目の刺 激となり、一時的に観測環境周辺がよく見えなくなることがあります。夜 間モードをONに設定すると画面全体が赤を基調とした色彩で表示されま すので、暗い環境における目への刺激を軽減します。LCD調整と併せてご 使用ください。



"初期設定"画面にて方向キー (▲)・(▼)で"夜間表示"を選択し、(ENTER) (または方向キー 🕨)を押します。

	2011/06/30 15:23	: 15
初期設定		
OK 前回の架台設定を使用 時刻の設定 観測場所 LCD调整	0FF ► Tokyo E139°42' N35°42' +9 20	
夜間表示	OFF	
キーの照明	18	
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化		
StarBookTENIZOUT	Version : 1.10	
LANIZOUIT	192. 168. 0. 109	

### "夜間表示"画面が表示されます。





# 参照:使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。

### (P112参照)

# ●夜間表示(赤を基調とした画面)

如期時代	201	1/06/30 15:24:11

# ●夜間表示(赤を基調とした画面)

### キーの照明

キーのバックライト明るさ(0:消灯~20:最大光輝)を設定できます。好み の明るさに設定のうえご使用ください。

### ◎工場出荷時設定:15

"初期設定"画面にて方向キー (▲)・(▼)で"キーの照明"を選択し、(ENTER) または方向キー ▶)を押します。





### 音量調整

導入完了時などを知らせる音声について、音量を21段階(0:消音~20:最大) で設定できます。好みの音量にあわせてご使用ください。

◎工場出荷時設定: 15



初期設定		
OK	1000000	
前回の架台設定を使用	OFF	
時刻の設定		
<b>在</b> 見;則1弱円f	Tokyo E139"42' N35"42' +9	
LCD品母整	15	60
夜間表示	OFF	
キーの照明	15	1.1
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化		
StarBookTENについて	Version : 1.10	
LANICOUT	Disconnected	

- "音量調整"画面が表示されます。
- 方向キー (▲)・(▼) で数値を入力し ピント51、 (ENTER)を2回押します。

则期設定 文 日 - 10 - 20		_
OK EPHOLOG	石戸でテスト	
时回 OK		
時刻 キャンセル	2	
100月9-mm	20	
<b>広間表示</b>	OFF	
キーの照明	18	
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化		
StarBookTENについて	Version : 1.10	
LANICOUT	192. 168. 0. 109	



参照:使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。 (P113参照)

エント51 ズームキー▲・▼ で行うと10ずつ値が変化します。 (最大値、最小値およびその付近を除く)

# 大気差補正

天体からの光は宇宙空間を直進しながら大気層に入ります。ところが大 気層に差し込むと光が屈折するため、天体の見掛けの高度と正しい高度 との間にズレが生じます。これを大気差といいます。天体の高度が低いと きに顕著に現れ、高度が高くなるにつれて影響が減り、天頂付近でほぼ解 消する性質があります。

SXD2赤道儀では大気差を補正する機能を装備しています。大気差補正を ONにすることで大気差を軽減することができます。ヒント52

※オートガイダー使用時はOFFでのご使用を推奨します。

### ◎工場出荷時設定:OFF

ヒント52 実際の大気は自然のものでありプログラムにて完全に補正 することはできません。ここでは擬似的に軽減する機能と なっております。

"初期設定"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"大気差補正"を選択し、ENTER
 または方向キー ▶ )を押します。

	2011/06/30 15:32	
初期設定		_
0K 前回の架台設定を使用 時刻の設定 総測場所 LCD調整 夜間表示 キーの照明 音量調整	OFF ► Tokyo E139°42' N35°42' +9 20 OFF 18 17	œ
大気差補正 言語/Language メモリの初期化 StarBookTENについて LANについて	0FF 日本語 ▶ Version: 1.10 192.168.0.109	

2 <sup>方向キー</sup> ▲ · (▼) でON/OFFを選択し、 (MTER) を押します。 "大気差補正"画面が表示されます。



### 言語/Language

STAR BOOK TENをご使用いただく際の言語を五ヶ国語(日本語、英語、 イタリア語、ドイツ語、スペイン語)から指定できます。

# ◎工場出荷時設定:日本語

1	"初期設定"画面にて方向キー		) •		で"言語/Language"を選択し
I	(または方向キー ▶)	を押	ι	, <b>ま</b>	d .

初期設定		
OK		
前回の架台設定を使用	OFF	
時刻の設定		
観測場所	Tokyo E139°42' N35°42' +9	
LCD調整	15	100
夜間表示	OFF	
キーの照明	20	
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化		
StarBookTENについて	Version : 1.10	
LANICOUT	Disconnected	

🬒 "言語/Language"画面が表示されます。

「方向キー (▲)・(▼)で言語を選択し、 (ЕΝΤΕΡ)を押します。





参照:使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。

### (P114参照)

●英語画面	
-------	--

	2011	/06/30 18:59:03
nitial Configuration		_
OK		
Use Last Mount Setting	OFF	
Local Time Setting	•	
Location	Tokyo E139°42' N35°42' +9	
LCD Adjust	15	100
Night Vision	0FF	0
Key LED Brightness	20	
Volume	15	
Atmospheric Refraction	0FF	
Language	English	
Initialize Memory Data		
About StarBookTEN	Version : 1.10	
About LAN	Disconnected	

# メモリの初期化 ▶

メモリを初期化します。設定項目が初期化されますのでご注意ください。 とント53

ヒント53

以下のデータは初期化されません。 ・内蔵時計

"初期設定"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"メモリの初期化"を選択し、 (ENTER)(または方向キー (►))を押します。

初期設定		
0K 前回の架台設定を使用 時刻の設定 報辺場所 LCD調整 夜間表示 キーの照明 音量調整 大気差補正	0FF ► Tokyo E138°42' N35°42' +9 20 0FF 18 17 0FF 0FF	0
言語/Language メモリの初期化		
StarBookTENについて LANについて	Version : 1.10 192.168.0.109	

### 

方向キー (▲)· ▼ で OK/キャンセルを選択し、 ENTER を押します。 (OKを選択すると初期化されます)

2011/06/30 15:35:41 初期設定

現則		
LCD調整	20	di
夜間表示	OFF	
キーの照明	18	
音量調整	17	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化		
StarBookTENについて	Version : 1.10	
LANICOUT	192.168.0.109	



参照:使用途中でメインメニュー画面でも設定できます。 (P115参照)

### Star Book TENについて STĂR BOOK TENコントローラーのプログラムバージョンが確認できます。 "初期設定"画面にて方向キー (▲)・(▼) で"Star Book TENについて" を選択し、(ENTER)(または方向キー **>**)を押します。 2011/06/30 15:36:31 初期設定 前回の架台設定を使用 時刻の設定 観測場所 LCD調整 OFF Tokyo E139°42' N35°42' +9 20 夜間表示 OFF キーの照明 音量調整 大気差補正 18 15 OFF 言語儿anguage メモリの初期们 日本語 Version : 1.10 StarBookTENについて LANGOUT

"Star Book TENについて"画面が表示されます。





(P115参照)

### LANについて

きます。Ethernet (LAN) 接続によりパソコンからプログラムのバージョン アップを行う、パソコンからデータの入力を行うなどの際に確認します。

	20	11/07/01 13:11:3
初期設定		
OK		
前回の架台設定を使用	OFF	
相通此品所	Tokyo F139°42' N35°42' +9	
LCD調整	20	
夜間表示	OFF	100 M
キーの照明	15	
音量調整	15	
大気差補止	OFF	
メモリの初期に	Version 1 1 10	
STAFBOOKTEN(2 JUTC	102 168 0 100	

・ "LANについて"画面が表示されます。

【 IPアドレスはLAN接続されている時にのみ表示されます。

川明設定 ok 大気差補正		1	
ON ON			
中分支U OFF 復見測		° 42' +9	
LCD調整	20		100
夜間表示	OFF		
キーの照明	18		
音量調整	17		- and
大気差補正	OFF		
言語/Language	日本語		
メモリの初期化	•		
StarBookTENについて	Version : 1.10		
LANICOUT	192.168.0.109		

LAN接続されていない場合はIPアドレスのところに"Disconnected"、 接続作業中の場合は"Waiting...."と表示されます。

●Disconnected 画面

		2011/07/04 13:15:55
初期設定		
OK LAN(20UT		
前回 IP Address : D 時刻 Mac Address : O 観測	sconnected ):04:A3:2B:F8:F1	
LCD語 のK		
キーの照明	15	
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化	•	
StarBookTENについて	Version : 1.10	
LANについて	Disconnected	

		2011/07/04 13:16:18
初期設定		
OK LAN(ZOUT		
前回 IP Address : W 時刻 Mac Address : O 観測	aiting D:04:A3:2B:F8:F1	
LCDA OK		
キーの照明	15	
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化		
StarBookTENについて	Version : 1.10	
LANICOLIT	Waiting	



参照:使用途中でメインメニュー画面でも確認できます。 (P116参照)

# Ⅲ "メインメニュー"画面(MENUを押すと"メインメニュー"画面となります)

観測中、SCOPMODE画面、CHARTMODE画面からでも各種設定ができます。



# "表示形式"画面を直接呼び出す

SCOPE MODE または CHART MODE にて (3) を長押し すると"表示形式"画面を直接呼び出せます。

これにより高度方位表示、赤経赤緯表示を速やかに切替えることができます。





切替えを中止する場合は方向キー <</li>

星座

星座の表示方法を次から設定します。
 OFF:表示しません。(恒星のみ表示)
 星座線:星座線のみ表示
 星座名:星座名のみ表示
 星座線+名前:星座線と星座名を表示
 略号:星座を略号で表示
 星座線+略号:星座線と星座の略号を表示
 名前+略号:星座名と略号を表示
 星座線+名前+略号:星座線と星座名、星座の略号を表示

◎工場出荷時設定:星座線+名前

"星図の設定"画面にて方向キー (▲)・▼)で"星座"を選択し、 (ENTER) (ま たは方向キー (▶))を押します。



"星座"画面が表示されます。





方向キー ▲・ ▼ で設定する項目を選択し、 <sup>ENTER</sup> キーを押します。その後設定を完了する場合は (CLEAR) を押します。(または方向キー ◀ を2回押します。)



●星座線の画面(星座線を表示)



●星座名の画面(星座名を表示)



●星座線と名前の画面(星座線と星座名を表示)



複数の天体情報の文字が重なり読みにくくなることがあります。



●星座線と略号の画面(星座線と星座の略号を表示)







●星座線と名前と略号の画面(星座線と星座名、星座の略号を表示)



複数の天体情報の文字が重なり読みにくくなることがあります。

### 恒星の表示

ズーム最小状態(最広角状態)において表示される恒星を等級で制限し ます。ヒント54

8等級以上:8等級以上の恒星を表示 7等級以上:7等級以上の恒星を表示 6等級以上:6等級以上の恒星を表示

5等級以上:5等級以上の恒星を表示

4等級以上:4等級以上の恒星を表示

## ◎工場出荷時設定:6等級以上



ズームアップにより徐々に表示される恒星が増加し、最大約9等級まで表示されます。ズーム途中における等級は 均等割付になっており、個別指定はできません。



 シス:
 星座
 星座秋半名前

 画品/
 恒星の表示
 6等級以上

 地理の表示
 6等級以上

 恒星名
 2等級以上

 拡張
 バイエル記号

 StarB
 太陽・月・惑星

 A
 大陽・月・惑星

 A
 赤経赤緯線

 N
 N

 本
 水島小祥泉

 A
 小祥

 本
 クログ天体

 A
 ウログ天体

2011/06/30 15:40:43





方向キー ▲・▼ で設定する等級を選択し、 ENTER キーを押します。その後設定を完了する場合は (CLEAR) を押します。(または方向キー ◀ を2回押します。)

●5等級以上の星空の画面



### ●7等級以上の星空の画面



### 恒星名

ズーム最小状態(最広角状態)において表示される名称登録のある恒星に ついて、名称の表示を等級で制限します。ところ55 また、恒星名の常時表示、 常時非表示も選択できます。

常に ON:恒星名を常時表示

5等級以上:5等級以上の恒星名を表示 4等級以上:4等級以上の恒星名を表示 3等級以上:3等級以上の恒星名を表示 2等級以上:2等級以上の恒星名を表示 1等級以上:1等級以上の恒星名を表示 常にOFF:恒星名を常時非表示

◎工場出荷時設定:2等級以上

とント55 ズームアップにより徐々に名称表示される恒星が増加します。 ズーム途中における等級は均等割付になっており、個別指定 は出来ません。(常にON、常にOFFの場合を除く)



SCOPE MODE 2011/06/30 15:41:35 メインメニュー 星図6 星図の設定 表示 恒星名 シスラ 星座 常にON 5等級以上 a. 北極星 | Xモ! 恒星 | 拡張| 4等級以上 3等級以上 StarB 2等級以上 1等級以上 太陽 LANIT 架台情 人工 常にOFF 赤綷 視野円 カタログ天体 デル ラ 5h39m00s 方位305\*07 4、TARGET 赤経 5h39m00s +46\*00.6\*高度+35\*33.6\* --- 赤経 +46\*00.6\* 2 Align:4 ALTA (7 OBJECT) (8 ETC) (9 ALIGN)  $\begin{pmatrix} 4 \\ M \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 5 \\ \text{NGC/IC} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 6 \\ \text{STAR} \end{pmatrix}$ ▼ O CLEAR 方向キー (▲)・(▼)で設定する項目を選択し、(ENTER) キーを押します。そ の後設定を完了する場合は (CLEAR)を押します。(または方向キー

を2回押します。)

● 2等級以上の星空の画面 SCOPE MODE 2011/12/22 17:52:48 2011/12/22 17:

### ●3等級以上の星空の画面



複数の天体情報の文字が重なり読みにくくなることがあります。

### ●常にOFFの星空の画面





### バイエル記号

ズーム最小状態(最広角状態)において表示されるバイエル記号登録のある恒星について、記号の表示を等級で制限します。ところ6 また、常時表示、常時非表示も選択できます。

常 に ON: バイエル記号登録のある恒星すべての バイエル記号を常時表示

5等級以上:5等級以上の恒星バイエル記号を表示 4等級以上:4等級以上の恒星バイエル記号を表示 3等級以上:3等級以上の恒星バイエル記号を表示 2等級以上:2等級以上の恒星バイエル記号を表示 1等級以上:1等級以上の恒星バイエル記号を表示 常にOFF:バイエル記号を常時非表示

◎工場出荷時設定:3等級以上

ズームアップにより徐々に記号表示される恒星が増加します。 ズーム途中における等級は均等割付になっており、個別指定 は出来ません。(常にON、常にOFFの場合を除く)

"星図の設定"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"バイエル記号"を選択し、 [ENTER (または方向キー ▶ )を押します。

メインメニュー	1000	
星図の星図の設定		
架台9 表示形式	高度方位	
シスコ星座	星座線+名前	
高品/恒星の表示	6等級以上	10/221
拡張 八七 一世生名	2 守線以上 3 筆級以上	
StarB 大陽·月·惑	星 ON	ALT Y
LANIC 彗星	ON	
架台门人工衛星	ON	
赤経赤緯線	ON	X-PT X
<b>人</b> 初新 視野円	ON	2.
カタログ大体		B
BB	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
赤释 5h39m00s 方位	305°08.9' TARGET 赤経 5h39m00s	Align:4 ALTA

)"バイエル記号"画面が表示されます。





方向キー (▲)・ (▼) で設定する項目を選択し、 (ENTER) キーを押します。その後設定を完了する場合は (CLEAR) を押します。(または方向キー (▲) を2回押します。)

●1等級以上の星空の画面



### ●3等級以上の星空の画面



複数の天体情報の文字が重なり読みにくくなることがあります。

### ●常にOFFの星空の画面



### 太陽・月・惑星

ターゲット(目標天体)として指定していない太陽・月・惑星(準惑星を含む)の 名称表示・非表示を設定します。 ヒント57

ON: 太陽・月・惑星名を表示

OFF : 太陽·月·惑星名を非表示

◎工場出荷時設定:ON

ヒント57 太陽・月・惑星(準惑星を含む)そのものを非表示にする ことはできません。

*」*ことはできません。

"星図の設定"画面にて方向キー (▲)·(▼) で"太陽·月·惑星"を選択し、 (ENTER)(または方向キー (▶))を押します。

SCO	PE MODE		2011/06/30	15:42:40
48 メイン	х=	103702	O MR82	
- 星図0	星図の設定			古父書
· 架台0 シスラ	表示形式 星座	高度方位 星座線+名前		- g
<ul> <li></li></ul>	恒星の表示 恒星名	6等級以上 2等級以上		HDAVE
StarB	大陽・月・惑星	3等級以上 ON		TR
7、架台市	→	ON		top by
·#-6	視野円 カタログ天体	ON ►		r
αβ	<sup>в</sup> л	· 火星/#5	. <sup>H34</sup> . /	S.M.
▲ 赤緒	_5h39m00s 万位305°1 +46°00.6′高度+35°2	1.5' TARGET 赤辁 2.9' 赤緯・	5h39m00s A +46°00.6'	x500

"太陽・月・惑星"画面が表示されます。



方向キー ▲・▼ でON/OFFを選択し、ENTER キーを押します。その後 設定を完了する場合は (LEAR)を押します。(または方向キー ◀ を2 回押します。)

 ● 太陽、惑星名などが表示されている画面 SCOPE MODE 2011/09/19 17:04:41 mm 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 45 (500) 46 (500) 47 (5

複数の天体情報の文字が重なり読みにくくなることがあります。

●ターゲット(目標天体)の火星以外表示されていない画面



### 彗星

ターゲット(目標天体)として指定していない彗星の表示・非表示を設定します。

ON:彗星を表示

(彗星軌道要素データを登録していない場合は表示されません)とント58

- OFF: 彗星を非表示
- ◎工場出荷時設定:ON

# ヒント58 彗星軌道要素データの登録はP57参照

"星図の設定"画面にて方向キー▲ · ▼ で"彗星"を選択し、 (ENTER) (ま たは方向キー (▶))を押します。

- g
ACV685
7

"彗星"画面が表示されます。





方向キー ▲ ・ ▼ でON/OFFを選択し、 ENTER キーを押します。その後 設定を完了する場合は CLEAR を押します。(または方向キー ◀ を2 回押します。)



### ●彗星を非表示



### 人工衛星

ターゲット(目標天体)として指定していない人工衛星の表示・非表示を 設定します。

ON:人工衛星を表示(人工衛星軌道要素データを登録していない

- 場合は表示されません)ヒント59
- OFF: 人工衛星を非表示

◎工場出荷時設定: ON

ヒント59 人工衛星軌道要素データの登録はP59参照

"星図の設定"画面にて方向キー (▲)・▼ で"人工衛星"を選択し、 EMTER (または方向キー (►))を押します。

SCC	DPE MODE	2011	/06/30 15:44:16 🛄
40		1937 O	M882
· X72	ンメニュー		
- 星図	0 星図の設定		「「「「「「「「「「」」」」
架台	0 表示形式	高度方位	
シス	1 星座	星座線+名前	- 4
言語	恒星の表示	6等級以上	北極星
	目星名	2等級以上	As a set
5 孤贵	引 バイエル記号	3等級以上	2. A
Star	6 太陽・月・惑星	ON	
	1 彗星	ON	
朱百	山 人工衛星	ON	States and states
JL .	赤胫赤海緑	ON	AT 1 8 -
• 4 -6	1 視野円	ON	r
. Re.	カタロク大体		β
α		火星,134, 1945	· S-DA
*> 赤	圣 5h39m00s 方位305°1 幸+46°00.6' 高度+35°0	7.6' TARGET 赤経 5h39m00s 6.9' 赤線+46'00.6'	Align:4 ALTAZ x500

• "人工衛星"画面が表示されます。



方向キー ▲・▼ でON/OFFを選択し、 ENTER キーを押します。その後 設定を完了する場合は (OLEAR)を押します。(または方向キー ◀ を2回 押します。)



### ●人工衛星を非表示



### 赤経赤緯線

1

赤経赤緯線の表示・非表示を設定します。

ON:赤経赤緯線を表示

OFF: 赤経赤緯線を非表示

◎工場出荷時設定: ON

"星図の設定"画面にてた ENTER (または方向キー (	i向キー (▲)·(▼) で ▶)を押します。	"赤経赤緯線"を選択し、
	(Pata )	2011/06/30 15:44:57 🛄
- 星図の設定	高度专品	

三部	7 <u>星座</u> / 恒星の表示	星座線+名前 6等級以上	2000年 北極星
XE XE	「恒星名	2等級以上	
孤張	引 バイエル記号	3等級以上	2 to and a
Star	5 太陽・月・惑星	ON	
LAN(a	日彗星	ON	
《 米台	1 人工衛星	ON	
-71	赤経赤緯線	ON	AP X-
K	視野円	ON	
- <del>D</del> -1.	カタログ天体	►	r
α. •f	3 パテル 	火皇 <sub>州5</sub>	× / Sign
な素	葊 5h39m00s 方位305°20. 〒+46°00.6′ 高度+35°00.	2' TARGET 赤経 5h39m00 1' 赤緯+46°00.6	s Align:4 ALTAZ

"赤経赤緯"画面が表示されます。





方向キー ▲ · ▼ でON/OFFを選択し、 ENTER キーを押します。その後 設定を完了する場合は (□LEAR)を押します。(または方向キー ◀ を2回 押します。)



●赤経赤緯を非表示



### 視野円

視野円(望遠鏡の視野を想定した円 ヒント60)の表示・非表示を設定します。

ON:視野円を表示

OFF: 視野円を非表示

◎工場出荷時設定: ON

### ヒント60 視野円の立体角(大きさ)は指定できません。

| "星図の設定"画面にて方向キー ▲ ・ ▼ で"視野円"を選択し、 ENTER | (または方向キー 下))を押します。



🌒 "視野円"画面が表示されます。

L

### SCOPE MODE 2011/06/30 15:45:56 2 メインメニュー 星図6 星図の設定 架台の表示 税野円 シスラ 星座 ON 高語/ 恒星 OFF メモリ 恒星 栄白0 シスラ ミニー メモリ 拡張 • 北極星 バイエル記号 太陽・月・惑星 彗星 3等級以上 StarB ON LANIC ON 架台情 人工衛星 赤経赤緯線 ON ON 視野円 ON カタログ天体 Align:4 ALI 赤释 5h39m00s 赤續+46°00.6

 Image: Construction of the co

方向キー ▲・ ▼ でON/OFFを選択し、 <sup>ENTER</sup> キーを押します。その後設 定を完了する場合は (CLEAR) を押します。(または方向キー ◀ を2回押 します。)

### ●視野円を表示





### カタログ天体

カタログ天体(メシエ(M)、NGC、IC)の画面表示方法を指定します。 カタログ天体の種類ごとに表示状態を設定できます。

¶ "星図の設定"画面にて方向キー ▲・▼ で"カタログ天体"を選択し、 <sup>ENTER</sup> (または方向キー ▶ )を押します。

SCO	PE MODE	CHART MODE	2011/06/30 15:46:15
48 メイン	х=		
- 星図0	星図の設定		
架台0	表示形式	高度方位	
シスラ	星座	星座線+名前	
言語/	恒星の表示	6等級以上	北極星
間 メモリ	恒星名	2等級以上	
拡張根	バイエル記号	3等級以上	Den A
StarB	太陽・月・惑星	ON	
LAN(Z	彗星	ON	
《 架台情	人工衛星	ON	
	赤経赤緯線	ON	ペヤーマフェ
K	視野円	ON	
- 4-1-5	カタログ天体		r
α	B Fu	大皇 <sub>145</sub> H34	× / 9-3-37
木 索辞	5h39m00s 方位305°2 +46°00 6' 高度+34°4	5.2' TARGET 赤経 5h39 7.1' 赤綬+46"0	m00s Align:4 ALTAZ





### マーク・番号・名称

マーク、天体番号、名称の表示方法を設定します。 方向キー ▲・▼ またはズームキー ▲・▼ で設定を選択し、 キーを押します。設定を完了する場合は CLEAR キーを押します。(または 方向キー ◀ を3回を押します。)

マ ー ク の み : 天体種別マークのみ表示

- マーク+番号: 天体種別マークとカタログ天体No.を表示
- マーク+名称: 天体種別マークを表示。また天体に名称登録がある 場合はその名称を表示
- マーク+番号+名称
  - :天体種別マークとカタログ天体No.を表示。

また天体に名称登録がある場合はその名称を表示

NGC/IC天体は非常に数が多いです。このため表示状態によってはカ タログナンバーや記号が重なり読みにくくなることがあります。



●マーク+番号の星空の画面



### ●マーク+名称の星空の画面

SCOPE MODE CHARLENDER	2011/07/31 1	9:39:00	E
		/	
Mine of the second second			
	stand in		
the tol REP (ATSUE MORRELL)			
オス力星雲、(白鳥早20° M17)	$\sim N$		1
* 同士尼/继续良			×
· 年3年度12010			
大司戊天年少星団(M6)	NUM		
850 B 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	the star		
	in the second		
A TO A MARK AND AND A		- V.	
<pre></pre>		S	W
★ 赤緯_29°58 8' 言単+24°17 7' 未続_29°58	3/S All:	gn:4 ALI	AZ 30

●マーク+番号+名称の星空の画面



### カタログ

カタログ天体の表示・非表示を設定します。 表示する(ON)場合は個別の等級設定に進みます。

### ●メシエ(M)・NGC・IC共通

ズーム最小状態(最広角状態)において表示されるカタログ天体(メシエ (M)、NGC、IC)について、表示を等級で制限します。また各カタログ常時表 示、常時非表示も選択できます。とント61

- ON:カーソルで選択しているカタログ天体を表示、各天体の 表示等級も設定できます。
- OFF: カーソルで選択しているカタログ天体を常時表示しません

◎工場出荷時設定: ON(M)、OFF(NGC)、OFF(IC)

ヒント61 OFFC

OFFの場合であってもターゲット(目標天体)として指定 されている天体は表示されます。



赤経 5h39m00s 方位305°27.8° TARGET 赤経 5h39m00s Align:4 ALTA. ▶ 赤緒 448°00.6° 高度+34°40.4′ ---- 赤緒 +48°00.6′ x500

### "カタログ天体"画面が表示されます。



万向キー ▲・♥ でON/OFFを選択し、EMTER キーを押します。その後 設定を完了する場合は CLEAR を押します。(または方向キー ◀ を3回 押します。)

# NGC/IC天体は非常に数が多いです。このため表示状態によってはカタ ログナンバーや記号が重なり読みにくくなることがあります。

### 種類

天体の種類に応じて表示する等級を個別に指定できます。とント62

### ●系外銀河·惑星状星雲

常にON:指定天体をすべて表示

- 12等級以上: 12等級以上の指定天体を表示
- 11等級以上: 11等級以上の指定天体を表示
- 10等級以上: 10等級以上の指定天体を表示
- 9 等級以上 : 9 等級以上の指定天体を表示
- 8 等級以上 : 8 等級以上の指定天体を表示
- 常 にOFF : 指定天体をすべて非表示

### ●散光星雲·散開星団·球状星団

常にON:指定	天体をすべて表示
8 等級以上:	8 等級以上の指定天体を表示
7 等級以上:	7 等級以上の指定天体を表示
6 等級以上:	6 等級以上の指定天体を表示
5 等級以上:	5 等級以上の指定天体を表示
4 等級以上:	4等級以上の指定天体を表示

常 に OFF : 指定天体をすべて非表示

### ◎工場出荷時設定:

系 外 銀 河	:	10等級以上
散 光 星 雲	:	6 等級以上
惑星状星雲	:	10等級以上
散開星団	:	6 等級以上
球状星団	:	6 等級以上

ズームアップにより徐々に名称表示されるカタログ天体が ヒント62 増加します。ズーム途中における等級は均等割付になっており、 個別指定はできません。(常にON・常にOFFの場合を除く)

"カタログ天体"画面にて方向キー ▲・▼ で設定する天体の種類を 選択し、ENTEP (または方向キー ▶)を押します。個別天体の等級設 定画面になりますので方向キー ▼・▲ で表示する等級を個別に設 定し、ENTEP キーを押します。その後設定を完了する場合は (LEAR)を押し ます。(または方向キー ◆ 83回押します)



NGC/IC天体は非常に数が多いです。このため表示状態によっては カタログナンバーや記号が重なり読みにくくなることがあります。

### ●系外銀河8等級以上の星空の画面



### ●系外銀河12等級以上の星空の画面



### ●系外銀河を常にOFFの星空の画面



### 架台の設定



SCOPE MODE 2011/06/30 15:51:02 0 メインメニュー の架台の設定 架台0 方向 方向キ オー 高度方位 PEC体 赤経赤緯 パッ 米平 (赤道儀の機械座標) 導入 シス? XE! 拡張 を 種軸 望遠鏡照明調整 モーター消費電力 15 LANG 架台情 架台の種類 子午線越え アライメン 極軸を合わせていない赤道儀 21. イメントデータ削除 • <del>K</del> 王休の追尾 ★ 赤経 +46°00.6 / 高度+33°59.7′ --- 赤緒 +46°00.6′ 、 - 5-297 Align:4 ALTA x50 (7) (8) (9) ALIGN ▲ En (**4**) (**5**) (**6**) (**5**) (**6**) (**5**) (**6**) (**5**) (**6**) (**5**) (**6**) (**5**) (**6**) (**5**) (**7**) ◀ ► ▼ ENTER 方向キー (▲)·(▼) で設定する項目を選択し、(ENTER)キーを押します。 その後設定を完了する場合は(CLEAR)を押します。 (または方向キー(◀)を2回押します。) 高度方位 架台が高度方位方向に動作します。 経緯台のように上下左右の動きとなります。 方向キーモード(画面右下)が次のようになっている gn:4 ALTAZ ことをご確認ください(図はSCOPE MODEの例です)。 x800 :高度プラス(+)方向(高度最大+90°) ▼ :高度マイナス(-)方向(高度最低-90°) (▶):方位角プラス(+)方向(北→東→南→西→・・・) 【◀ 〕:方位角マイナス(−)方向(北→西→南→東→・・・)

"方向キー"画面が表示されます。



### 赤経赤緯

架台が天体における赤経赤緯方向に動作します。ビント63 方向キーモード(画面右下)が次のようになっている ことをご確認ください(図は**SCOPE MODE**の例です)。

gn:4 RADEC

x800



とント63
アライメントが完了している場合は極軸の向きに関わらず実際の天体における赤経赤緯方向に動作します。
※赤道儀の極軸を合わせずにアライメントを完了した場合、
赤経赤緯両方のモーターを同時に動かし、アライメント情報をもとに計算された赤経赤緯方向へ動きます。

X-Y

赤道儀の機械的座標における赤経赤緯方向に動作します。ヒント64

方向キーモード(画面右下)が次のようになっているこ

とをご確認ください。

※オートガイダーを使用する場合は"X-Y"を推奨します。





スコープ モード **SCOPE MODE**  チャート モード CHART MODEではRADEC表記となります。

▲:赤緯プラス(+)方向(赤緯最大+90°)

(▼):赤緯マイナス(-)方向(赤緯最低-90°)

▲:赤経プラス(+)方向

▶ :赤経マイナス(-)方向

ヒント64

極軸やアライメント有無に関わらず赤道儀自身の赤経 方向、赤緯方向に沿って動作します。 ※極軸が正確に合っている場合、天体の赤経赤緯方向への動き になります。

### オートガイダー

天体望遠鏡にガイドスコープ、CCDカメラ、外部オートガイドアダプター とント65 などを接続して、オートガイドをすることができます。ここでは外部 オートガイドアダプターから信号を受けた際の補正速度を設定します。

**ヒント65** STAR BOOK TEN拡張ユニット(別売)の他、SBIG社製 STシリーズなどが接続可能です。

◎工場出荷時設定: RA:10 DEC:10



### 補正速度設定手順



### 補正の目安

RA(赤経)・DEC(赤緯)とも0~99の数値を1ずつ設定できます。 (0.1倍速単位)。

細かく補正したい場合は数値を小さく、大きく補正したい場合は数値 を大きく設定してください。

- 0 : 0倍速(対恒星時:補正なし)
- 1 : ±0.1倍速(対恒星時)
- 2 :±0.2倍速(対恒星時)
- 3 : ±0.3倍速(対恒星時)
- ~
- 99: ±9.9倍速(対恒星時)

機材状況により最適値は変わりますので、お手持ち機材(実際に使用される時の仕様)にて補正動作が一番滑らかになるように設定します。



# (5) 床用鍋



SCOPE MODE WE	2011/06/30 15:52:06
48 X ~ X ~	AREA O MAR
星図の 架台の設定 2000 末向 オートガイダー	
システオー 0K 言語/ PEC株 キャンセル R <sup>4</sup> メモリバッ	A 05 DEC 15
拡張机 導入速度変更 StarB 極軸望遠鏡照明調整	5
2 架台作 架台の種類 3 2 字行線越え 3 4 7 字行線越え	3 極軸を合わせていない赤道儀
ローク サイン 天体の追尾 $\alpha$ $\beta_{-\beta}$	* ON 0N 24-21
************************************	TARGET 赤經 5h39m00s Align:4 ALTAZ

# オートガイド信号入力時に方向キーが反応

オートガイド端子(A.G.)または拡張ユニット(別売)に信号が入力さ れると動作方向に対応した方向キー(▲)・(▼)・(◀)・(▶)のバッ クライトが明るくなります。



RA-方向(RAの値が小さくなるほう)に動作している例

# オートガイドにおける推奨設定

外部オートガイダー(市販品)またはアドバンスユニット(別売)により オートガイドを行う場合、一部機能を"OFF"または"0"に設定するこ とを推奨します。これらの機能が追尾精度に影響することがあります。

●大気差補正: OFF (P113参照)

●PEC制御:PEC記録なし[停止](P95参照)

●バックラッシュ補正:RA:0、DEC:0(P99参照)

また次のモードを推奨します。

●架台の設定:方向キー X-Y[赤道儀の機械座標](P92参照) ●架台の種類:極軸を合わせた赤道儀(P103参照)

### PEC制御

### ◎PEC制御とは

赤道儀(追尾モーター)は天体を正確に追尾する装置ですが、星などを強 拡大して見ると、一定周期(SXD2赤道儀の場合は480秒)で、星が視野を 非常にゆっくりと追尾方向に往復運動しているのが見られることがありま す。これはモーターの回転トルクをギアで伝達しているために起こるもの で、機械的に避けることができません。

この現象を電気的に修正させるのがPEC(Periodic Error Correction) 制御です。

実際の星を見ながら更にズレを修正し、コントローラーにPECを記録す ることにより、より正確に追尾を行うことができるようになります。 とント67

# ヒント67:補正の内容によって追尾精度が変わります。

補正の内容によって追尾精度が変わります。このため記録の内容によっては追尾精度が悪化することもありますのでご注意ください。

### PEC記録手順

架台の種類を"極軸を合わせた赤道儀"とし(P103参照)、極軸を正確に合わせます。(P63~参照)

2 Or12.5mmReticleなど十字 線入り接眼レンズを用いて、 追尾記録に用いるガイド星を 十字線中央に導入してくださ い。倍率は200倍程度以上の 高倍率とします。望遠鏡側の 操作につきましてはP24~を 参照してください。



3 "架台の設定"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"PEC制御"を選択し [MTER (または方向キー → )を押します。

星図() 米台の₀変定	
方向十一	高度方位
シートカイター	RA 10, DEC 10
PEC市门街	PECREARIAL
大で バックラッシュ補正	RA 0, DEC 0
14.127] 導入速度変更	5
starb 植軸呈遠鏡照明調整	15
LANIC モーター消費電力	3
米首門架台の種類	極軸を合わせていない赤道儀
子午線越え	
た アライメントデータ削除	î ►
天体の追尾	ON
BB	庫マイ・100 M34 / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ のス・1
リケル	
· 李铨 5h39m00s 召伍305 49.6	TARGET 亦給 5h39m00s Align:4 ALI

"PEC制御"画面が表示されます。
SCOPE MODE Community

Δ



5 方向キー▲・▼で"記録開始"を選択し (ENTER) を押します。

"ピッ・ピッ・ピッ・ポーン"の音とともにPEC記録が始まります。この間 に修正した操作(動作)がそのまま記録されますので、作業はできる限 り慎重に行ってください。





# 記録は一周期分で8分(480秒)です。

記録が始まると画面拡大率に関わらず修正速度が0.5倍速に固定され ます。ズームキー ▲・▼ により画面の拡大縮小はできますが、PEC 記録中は修正速度0.5倍速を変更できませんのでご注意ください。また 方向キーモードがX-Yとなります(PEC記録中は変更できません)。



しばらくガイド星を観察していると追尾方向(赤経方向)にズレが生じ始めます。このズレを感知した時点でズレた分だけ方向キー

・(▶) で修正します。 実際の星で修正するため、作 業中にSTAR BOOK TEN画面 中央にガイド星が表示されて いないことがあります。









●PEC記録 カウントダウンマーク(赤色)

480秒後にPEC 0となった時点で"ポーン"という音とともに一周期分の記録が終わります。ただし記録状態は終わらず、そのまま継続します。 更に記録を続ける場合はそのまま修正を続行してください。

### 修正作業(PEC記録)を中止する

記録を中止する場合は10キーまたは(CLEAR)、(ENTER)を押します。 "PEC記録を途中で中止しますか"と表示されますので、方向キー

▼ )により"OK"を選択し、 (ENTER) を押します。







**▲**१८

2 PEC記録を中止すると記録中の周期 分における記録のみクリアされます。

1周期分以上のPECを記録した場合 で記録を中止すると自動的にPECが再 生されます。またPEC〇〇(〇には数 字が入ります)と表示されPEC再生 を示す480秒周期の数字(緑色)がカ ウントダウンされます。1周期に満 たないPEC記録の場合は記録が保 持されませんのでPEC再生状態と はなりません。







### PEC記録を再開する

PEC記録を中止した後でも更に追加	IDてPEC	こを記録す	ることがで	できます。
	$\cap \subset$			

1	"架台の設定"画面にて方向キー	▲ )	$ \cdot $	(▼)	で"PEC制御"	を選択し、	ENTER	)
I	(または方向キー ▶ )を押しま	ः व	•	$\smile$				

SCOPE MODE	2011/06/30 16:02:43
	estad 6
メインメニュー	
・星図の架台の設定	
架台0 方向キー	X-Y (赤道儀の機械座標)
シスラ オートガイダー	RA 10, DEC 10
PEC制御	停止(記録/再生可)
メモリバックラッシュ補正	RA 0, DEC 0
孤張 導入速度変更	5
StarB 極軸望遠鏡照明調整	15
LANIC モーター消費電力	3
米台町架台の種類	極軸を合わせていない赤道儀
子午線越え	
アライメントデータ削除	
4月21日 天体の追尾	ON
13 TUT/1	ラン・ 一 一 一 一 一 一 ジェダル
→ 赤松 5b39m00c 方位306°31 8	TARGET 赤核 5b39m00s Align 4 X-Y
▲ 型碼	14(001 小油 01300005 411811.4 人-1

,"PEC制御"画面が表示されます。



### PECを再生する

記録したPECを再生することができます。

¶ "架台の設定"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"PEC制御"を選択し、 [ENTER (または方向キー (▶))を押します。





### PEC再生を中止する

1	「"架台の設定"画面にて方向キー ▲・ ▼ で"PEC制御"を選択し、 ENT	TER
I	(または方向キー))を押します。	

SCOPE MODE	2011/00/30 10:03:52 1
	Parad 10
メインメニュー	
星図の架台の設定	
架台0 方向キー	X-Y (赤道儀の機械座標)
シスラ オートガイダー	RA 10, DEC 10
言語/ PEC制御	PEC再生中
メモリバックラッシュ補正	RA 0, DEC 0
拡張机 導入速度変更	5
StarB 極軸望遠鏡照明調整	15
LANIC モーター消費電力	3
米台町 架台の種類	極軸を合わせていない赤道儀
子午線越え	
アライメントデータ削除	•
その天体の追尾	ON
13. アルデル	ラン 134 シューションエタル
	105
赤線+46°00 6' 高度+31°53 2'	TARGET 赤緯 5039m005 Allgn:4 X-1

┫ "PEC制御"画面が表示されます。

【 方向キー ▲・▼ で"再生中止"を選択し、(ENTER)を押します。



### PEC記録を消去する

記録したPECは電源が切れるまで保持されますが、使用中に消去(リセット) することもできます。

**1** "架台の設定"画面にて方向キー (▲)・ (▼) で"PEC制御"を選択し、ENTER (または方向キー (▶))を押します。

SCOPE MODE	2011/06/30 16:03:52
	Paraz 10
メインメニュー	
星図の架台の設定	
梁台0 方向主一	X-Y (赤道儀の機械広標)
シスラオートガイダー	RA 10 DEC 10
高語/ PEC制御	PEC再生中
メモリバックラッシュ補正	RA 0, DEC 0
拡張机 導入速度変更	5
StarB 極軸望遠鏡照明調整	15
LANIC モーター消費電力	3
米首に架台の種類	極軸を合わせていない赤道儀
子午線越え	
アライメントデータ削除	
4月10 大体の追尾	ON
R R TRA TUTIE	ラン <sup>M34</sup> ノーシェタル
e 赤释 5h39m00s 方位306°36.6′	TARGET 赤経 5h39m00s Align:4 X-
□ 赤瓏+46°00.6′高度+31°53.2′	赤罐+46"00.6' x5

奇 "PEC制御"画面が表示されます。

▲ 方向キー ▲・▼ で"リセット"を選択し、 ENTER を押します。





※記録したPEC記録がすべて消去されますのでご注意ください。

### バックラッシュ補正

◎バックラッシュとは

ヒント68

SXD2赤道儀の方向キー▲ | 「▼ ) ・ ● において、回転方向を変更(反転)した際にギアが一瞬離れることにより望遠鏡の動作が正まる現象です。 天体自動追尾中にはギアが密着しているために赤経追尾方向では起こりませんが、方向キー操作で赤経・赤緯を強制的に動かす際に発生する場合があります。

バックラッシュ補正機能は、このような作業中にギアが離れてしまう時間をより短くするように補正する機能です。この機能を設定することで動作をより スムーズにし快適にご使用いただけるようになります。 ヒント68

### ◎注意

■ オートガイダーとの併用は推奨しておりません。同時に使用するとお互いの動作が干渉し追尾精度が落ちることがあります。

### バックラッシュ補正手順

Or12.5mm Reticleなど十字線入りの接眼レンズを用いてバックラッシュ の状態をチェックします。

◎工場出荷時設定: RA: 0 DEC: 0

バックラッシュの状態をチェックするには、1等星などの明るい恒星を利 用するとわかりやすいです。

P63~に従い極軸を正確に北向きに合わせてください。



スコーフ 方向キーモードをX-Y、画面をSCOPE MODEとした上、ズームキー ່ 🔺 ]-▼ にて動作速度(修正速度)の目安として1.2~4.0倍速程度とします。



赤経方向のバックラッシュを確認します。バックラッシュのチェック に使用する恒星を視野の中央に導入後、方向キー( ◀ )を押して、恒星 が視野の中で移動する様子を確認します。

構造上ギアのかみ合わせには遊びがあります。

すぐに移動しない場合でも移動を始めるまでしばらく押し続けてくだ さい。





▲ 方向キー ▶ を押して、恒星が視野の中で動く様子を確認します。

※ キーを押した後に反対方向に動くまでの時間が長い場合はバック ラッシュ補正値が0であるか、または値が小さすぎる可能性があります。

逆に、すぐに大きく動く場合はバックラッシュ補正値が大きすぎる可 能性があります。そこでRA(赤経)の数値を補正します。

同様にしてDEC(赤緯)の数値も補正します。方向キー ▲ ▼ にて同様 の確認を行います。



99

### 補正値の入力

補正値(0~99の整数)で入力します。

千線越え

天体の追尾

イメントデータ削除

5h39m00s 方位306°44.0° TARGET 赤释 5h39m00 +46°00.6′高度+31°36.1′ --- 赤緯+4<u>6°00.6</u>

【 "架台の設定"画面にて方向キー 択し、 (витва) (または方向キー (	▲・▼で"バックラッシュ補正"を選 ▶)を押します。
	2011/06/30 15:05:14 ・ パー・ ・ パー・ ・ パー・ ・ パー・ ・ パー・ ・ パー・ ・ パー・
<b>架台</b> の	X-Y(赤道儀の機械座標) RA 10, DEC 10 停止(記録/再生可) RA 0, DEC 0
Starb         特人速度変更           Starb         检軸望遠鏡照明調整           LANIC         モーター消費電力           架台市         架台の種類           子午線越え         アライメントデータ削除           ジム         天体の追尾	5 15 3 極軸を合わせていない赤道儀 ▶ ON
	5ン H134 ンエダル M15 TARGET 赤経 5h39m00s Align 4 X-Y" 赤緒+46"00.6 x500
2 "バックラッシュ補正"画面が 方向キー ◀・ ▶ でRAま 向キー ▲・ ▼ で値を変更し	表示されます。 またはDECの数値にカーソルを置き、方 ンます。E2-K69 設定を完了する場合は
<b>ENTER</b> を2回押します。	
SCOPE MODE           メインスニュー           星図の第台の設定           架台の           方向「ハックラッシュ補正           システオーのK           高品           アビ品           キャンセル RA           茶日           が3時           StarB           桂輔望遠鏡照明調整           LANIC           マーター消費電力	2011/05/30 16:05:36 0 DEC : 0 5 15 3 15 3

### 補正値設定のコツ

最初に基準を設定し(ここでは10とします)、次はその倍の数値20で お試しください。補正が足りないと思われる場合は更にその倍の数値 40、倍々の80にしてみてください。

例:まず20で設定して補正状態を確認。

補正が足りないと感じられたため、40にしてみたとします。 その結果、今度は補正が強すぎると感じられた場合は20と40の間の 30にしてみます。まだ補正が強ければ20と30の間の25、弱ければ40 と30の間の35という具合に、下の数値の2倍もしくはおおよそ1/2、 1/4という具合で補正値を設定すると最も効率的です。

### ●RAを10、DECを25とした例の画面

。メインメニュー <u> 星図(</u> 架台の設定 <u> 架台()</u> ホーカーバックニッシュン 地正
シスオー OK 言語 PEC端 キャンセル RA 10 DEC 25
間 孤部構 導入速度変更 5 StarB 極種望遠鏡照明調整 15 LAN(こ モーター消費電力 3 22544 知らの消費電力 3
2 米日 米日 米日 米日 米日 米日 米日 米日 米日 米日
#34 #34 #34 #34 #34 #34 #34 #34

# ※オートガイダーを使用する場合はバックラッシュ補正値を RA 0. DEC 0 としてください。



シェッル

X-Y

Align:4

ヒント69 ズームキー(▲)・(▼)を用いると10ずつ数値が変化します。 (最大値・最小値およびその付近を除く)

### 導入速度変更

自動導入の最大速度を5段階で変更できます。速度を遅くすると自動導入 時の消費電力や動作音が軽減します。好みに合わせて設定してください。

### ◎工場出荷時設定:5

"架台(	の設定"画面	にて方向キ-	- (▲)・(▼) で	"導入速度変更	["を選択し、
ENTER	(または方向	)+- (> )	を押します。		
SCI XT			ettad i J	2011/06/30	16:06:56
生産ション語も現	0 方向キー オートガイ PEC制御 バックラッ	ダー シュ補正	X-Y (赤道儀の RA 10, DEC 10 停止(記録/再生 RA 0, DEC 0	機械座標) E可)	
161 JAAJD Star LAN( 架台	B 極軸 型速調 モーター 消 子午線 越え アライメン	史 照明調整 資電力	5 15 3 極軸を合わせて	いない赤道儀	
JL K	月 日、 日、 日、 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日	3、アルブ生	ON	M34	
*******	≩ 5h39m00s 方 脣+46°00.6′ 高	位306°49.7' 度+31°23.0'	TARGET 赤経 5 赤緯+4	h39m00s Al 6°00.6′	ign:4 X-Y x500
2 <sup>"導入,</sup> <sub>方向キ</sub>	<sup>★</sup> ま 度 変 更 <sup>™</sup> 迪 ・ ー ▲ ・ ▼	面が表示され )で"1~5"を	1ます。 選択し、 ENTER	を押します。	
SC0 8 メイ 星図	DPE MO ソメニュー 0 架台の設定		estad ( )	2011/06/30	16:07:20
架合 シス 言 メ 記 部 氏 部 し AN(	C 方向 方	<u>速</u> 速		or∰)	
ッ、 <sup>架合</sup> ジム <sub>、た</sub>	<ol> <li>*#台の種類     子午線越え     アライメン     アライメン     天体の追属     </li> </ol>	トデータ削除	極軸を合わせて ▶ N	いない赤道儀	
*» 赤	·β 译 5h39m00s 方 译+46°00.6' 高	位306°51_4 度+31°19.2	50 1415 TARGET 赤経 5 赤緯+4	h39m00s Al 6°00.6	ign:4 X-Y x500
		7     8       OBJECT     ETC       4     5       NIGCIC     SOLAR	9 ALIGN STAR R/X/A		
	$\bigcirc$			Ð	
5	:最大約100	0倍速(対恒星	2時)		
4	最大約700	倍速(対恒星)	時)		
3	最大約400	倍速(対恒星)	時)		
2	-	倍速(対恒星) 倍速(対恒星)	<del>時</del> ) 時)		

※ 速度はおおよその目安です。鏡筒など搭載物の状況や電源の状態 によって変わります。

# 極軸望遠鏡照明調整

極軸望遠鏡における明視野照明の明るさを21段階(0:消灯~20:最大光輝) で指定できます。極軸望遠鏡をのぞきながら方向キー▲・▼ とント70 に てレチクルと北極星が同時に見える明るさとなるように調整してください。

◎工場出荷時設定:15

"架台の設定"画面にて方向キー ▲・ ▼ で"極軸望遠鏡照明調整"を 選択し、 (■TER) (または方向キー 下))を押します。



### "極軸望遠鏡照明調整"画面が表示されます。

▲ 方向キー ▲・ ▼ で値を変更し、 [ENTER)を2回押します。







ヒント70 ズームキー▲・▼を用いると10ずつ数値が変化します。 (最大値・最小値およびその付近を除く)

### モーター消費電力

赤道儀動作の様子を見ながらおおよそのモーター消費電力を設定するこ とができます。初期値の3とすることで約10kg程度の搭載重量まで問題 なく動作させることができます。ご使用状況に合わせて設定してくださ い。ただし、設定を小さくしすぎると脱調(追尾動作または導入動作の乱 れ)を起こすことがありますので設定には十分ご注意ください。

### ◎工場出荷時設定:3

"架台の 択し、〔■	設定"画面にて方向キ- (または方向キー (	- ▲・ ▼ で"モーター消費電力"を選 ▶)を押します。
SCO XTX	PE MODE ・ び グ ヴ ル ス 、	$\begin{array}{c} 2011/06/30  16:10:01 \\ \hline \\ \beta \\ \alpha \end{array}$
<u>星図0</u> 架台0 シスラ 高語/ メモ! 拡張構 StarB	※台の設定 方向キー オートガイダー PEC制御 パックラッシュ補正 導入速度変更 検軸留違該照明調整	X-Y (赤道儀の機械座標) RA 10, DEC 10 停止(記録/再生可) RA 0, DEC 0 5 15
LAN(C 架台fi g	モーター消費電力 架台の種類 子午線越え アライメントデータ削除 天体の追尾	3 極軸を合わせていない赤道儀 ▶ ON
*> 赤籍	5h39m00s 方位307*44.0' 46°38.1' 高度+31°06.3'	● TARGET 赤経 5h39m00s Align:4 X-Y 赤崎+46*00.6' x1000

- 2 "モーター消費電力"画面が表示されます。
  - 方向キー (▲)・(▼)で"1~4"を選択し、(ENTER)を押します。





- 4:12V 約0.6 ~2.2A(7.2~26W) 3:12V 約0.55~2.0A(6.6~24W)
- 2:12V 約0.5~1.8A(6.0~22W)
- 1:12V 約0.45~1.7A(5.4~20W)

※搭載機材重量約10kgにおける目安です。搭載重量、搭載状態、気温な どにより変わります。

※最大搭載重量約15kgにおける消費電力目安

### 12V約0.6~2.5A(7.5~30W)

# ◎ 設定上の注意

赤道儀の搭載重量、および状態によってはモーターのトルク不足によ り正常な自動導入や追尾ができなくなることがあります。これはモー ターが正常に動かずに一時的に脱調を起すことに起因します。SXD2 赤道儀ではモーターの消費電力を簡易設定できますので、消費電力を 抑えつつ脱調しにくい範囲を考慮してご使用いただけます。

# ② 設定の目安

搭載重量約10kg(ウェイトを含まず)までで十分重量バランスが保 たれた状態であれば初期値3で安定動作します。それ以上の搭載重 量にて4、また搭載重量が小さくできるだけ消費電力を抑えたいと きは1、2に設定してご使用ください。

ただし、搭載重量の制限内であっても搭載機材の形状、大きさによって 状況が変わります。このため実際に使用される状態を設定のうえ、 事前に十分テストしてからご使用ください。

また消費電力を抑えると脱調しやすくなります。脱調が起こる場合や 大切な観測でより万全を期す場合は、設定値を大きめにしてご使用く ださい。

### 架台の種類

"極軸を合わせた赤道儀"、"極軸を合わせていない赤道儀"いずれかを設 定できます。

## ◎工場出荷時設定: 極軸を合わせていない赤道儀

| "架台の設定"画面にて方向キー ▲・▼で"架台の種類"を選択し、EMTER (または方向キー (▶))を押します。

メインメニュー	
星図の架台の設定	
架台0 方向キー	X-Y (赤道儀の機械座標)
シスラ オートガイダー	RA 10, DEC 10
言語/ PEC制御	停止(記録/再生可)
メモニバックラッシュ補正	RA 0, DEC 0
孤張 導入速度変更	5
Starb 極軸望遠鏡照明調整	15
LANIC モーター消費電力	3
米市市架台の種類	極軸を合わせていない赤道儀
子午線越え	
アライメントテータ削除	
天体の追尾	ON

🥊 "架台の種類"画面が表示されます。

方向キー (▲)・(▼)で設定する項目を選択し(ENTER)を押します。





### 極軸を合わせていない赤道儀

- ◎ 赤道儀の極軸を正確に合わせていなくても複数アライメントにより自動導入できる精度、および追尾精度が得られます(とントフ1)。
- ◎ 極軸を合わせる手間が省けるため、手軽に自動導入をお楽しみいただく場合に便利です。
- △ 極軸が合っていないことが前提であるため、恒星追尾時は赤経方向と同時に赤緯方向にも補正動作しながら追尾します。このため 長時間露出を必要とする写真撮影には適していません。

### 極軸を合わせた赤道儀

- ◎ 赤道儀の極軸を正確に合わせたことを前提に、少ないアライメントでも高い自動導入精度が得られます。さらにアライメント数を 増やすことで自動導入精度がより高くなります(とント71)。
- ◎ アライメント情報がある場合でも追尾動作時は赤経方向のみ動作 となります(赤緯は動きません)(という2)。このため追尾中にアラ イメント情報の影響を受けず、写真撮影などより追尾精度にこだ わりたい場合に便利です。写真撮影の時はこちらのモードを推奨 いたします。
- △ 赤緯にて補正動作しないため(と)??? )、追尾精度は極軸設置精度 に依存します。実際の極軸設置精度が悪い場合は、その分だけ赤緯 方向にズレが生じることがあります。



初めてSXD2赤道儀をご使用される方がご使用いただいた 場合で、約40倍の視野に目標物をとらえられる精度を想定 しています。ただし、設置状況により精度は変わります。



大気差補正機能が作動している場合は赤経および赤緯の 動作に影響が出ることがあります。

### 子午線越え

SXD2赤道儀において観測している天体が子午線より東側にある場合、通常は鏡筒 重心が極軸より西側にあります(①)。従って恒星時追尾する過程において天体が南 中する際、鏡筒が極軸より低い位置にさしかかります(②)。このため、追尾を続け ると鏡筒または搭載機材が三脚などに干渉する恐れがあります(③)。これを避け るため、天体が南中する際に鏡筒を反転する安全機能を装備しています。

鏡筒反転の際、ピコンという音とともにメッセージが表示されます。

通常はここで反転させますが、天体撮影中に南中となることも考えられ、途中で 鏡筒を反転されると困ることがあります。

そこでSXD2赤道儀では一定の条件範囲内でこの状態を回避する機能を装備して います。反転そのものは避けられませんが、そのタイミングを一定範囲で任意に 設定することができます。





## ①注意

子午線越えにおける鏡筒反転設定は、鏡筒など搭載機機材の三脚への干渉を避けるための安全機能です。設定を誤ると機材同士の干渉によるキズ、故障や 破損の原因になるばかりでなく、ケガの原因になることも考えられます。設定される際は搭載機器の状態に配慮のうえ、十分注意して行なってください。

<ul> <li>②工場出荷時設定:</li> <li>鏡筒反転メッセージ Over 0°Step 2°</li> <li>強制追尾停止 Over 3°</li> <li>自動導入(東側) Over 0°</li> </ul>	2 "子午線越え"画面が表示されます。 方向キー ▲・▼ で設定する項目(鏡筒反転メッセージ/強制停止/ 自動導入(東側))いずれかを選択し、 ENTER (または方向キー ▶)を 押します。それぞれの設定画面となります。 2011/05/30 16:24:01
<ul> <li>"架台の設定"画面にて方向キー ▲・▼ で"子午線越え"を選択し</li> <li>(または方向キー ▶)を押します。</li> <li>SCOPE MODE 2011/06/30 16:23:39</li> <li>メインメニュー</li> <li>アウカト</li> <li>アウカト</li> <li>アクウオト</li> <li>アクウォト</li> <li>アクラッシュ補正</li> <li>RA 10, DEC 10</li> <li>Finite Participant</li> <li>アクラッシュ補正</li> <li>RA 0, DEC 0</li> <li>第3 法理協議照明調整</li> <li>15</li> <li>LANL</li> <li>エーター消費電力</li> <li>アクライメントデータ削除</li> <li>アクライメントデータ削除</li> <li>アクライメントデータ削除</li> <li>アクライメントデータ削除</li> <li>アクライントデータ削除</li> <li>アクライントデータ削除</li> <li>アクライントデータ削除</li> <li>アオキャ46*38.1* 高度+28*55.6*</li> <li>TARET 赤橋+46*00.6*</li> <li>Allign: 4 X-Y x1000</li> </ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

104

### 鏡筒反転メッセージ

鏡筒反転警告メッセージを表示する位置(タイミング)を設定します。 鏡筒反転メッセージを表示する位置を子午線から西側への角度(Over)で 指定し、更にその後の表示タイミングを1度単位(Step)で指定できます。

Over値設定可能範囲: 0° ~強制追尾停止Over値(°) Step値設定可能範囲: 1° ~90°

### ●子午線越え画面



●"鏡筒反転メッセージ"画面

(子午線を5°越えた場所から2°毎に警告を表示する設定を変更する例)





"鏡筒反転メッセージ"画面にて方向キー ◀ ・ ▶ で入力する項目 までカーソル移動し、方向キー ▲ ・ ▼ (ヒント73)で値を変更します。 設定を完了する場合は (ENTER) を2回押します。

ヒント73 ズームキー ▲・ ▼ を用いると10ずつ数値が変化します。 (最大値・最小値およびその付近を除く)

## 強制追尾停止

追尾状態にて強制的に追尾を停止する位置を子午線から西側への角度で 設定できます。

(下記では10~90°となります)

Over値設定可能範囲: "鏡筒反転メッセージOver値" または"自動導入(東側)Over値" の大きいほう(°)~90°

### ●子午線越え画面



●"強制追尾停止"画面(子午線から20°に設定する例)





"強制追尾停止"画面にて方向キー (▲)・(▼) (ヒント73)で値を変更します。 設定を完了する場合は (ENTER) を2回押します。

### 自動導入(東側)

赤道儀で自動追尾していると、子午線または子午線より西側(設定した位置)で鏡筒が反転します。そこであらかじめ鏡筒反転の位置を子午線より 東に設定したうえ、南中前後の天体を自動導入することで、既に反転後に 相当する状態から追尾を始めることができます。これにより長時間露出 による撮影中などで突然反転する心配がなくなります。

ここでは反転位置を子午線から東側へ何度(°)越えた場所(Over)とするか を設定できます。つまりこの設定を行った上で南中直前の天体を導入す ることで人為的に鏡筒反転させることができ、これ以降天体が西に沈む まで鏡筒反転が起らなくなります。

Over值設定可能範囲: 0°~強制追尾停止Over值(°)



●"自動導入(東側)"の画面(子午線を東側に10°越えた状態で設定する例)



### アライメントデータ削除

### 任意のアライメントデータを削除できます。

アライメントデータ削除を選択すると登録されているアライメントデータ 一覧が表示されます(とント75)。この中で▲マーク(とント76)のあるデータは 他のアライメントデータとの連携が取れていないことを表しますので、こ れらデータは削除したほうがよいと判断されます。その他、アライメントを 取り間違えたなどで取り直したいデータも削除できます。

### 注意

アライメントデータを削除すると元に戻すことはできませんので十分 ご注意ください。





) "アライメントデータ削除"画面が表示されます。

方向キー (▲)・ (▼) で消去するデータ(ヒント76)までカーソルを移動し、 (ENTER)を押します。



**ニント75** アライメントデータがない場合は表示されません。

) "データを削除しますか?"画面となります。方向キー (▲)・ (▼)で"OK" を選択し [ENTER] を押します。

削除しない場合や間違って選択した場合は"キャンセル"を選択し、 [№ 18] (または方向キー (▶))を押してください。



"消去後"の画面が表示されます。







### 天体の追尾

赤道儀の自動追尾状態、停止状態を切替えます。

ファインダー調整などで追尾を停止させたい場合、自動的に追尾が停止し た際の再開の場合に便利です。

### ◎工場出荷時設定: ON(追尾継続)



・ スイン		4016-V H10 R H39
生図U 架台O シスラ 言語/ メモ! 拡張構 StarB LAN(C	方向キー           方向キー           オートガイダー           PEC制御           パックラッシュ補正           導入速度変更           極軸望遠鏡照明調整           モーター消費電力           架台の種類           子午終載え           アライメントデータ削除	赤経赤緯 RA 10, DEC 10 停止(記録/再生可) RA 0, DEC 0 5 15 3 種軸を合わせていない赤道儀 ▶
121 12	天体の追尾	OFF

# 9 "天体の追尾"画面が表示されます。

ム 方向キー▲・▼ でON/OFFを選択し、(ENTER)を押します。



**3** 画面左下にある望遠鏡マークが変わったことをご確認ください。



●追尾継続(ON)



# 注意

●追尾状態(と2ト77)はターゲット(目標天体)によって内容が変わり ます。

●自動導入中に緊急停止した場合、座標をデータ登録した地上物を自動導入した場合、およびターゲット(目標天体)が地平下に沈んだ場合は自動的に追尾停止となります。自動追尾を再開するには追尾継続に設定するか、または別の天体(地上物以外)を自動導入してください。



追尾状態には恒星時(追尾)、太陽時(追尾)、月追尾、 惑星・準惑星追尾、彗星追尾、人工衛星追尾、静止(地上物) があります。ただし彗星追尾、人工衛星追尾、静止(地上物) についてはデータの登録が必要です。
#### システムの設定

時刻設定、観測場所設定など主にコントローラー側の基本設定を行います。 ※初期設定画面で設定できる項目も含まれます。

( <sup>O</sup><sub>MENU</sub>)を押すと"メインメニュー" 画面となりますので、方向キー(▲)・(▼ で"システムの設定"を選択し、(ENTER)(または方向キー ()を押します。 "システムの設定"画面 SCOPE MODE 2011/06/30 20:59:43 CAN メインメニュー a B 星図の設定 Ba システムの設定 日本語 言語/Language メモリの初期化 a 拡張機能 StarBookTENについて Version : 1.10 192.168.0.109 LANIZOUIT

架台情報 國加入防患 ≨10h32m55s 方位288°57.3′ \$+28°36\_9′高度+24°04.9′ TARGET Align:2 R/ 赤释10h32m55s 赤續+28°36 9′

SXD2

#### 時刻の設定

初期設定画面でも設定できます。(P20参照)



設定を完了する場合は、(ENTER)キーを2回(または方向キーで"OK"を選 択し (ENTER)キーを)押します。 ※ データに不正があると注意喚起が表示されます。 SCOPE MODE



10キー(テンキー)により直接に数値を入力することもで ヒント78

きます。(P20参照)

#### 日付表示

日付表示を選んだ場合、日付時刻の表示方法を	年/月/日
次の3つから選択できます。	月/日/年
	日/日/年

方向キー (▲)・ (▼)・ (◀)・ (▶) で"日付表示"を選択し、 (ENTER) (また は方向キー 🕨 )を押します。



- "日付表示"画面が表示されます。 方向キー (▲)・ (▼)で設定項目を選択し、 (ENTER)を押します。
  - 更に方向キー(▲)・(<sub>▼</sub>)で"OK"を選択し、(ENTER)を押します。





#### 観測場所

観測場所を設定します。ここでは観測場所の名称、経度、緯度、タイムゾーン(TZ)を設定します。最大10件まで登録可能ですので、海外で使用される場合などで使い分けて設定ができます。 ※初期設定画面でも設定できます(**P21**参照)

#### ◎ 新規入力の場合

(システムの設定"画面にて方向キー(▲)・(▼)で"観測場所"を選択し、



2 方向キー (▲)· (▼) で登録されていない項目を選択し、 (ENTER) (または方 向キー (▶))を押します。



- 2 "新規作成"画面が表示されます。
- ・ここでは例として札幌(E) 141° 21′、北緯 (N) 43° 04′、タイムゾーン (TZ)+9を入力します。



●入力完了の画面



#### ◎ データを読み込む場合、または修正する場合

¶ "システムの設定"画面にて方向キー (▲)・(▼) で"観測場所"を選択し <sub>ENTER</sub> (または方向キー )を押します。

2 続いて方向キー (▲)・ (▼) で設定したい項目を選択し (■NTER) (または方 向キー (▶))を押します。

3 "OK"を選択するとデータが読み込まれます。
"データの変更"を選択すると"データ変更画面"が表示されます。
方向キー▲・▼・●・で変更する項目までカーソルを移動し、方向キー▲・▼で文字または数値を変更してください。

SCOPE MODE	2011/07/01 11:19:27 III カストル
メインメニュー <u> 星図る システムの設定</u> 架台の  時刻 税利場所	
システ         支払         1         Ishi gaki	夕を読出しますか? 東紙 124'09' 北緯 24'20' 12:+9
9 : 10 : Η Τ	TARGET 赤森 Sh17k32s A11gn:4 RADEC



↓ 設定を完了する場合は、 [ENTER キーを2回押します。 単位°(度)′(分)の形で入力してください。

※各観測地の経度緯度、タイムゾーン(TZ:日本国内では+9となっています)につきましては地図やGPS、カーナビの位置情報などでご確認ください。主な観測地経度緯度[日本国内](**P23**参照)

入力可能文字:(最大20文字まで。全て半角文字) !"#\$%&´()\*+, -./0123456789:; く=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQR STUVWXYZ[¥]^\_`abcdefghijk Imnopqrstuvwxyz{|}~



#### LCD調整

LCD(画面)の明るさを21段階(0:消灯~20:最大光輝)で設定できます。 好みの明るさにしてご使用ください。

◎STAR BOOK TEN起動時設定:15

"システムの設定"画面にて方向キー ▲・▼ で "LCD調整"を選択し、 (ENTER)(または方向キー → )を押します。



## **2** "LCD調整"画面が表示されます。

2011/07/01 11:25:50 🔲 \* ガストル SCOPE MODE McNauc和图09K5 .θ. メインメニュー 星図のシステムの設定 cK キャンセル 10 拡張 新 ま ーの照明 StarB 大気差補正 6 18 StarB LAN(C OFF 音量調整 導入確認メッセージ 17 架台情 ON .P.B. き ルファク B 1 7 1 B 12:47 Align:4 RADEC 「赤経」5h17m32s 方位316°06.8′ 「TARGET」赤経 5h17m32s 赤線+46°00.6′ 高度+74°23.8′ カペラ 赤線+46°00.6′

方向キー (▲)・(▼)で値を変更し、(ENTER)を2回押します。ヒント79



初期設定画面でも設定できます。(P72参照)

※設定の保存はできません。



#### 夜間表示

天体観測は暗い環境で行いますので、観測者の目も暗い環境に順応していま す。このため、観測中にコントローラーの明るい画面を見ると目の刺激とな り、一時的に観測環境周辺がよく見えなくなることがあります。夜間モード をONに設定すると画面全体が赤を基調とした色彩で表示されますので、暗 い環境における目の刺激を軽減します。LCD調整と併せてご使用ください。



| "システムの設定"画面にて方向キー (▲)· (▼) で"夜間表示"を選択し、 | <sub>[ENTER</sub> (または方向キー (▶) )を押します。

架台0	時刻の設定		
シスラ	観測場所	Tokyo E139°42' N35°42' +9	
青詰/	LCD調整	20	
XE	夜間表示	OFF	
孤張	キーの照明	18	
StarB	大気差補正	OFF	
LAN	音量調整	17	
《米台竹	道入確認メッセージ	ON	100

"夜間表示"画面が表示されます。

「方向キー ▲)・ ▼)(またはズームキー (▲)・ ▼)で ON/OFFを選択 し、 ENTER)を押します。

設定を完了する場合は、(oLEAR)(または方向キー (◀)を2回)押します。

初期設定画面でも設定できます。(P73参照)



#### キーの照明

キーのバックライト明るさを21段階(0:消灯~20:最大光輝)を設定でき ます。好みの明るさに設定のうえご使用ください。

◎工場出荷時設定:15

「システムの設定"画面にて 方向キー ▲ · (▼) で"キーの照明"を選択 し、 [ENTER (または方向キー (► ))を押します。



方向キー (▲)・(▼)で値を変更し、 (ENTER) を2回押します。とント80

## )"キーの照明"画面が表示されます。





#### 初期設定画面でも設定できます。(P73参照)

V



#### 大気差補正

天体からの光は宇宙空間を直進しながら大気層に入ります。ところが大 気層に差し込むと光が屈折するため、天体の見かけの高度と正しい高度 との間にズレが生じます。これを大気差といいます。天体の高度が低いと きに顕著に現れ、高度が高くなるにつれて影響が減り、天頂付近でほぼ解 消する性質があります。

SXD2赤道儀では大気差を補正する機能を装備しています。大気差補正を ONにすることで大気差を軽減することができます。とント81

#### ◎工場出荷時設定:OFF



## 導入完了時などを知らせる音声について、音量を21段階(0:消音~20:最 大)で設定できます。好みの音量にあわせてご使用ください。

◎工場出荷時設定: 15

音量調整



(最大値・最小値およびその付近を除く)

◎ 注意

光マル

B

V

5h17m32s 方位314°56.9′ +46°00.6′ 高度+73°56.6′

Pβ

**4** M

O

きし、ファク

TARGET

(3 R/X/A 赤経 5h17m32s 赤線+46°00 6'

(C)

\$▲

NY.

(7) (8) (9) ALIGN

(1) (2) NAMED

CLEAR

(5 NGC/IC) (6 STAR

■ オートガイダーとの併用を推奨しておりません。同時に使用するとお互いの動作が干渉し追尾精度が落ちることがあります。

Align:4 RADE

## 導入確認メッセー<u>ジ</u>

自動導入する前に"導入しますか"のメッセージを表示/非表示に設定で きます。表示設定OFFの場合、自動導入のコマンドを与えた時点で目標天 体(ターゲット)が認識され自動導入を開始します。特にCHART MODE でメニューから天体を選ぶとすぐに自動導入開始となります。

◎工場出荷時設定: ON



#### 言語/Language

STAR BOOK TENをご使用いただく際の言語を五ヶ国語(日本語/英語/ イタリア語/ドイツ語/スペイン語)から指定できます。

◎工場出荷時設定:日本語

¶ "メインメニュー"画面にて方向キー ▲・▼ で"言語/Language"を 選択し、(ENTER) (または方向キー (▶))を押します。



2 "言語/Language"画面が表示されます。 方向キー ▲・▼ またはズームキー ▲・▼ で言語を選択し、 ENTER (または方向キー ◀)を押します。 設定を完了する場合は、(CLEAR (または方向キー ◀)を2回)押します。

初期設定画面でも設定できます。(P23、P75参照)



#### メモリの初期化 ▶

メモリを初期化します。

設定項目が初期化されますのでご注意ください。ヒント83

ヒント83 以下のデータは初期化されません。 ・内蔵時計

"メインメニュー"画面にて方向キー ▲・▼で"メモリの初期化"を 選択し、 (ENTER) (または方向キー ▶)を押します。



・ "メモリの初期化"画面が表示されます。





方向キー ▲・▼ (またはズームキー ▲・▼)で ON/キャンセル を選択し、 ENTER を押します。 設定を完了する場合は、(CLEAR)(または方向キー ◀)を2回)押します。

初期設定画面でも設定できます。(P75参照)

#### 拡張機能

拡張ユニット(別売)併用時にご使用いただける機能です。詳細は拡張ユ ニットの説明書をお読みください。 ※拡張ユニットを未装着の場合は選択して (■NTER)を押しても画面は変わ

※拡張ユーットを未装着の場合は選択して MIRH を押しても画面は変わりません。

Star Book TENについて

STAR BOOK TENコントローラーのプログラムバージョンが確認できます。

"メインメニュー"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"Star Book TENに ついて"を選択し、〔ENTER)(または方向キー → )を押します。



"Star Book TENについて"画面が表示されます。



**3** (または方向キー ◀)を押すと"メインメニュー"画面に戻り ます。



初期設定画面でも設定できます。(P76参照)

#### LANについて

STAR BOOK TENコントローラーのIPアドレス、MACアドレスが確認できます。 Ethernet (LAN) 接続によりパソコンからプログラムのバージョンアップを 行う、パソコン側からデータの入力を行うなどの際に利用します。

**クロスLANケーブル※にてパソコンと一対一で接続してください。** ※別途ご用意ください。

"メインメニュー"画面にて方向キー  $\land$ ・  $\lor$  で"LANについて"を選択し、 (ENTER) (または方向キー (ト))を押します。



"LANについて"画面が表示されます。

【 IPアドレスはLAN接続されている時にのみ表示されます。 \_\_\_\_\_



LAN接続されていない場合はIPアドレスのところに"Disconnected"、 接続作業中の場合は"Waiting...."と表示されます。

#### ●Disconnected 画面



#### ●Waiting 画面 SCOPE MODE 2011/07/04 13:22:23 ADW マシカリナン .0 メインメニュー \*# \*= 星図のLANについて IP Address : Waiting... Mac Address : 00:04:A3:2B:F8:F1 架台0 シスラ 高語 <u>ר</u>קצט メモ! OK 拡張機 StarBookTENについて .m Version : 1.10 LANについて Waiting. 架台情報 SXD2 ·Ba がマル .α Align:4 ALTA 赤経 4h36m35s 方位265°23.8' TARGET 赤経 4h36m35s 赤緯+16°31.9' 高度+35°21.6' アルデバラ赤線+16°31.9'





#### 初期設定画面でも設定できます。(P76参照)

#### 架台情報

赤道儀のギア数、減速比、エンコーダ1周期(ウォーム軸1回転)のカウント 数を表示します。

【 "メインメニュー"画面にて方向キー ▲ · ▼ で"架台情報"を選択し、 (ENTER)(または方向キー (►))を押します。



2 "架台情報"画面が表示されます。



(ENTER) (または方向キー (◀))を押すと"メインメニュー"画面に戻り

SXD2	(使用の架台を表示します。)
X:-180	× 4(赤経ギア歯数180枚。減速比 4)
Y: 180	× 4(赤緯ギア歯数180枚。減速比 4)
※値の変	更はできません。

※ STAR BOOK TENコントローラーを単独で使用している場合、次のように表示されます。





## **Ⅳ STAR BOOK TEN単体でのご使用について**

STAR BOOK TENは独立した電源端子を装備しており、赤道儀本体を動作 できる電源を直接接続することにより単体で使用することができます。ヒント84 ※電池残量表示が最小となります。

例えば観測地設定、時刻設定、プログラムのバージョンアップ、彗星軌道 要素の外部入力、星図や簡易天文書としても使用できます。 ヒント85

#### 写真のようにSXD2赤道儀を動作できる電源を接続します。

ヒント84	接続するだけで電源が入ります。電源を切るときは電源 コードを抜いてください。(ON/OFFスイッチはありません) ※通信中は抜かないでください。
ヒント85	赤道儀本体(機械)の直接動作に関わる機能はご使用いた だけません。(SCOPE MODEにはなりません)



製品に付属のフェライトコアをクロスLANケーブルに取付けてください。

#### │◯LANケーブルの接続

STAR BOOK TENはネットワークに接続できるパソコンと接続することによりバージョンアップやデータ入力、パソコン用市販ソフトウェアなどに対応 できる仕様となっています。ケーブルは市販のクロスLANケーブルをご使用ください。(ストレートLANケーブルでは通信できないことがあります) またSTAR BOOK TENとパソコンは1対1で接続してください。

けます。

○フェライトコア

## ◎各種パソコン接続機能

パソコンとEthernet接続(LAN接続)することによりバージョンアップが 可能です。また彗星の軌道要素、人工衛星の軌道要素、およびユーザーに よる任意座標を最大10個ずつ登録できます。STAR BOOK TEN単体でも データ入力できますが、パソコンから入力することで一括して入力する ことができます。

#### 必要なもの

- ETHERNET経由(LAN接続)によりネットワークに接続可能なパソコン※ ○ クロスLANケーブル
- SXD2赤道儀を動作させることができる電源 (ACアダプター12V·3A、ポータブル電源SG-1000SXなど)

#### パソコン動作環境(推奨)

#### ■対応OS

Microsoft Windows® XP HomeEdition Microsoft Windows® XP Professional Microsoft Windows® Vista HomeBasic Microsoft Windows® Vista HomePremium Microsoft Windows® Vista Business Microsoft Windows® Vista Ultimate Microsoft Windows® 7 HomePremium Microsoft Windows® 7 Professional Microsoft Windows® 7 Ultimate Microsoft Windows® 8 Microsoft Windows® 8 Pro

※MacOS、Linux、Unixには対応していませんので、ご注意ください。

■Webブラウザ Internet Explorer 5.0以上推奨

■CPU Pentium II 400MHz以上推奨

RAM 256MB以上推奨

10BASE-T/100BASE-T

# 写真のようにSTAR BOOK TENに接続する側の端子の付け根付近に取付 フェライトコア



118

## V バージョンアップ

弊社ホームページでご用意するアップデートファイルをパソコンにダウンロードしていただき、STAR BOOK TENとパソコンをLANケーブルで1対1接続 することによりバージョンアップできます。

#### ① 注意

- バージョンアップの際はSTAR BOOK TENの電源として赤道儀本体を動作できるものをご使用ください。
- データを転送するパソコンの電源は安定したものをご使用ください。
- アップデート中にパソコンまたはSTAR BOOK TENコントローラーの電源が切れると、STAR BOOK TENが再起動できなくなることがあります。 再起動できなくなった場合は販売店に修理を依頼してください(有料)。修理の際はSTAR BOOK TENの設定内容が初期化されることがありますのでご 了承ください。
- ●バージョンアップにはパソコンのネットワーク設定をしなければならない場合があります。ネットワーク設定をされる前に設定内容をメモなどに書き 写して元に戻せるようにしてください。
- バージョンアップによりSTAR BOOK TENの設定内容(観測地の経度緯度、ユーザーデータなど)が初期化される場合があります。 バージョンアップをする前に、設定内容をメモするなどしてください。

## ◎ バージョンアップ手順

- あらかじめビクセンホームページSTAR BOOK TENバージョンアップ情報 (トップページ:http://www.vixen.co.jp)より最新のプログラムをパ ソコンにダウンロードしてください。
- 2パソコンとSTAR BOOK TENをクロスLANケーブルにより1対1で接続します※。 ※この段階ではまだパソコン、およびSTAR BOOK TENの電源は入れな
  - いでください。
  - ※ LANケーブルとパソコンの接続につきましてはパソコンに付属の 説明書でご確認ください。
- STAR BOOK TENの電源を入れます。
- 電源コードを繋ぐだけで電源が入ります。



| パソコンの電源を入れ、OSを立ち上げて使用できる状態とします。

パソコンおよびSTAR BOOK TENが自動的にネットワークの接続情報 を取得しますのでそのまま~1分ほどお待ちください。

6 STAR BOOK TENの液晶画面に初期設定画面(メインメニュー)で、 "LANについて"を確認しIPアドレスを確認します(P116参照)。

IP Address: 169.254.a.b (a,bは任意の数字)

ОК		
前回の架台設定を使用	OFF	
時刻の設定	•	
観測場所	Tokyo E139°42' N35°42' +9	
LCD調整	15	
夜間表示	OFF	
キーの照明	15	®.
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	1
メモリの初期化	•	
StarBookTENについて	Version : 2.00	
LANICOUT	169. 254. 1. 1	1

		2012/01/30 22:05:00
初期設定		
OK 前回の加ム設定を使用 LANについて	055	
时刻 記測 IP Address : 16: LCD記 Mac Address : 00 次月日	9.254.1.1(No DHCP Answer) :04:A3:2B:F8:F1	
+- 0K		
音量调金	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化	•	
StarBookTEN(20UT	Version : 2.00	
LANIZOUT	169. 254. 1. 1	

#### ⊘注意

データ通信中は絶対にSTAR BOOK TENの電源コードを抜かないでくだ さい。また、LANケーブルを取り外さないでください。データ通信中に電 源が切れたりLANケーブルが外れるとデータが壊れることがあり、STAR BOOK TENコントローラーが再起動できなくなることがあります。

※パソコンとSTAR BOOK TENを1対1で接続していない場合、またはパ ソコンの設定によってはIP Addressの表示が異なることがあります。

※接続が完了していない場合、および接続されていない、または接続に失敗した場合は次のように表示されます。この場合、もうしばらく待つか、 LANケーブルがしっかり接続されているかどうかをご確認ください。

接続作業中(完了していない) : IP Address: Waiting····

接続されていない(または接続に失敗): IP Address: Disconnected

パソコンのインターネットブラウザを開きます。6で確認したSTAR BOOK TENのIP Addressをブラウザのアドレスバー※に入力してペー ジを表示させてください。次の画面が表示されます。

## 例:IP Addressが"169.254.1.1"の場合

http://169.254.1.1

※アドレスバーがない場合はアドレスバーが表示されるようにパソコンを設定してください。詳しくはパソコンの説明書にてご確認いただくか、システムの管理者またはMicrosoft社にお問い合わせください。

#### プログラム更新を左クリックして先に進みます。

STAR BOOK – Microsoft Internet Explorer Ø	提供元: Vixen Go_Ltd	
30 • [2] http://169.254. 1/		P -
アイルビ 編集(日) 表示(小) お光 入り(合) ツール	D ~11709	
お死に入り Sa 愛おすすのサイト・ 2 Hotmail O	無料サービス @ Internet Explorer ニュース @ Windows メディ	ア 記 インターネットの開始
STAR BOOK	0.0. · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-77+(5) · ツール(0) · @·
Vixen		
Star Book TEN version *	***	
11- H B		
2月ネユーサーテーター」別		7
クログラム 一新		essを入力
	ii //ddi	
opyright Wien Co.,Ltd.		
		<u> </u>
		Fa + + 100% +



送信終了(データ転送完了)

#### ●アップデートファイルをダウンロードしたフォルダを開いた画面

アップロードするファイ	ルの選択				? ×
ファイルの場所の	D UPdate		• 0	1 🖻 🎟	
<ul> <li>最近使ったファイル</li> <li>最近使ったファイル</li> <li>デスクトップ</li> <li>デスクトップ</li> <li>マイドキュメント</li> <li>デジー</li> </ul>	SBTV0014bin SBTV0015bin SBTV0017bin				
21 202-9 21 291-0	ファイル名心: ファイルの種類①:	オペてのファイル (*.*)		×	開K@) キャンセル

#### ●データをポイントして開くをクリックしている画面



#### ●クエリ送信をクリックしている画面

In Institution	
	. م
ヘルプ(出)	
サービス 変 Internet Explorer ニュース 変 Windows メディア	を インターネットの開始
	ティ(5)・ツール(10)・の・、
	ĺ
を切らないでください。	
e <b>7.</b>	
	<ul> <li>ヘルプピ</li> <li>ナーズ @ Mindows メディア</li> <li>□ □ □ □ □ □ □ · · · · · · · · · · · · ·</li></ul>

◎ アップデート中はSTAR BOOK TEN液晶画面にも経過が表示されます。

#### ●アップデート中のSTAR BOOK TEN画面



#### ●送信中のパソコン画面



Ⅰ アップデートが終了するとパソコンのブラウザ画面で終了を知らせるメ ッセージが表示されます。表示を確認後にSTAR BOOK TENの電源を切り 再起動してください。電源コードを抜き差しするだけで再起動できます。

#### ●更新完了後のパソコン画面



●アップデート終了のSTAR BOOK TEN画面



## Ⅵ 軌道要素・ユーザー座標入力

パソコンを使って彗星の軌道要素、人工衛星の軌道要素、およびユーザー座標をそれぞれ最大10点ずつ入力できます。また入力したデータをもとに自動導入、 追尾に対応いたします。軌道要素など各種データにつきましては別途ご用意ください。

## ◎ 入力手順

- パソコンとSTAR BOOK TENをクロスLANケーブルにより1対1で接続します。
- ※この段階ではまだパソコン、およびSTAR BOOK TENの電源は入れな いでください。
- ※ クロスLANケーブルとパソコンの接続につきましてはパソコンに付属 の説明書でご確認ください。
- 2 STAR BOOK TENの電源を入れます。電源コードを繋ぐだけで電源が 入ります。



パソコンの電源を入れ、OSを立ち上げて使用できる状態とします。

▲ パソコンおよびSTAR BOOK TENが自動的にネットワークの接続情報 を取得しますのでそのまま~1分ほどお待ちください。

5 STAR BOOK TENの液晶画面に初期設定画面(メインメニュー)で、 "LANについて"を確認しIPアドレスを確認します(P116参照)。

IP Address: 169.254.a.b (a,bは任意の数字)

#### ●初期設定画面でLANについてを選択している画面

	2012/	01/30 22:04:54
初期設定		
ок		
前回の架台設定を使用	OFF	
時刻の設定	•	
<b></b>	Tokyo E139°42' N35°42' +9	
LCD調整	15	
夜間表示	OFF	
キーの照明	15	0
音量調整	15	
大気差補正	OFF	
言語/Language	日本語	
メモリの初期化	•	
StarBookTENについて	Version : 2.00	
LANについて	169. 254. 1. 1	

#### ●LANについての画面



#### ⊘注意

データ通信中は絶対にSTAR BOOK TENの電源コードを抜かないでくだ さい。また、クロスLANケーブルを取り外さないでください。データ通信中 に電源が切れたりLANケーブルが外れるとデータが壊れることがあり、 STAR BOOK TENコントローラーが再起動できなくなることがあります。

- ※パソコンとSTAR BOOK TENを1対1で接続していない場合、またはパ ソコンの設定によってはIP Addressの表示が異なることがあります。
- ※接続が完了していない場合、および接続されていない、または接続に失敗した場合は次のように表示されます。この場合、もうしばらく待つか、 またはLANケーブルの種別に間違いがないか、LANケーブルがしっかり 接続されているかどうかをご確認ください。ストレートLANケーブルで は通信できない場合があります。

接続作業中(完了していない) : IP Address : Waiting・・・・ 接続されていない(または接続に失敗): IP Address : Disconnected

6パソコンのインターネットブラウザを開きます。5で確認したSTAR BOOK TENのIP Addressをブラウザのアドレスバー※に入力してペ ージを表示させてください。次の画面が表示されます。

例:IP Addressが"169.254.1.1"の場合 http://169.254.1.1

※ アドレスバーがない場合はアドレスバーが表示されるようにパソコン を設定してください。詳しくはパソコンの説明書にてご確認いただく か、システムの管理者またはMicrosoft社にお問い合わせください。

STAR BOOK – Microsoft Internet Explorer @	證供元: Vixen Co.Ltd.	
30 • a http://169.254. 1/		2
テイル(日) 編集(日) 表示(1) お外、入り(日) ツー)	ND ~1170	
とお外に入り Sis 愛お甘草のサイト・ 2. Hotmail (	D無料サービス (g) Internet Explorer ニュース (g) Windows メディ)	ア 創 インターネットの開始
STAR BOOK		-フティビ・ ツールビ・ ロ・
Vixen		
Star Book TEN version		
Star Dook TEN Version +		
登録ユーザーデーター覧		
プログラム更新		^ essを入力
Convright (c) 2010 Viven Co Ltd	ii /taai	000 27(7)
1		



@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

[¥]^\_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~

全角文字など上記以外でも入力できることがありますが、動作保証対 象外となります。



#### ◎ 彗星軌道要素の入力例

以下、彗星(マックノート彗星C/2009 K5)を入力した例でご説明いたします。

#### 軌道要素データ入力 1

名前	Mc Naught C/2009 K5
近日点通過(T)	2010/4/30.02286 TT
近日点引数(ω)	66.17274°
昇交点黄径(Ω)	257.85578°
軌道傾斜角(i)	103.87956°
近日点距離(q)	1.4223935 AU
離心率(e)	1.0008525

EPOCH = 2010年5月4.0日

# 2 登録するには、彗星の名前、および軌道要素を入力して 更新 を左ク リックします。



w(ル(E) 編集(E)	表示(2) お気に入り(4)	シートロ ヘルプピ	
お気に入り (合)	@おすすわサイト・ @)	Hotmail の無料サービス 夏 Internet Explorer ニュース	
STAR BOOK		◎ - □ 扁 ・ ページ ②・ セーフティ②・ ツール②・	
	4		
Vixer	1		
	-		
Star Book	IEN versio	n ****	
<b>広道要素</b>			
		1	
No.	þ	No変更	
名前	Mc Naught2009K5		
近日点通過(T)	2010 / 4 / 30	02286 TT	
近日点引数(w)	66.17274	deg	
昇交点黄経(Ω)	257.85578	deg	
航道倾斜角(7)	103.87956	deg	
近日点距離(a)	1.4223935	AU	
離心率(e)	1.0008525		
the second se			
更新			
۲ <u>۳</u>			
	<u>-9-15</u>		

271.8	<ul> <li>● ● ● ういp //169254</li> <li>● 編集(● 表示(●)</li> </ul>	11/二 お矢に	3 8 4 × 1	) ~V	1.7W	4
W ST	AR DOOK	MAR.	• 🔊 Hotmail ()) 🗿 • 🕤 • 🗠	(月) -	eス g Internet Explorer ページ(E)・ セーフティ(S)	·==−ス )* ??=ル©)* ₽•
	/ixen					
			18			
Sta	ar Book TEN	ver	sion ***	*		
登録	ユーザーデーター覧	6				
27-	(ルから登録					
No	慧星名	No	人工衛星名	No	ユーザー座標名	
1	McNaught2009K5	1		1		
2		2		2		
3		3		3		
4		4		4		
5		5		5		
2		2 7		2 7		
8		8		8		
9		9		9		
		10		10		

◎ データを削除する場合は"削除"を左クリックします。いったんデータ を削除すると元に戻りませんので十分ご注意ください(元に戻すには データを入力し直す必要があります)。

Vixen Star Book TEN version **** 軌道要素 No. p bo发更	
Star Book TEN version **** 航道要素	
No. 1 105支配	
和10世界本 No. 1 No実更	
No. 1 No.301E	
名前 Mc Naught 2000 KK	
近日点通過(T) 2010 / [4 466 大 - 9 550 5 5 7 2 3	
近日点引数(ω) 66.17274 チークを削減しますか?	
昇交点黄経(Ω) 257.85578 OK ##2/世ル	
軌道傾斜角(D 103.87956	
近日点距離(q) 1.4223935 AU	
Rfu 383(a) 1 0009525	

※ No.のところに1~10の数値を入力して"No.変更"をクリックすると該当 No.に登録されたデータが表示されます。ただし、名前の項目が未記入 の場合は登録データがない項目ですので新規入力ができます。 人工衛星、ユーザー座標についても同様の方法で入力できます。

#### ◎ ファイルから登録

あらかじめデータを用意した上で一括送信することによりデータを入力 することができます。実行すると同じ番号のデータは上書きされます。上 書き後は元に戻りませんので十分ご注意ください(元に戻すにはデータを 入力し直す必要があります)。データファイルの作成はP126~をご参照く ださい。

1	ファイルから登録(左クリック)
	$\downarrow$
2	参照(左クリック)
	$\downarrow$
3	ファイルを保存しているフォルダを指定
	$\downarrow$
4	作成したデータファイルをポイント
	$\downarrow$
5	開く (左クリック)
	$\downarrow$
6	クエリ送信(左クリック)
	$\downarrow$
7	送信終了(データ転送完了)

- 0 × 軌道要素データを入 カします。 Vixen "ファイルから登録" を左クリックすると Star Book TEN version \*\*\*\* 登録ユーザーデーター覧 "ファイルから登録" Zァイルからしま No 世界UII) 1 McNaught2009K5 画面が表示されます。 No. 人工衛星名 No. ユーザー座標名 2 2 2 4 4 4 5 5 5 6 7 8 8 8 8 10 10 10 \*-4 4 |√<sub>6</sub> • | ± 100K • ● インターネット - U × 🌖 参照 を左クリック **と**します。 ☆ お外に入り | So 愛わせすわサイト・ @ Hotmail の無料サービス @ Internet Explorer ニュース Vixen Star Book TEN version \*\*\*\* ファイルから登録 データファイルをSTARBOOKに送信します。 同じ番号のデータは上書きされます。 \*\*\*C ζīī, クエリ送信 ホーム @ 125-271 /a . t. 1008 一ジが表示されました

▶ 彗星、人工衛星の軌道要素、ユーザー座標などのデータを作成したファ ┛ イルを保存しているフォルダを指定してください。 ●データのフォルダを指定した画面 アッフロードするファイルの選択 ? × · 01 · ···· ファイルの場所の ロデーク類 Diservation\_data.txt Ē. SBcomet2009-01 (default).txt SBcomet2009-01 (test).txt SBcomet2009-01.txt C SBcomet2009-01t1.txt スクトップ SBcomet2009-01t2.txt اللا الله الله الم SBcomet2009-0113.tx SBcomet2010-01.txt 11/11 2 . 7711名00 IRK (Q) ファイルの種類(1): すべてのファイル (\*.\*) 442/2/4 • 作成したデータファイルをポイントします。 4 ●データをポイントして 開く をクリックしている画面 アップロードするファイルの選択 ? × . Of ...... ファイルの場所の ロデータ語 Clovervation day 1xt
Cloverva Ē. (B-377 SBcomet2009-0111.txt SBcomet2009-0112.txt SBcomet2009-0112.txt SBcomet2009-0113.txt SBcomet2010-01 txt L IVI. 7711名(1) 061 . in the すべてのファイル (\*.\*) ファイルの種類① • L(II) 5 "クエリ送信"を左クリックします。 D ●クエリ送信をクリックしている画面 A THICY ソノノしている画面 ASTAN BOOK - Merceal Explore の目示、Vace Ce. Ltd. ② ③ \* ● artp://0252411/\*) ③ 年 X ● 1001270 (2) 第23111/21 (2) 1011 (2) ● STAR BOOK 日・日・日本・ページ団・セージティロ・ツールロ・ロ・ Vixen Star Book TEN version \*\*\*\* ファイルから登録 データファイルをSTARBOOKに送信します。 同じ番号のデータは上書きされます。 Doervation\_datatat \$5. 送信が終了します。 ●送信が終了した画面 Cost All DOOL = Monard Externet Explore 合正的人 Vane Col.M.
 Cost All Cost A .IDIX Ø STAR BOOX ○ ホ・ページの・セージョイの・ ツールロ・0・ Vixen Star Book TEN version \*\*\*\* 送信が終了しました。 \*-4

★1 ページが表示されました ダイングーネット パム・「大100

## ◎ 送信データ形式

送信できるデータは以下の通りです。テキストファイル(.txt)に以下を記入して送信します。

#### 彗星のデータ形式

STARB 行番号,	300KCOM 彗星名,近	IETFILE 日点通過年(T:西暦),月( <sup>-</sup>	Т),日(Т)	,近日点引数(ω)	,昇交点黄径(Ω	),軌道傾斜角(	i),近日点距離(	(q),離心率(e)
例 S T A _ <u>1</u> , ! ↑ 行番号	ARBOOK <u>McNaugh</u> ↑ 彗星名	月(T) ↓ ↓ <u>t 2 0 1 0 R 1</u> , <u>2 0 1 0, 6, 2.</u> ↑ 近日点通過年(T∶西曆)	. <u>67841</u> ↑ 日(T)	, <u>1 3 0 . 7 0 0 9 5</u> , ↑ 近日点引数(ω)	<u>322.62188</u> , ↑ 昇交点黄径(Ω)	<u>77.03226</u> , ↑ 軌道傾斜角(i)	<u>0 . 4 0 5 0 2 6 3</u> ↑ 近日点距離(q)	, <u>1.0003431</u> ↑ 離心率(e)

#### ※ 注意

- "STARBOOKCOMETFILE"という文字列で彗星の軌道要素であること
   を認識しています。この部分は変更しないでください。
- すべての項目を埋めてください。一つでも欠けがあるとデータが送信 されません。
- •入力可能文字以外は入力しないでください(P123参照)。
- 人工衛星のデータ形式(TLEフォーマット)

**STARBOOKSATELLITEFILE** 行番号,人工衛星名 1 AAAAAA BBBBBB CCCCC.CCCCCCCC ±.DDDDDDD EEEEE-E FFFFF-F G HHHH 2 IIIII JJJ.JJJJ KKK.KKKK LLLLLLL MMM.MMMM NNN.NNNN 00.00000000 PPPPP 例 STARBOOKSATELLITEFILE <u>1</u>, <u>I S S</u> ←人工衛星名 Α В C D F G Н 行番号 <u>902</u>7 1 <u>25544U</u> <u>98067A</u> <u>10111.53413738</u> <u>. 0 0 0 1 6 7 1 7</u> 0 0 0 0 0 - 0 10270-3 0 14550 2 25544 51.6459 161.3425 0003532 195.5452 164.5604 15.75083651

ſ

Μ

↑

1

※ 注意

 "STARBOOKSATELLITEFILE"という文字列で人工衛星の軌道 要素であることを認識しています。この部分は変更しないでください。

1

1

- すべての項目を埋めてください。一つでも欠けがあるとデータが送信 されません。
- CelesTrakなどで一般公開されているTLEフォーマット形式データを そのまま使用できます。
- 行番号、人工衛星名の間は","で区切ってください。

N

データとデータの間はすべて","で区切ってください。

● 行間は空けなくても認識されます。

● 行番号は1~10で指定してください。

Dの部分は符号がありますので入力の際間違えないようにご注意ください。

 $\cap$ 

Þ

- •入力可能文字以外は入力しないでください(P123参照)。
- 行間は空けなくても認識されます。
- 行番号は1~10で指定してください。

#### ユーザー座標のデータ形式

座標種類により下記2種類のデータ形式がありますので必要に応じて使い分けてください。

T

ĸ

#### 赤経・赤緯 方位・高度 **STARBOOKCOORDFILF** STARBOOKCOORDFILF 行番号,天体名,RADEC,赤経(h),赤経(m),赤経(s),赤緯(±°),赤緯(′) 行番号,ポイント名,ALTAZ,方位(°),方位(′),高度(±°),高度(′) % "VixenStar01", "Mt.VixenSummit" 例 STARBOOKCOORDFILE 赤経(m) 赤緯(±°) は架空であり実在しません。 <u>5</u>, <u>VixenStar01</u>, <u>RADEC</u>, <u>12</u>, <u>23</u>, <u>45</u>, <u>67</u>, <u>89.6</u> 行番号 天体名 赤経赤緯 赤経(h) 赤経(s) 赤緯(1) <u>6</u>, <u>Mt. VixenSummit</u>, <u>ALTAZ</u>, <u>275</u>, <u>12</u>, <u>1</u>, <u>1</u>←高度(′) 行番号 ポイント名 高度方位 方位(°) 方位(′) 高度(±°) ※ 注意 ● "STARBOOKCOORDFILE"という文字列でユーザー座標であることを データとデータの間はすべて","で区切ってください。 認識しています。この部分は変更しないでください。 •入力可能文字以外は入力しないでください(P123参照)。 ● すべての項目を埋めてください。一つでも欠けがあるとデータが送信 ・ 行間は空けなくても認識されます。 されません。 ● 行番号は1~10で指定してください。 126

#### 記入例

"Observation\_data.txt"というテキストファイルを作成した例です。

Observation\_data.txt

STARBOOKCOMETFILE 1, McNaught2010R1,2010,6,2.67841,130.70095, 322.62188, 77.03226, 0.4050263,1.0003431 2, LONEOS2006S3,2012,4,16.33376,140.12907, 38.36874, 166.03253, 5.1310903,1.0034881 STARBOOKSATELLITEFILE 1,ISS 1 25544U 98067A 10111.53413738 .00016717 00000-0 10270-3 0 9027 2 25544 51.6459 161.3425 0003532 195.5452 164.5604 15.75083651 14550 2,NOAA 1 1 04793U 70106A 10137.05933165 -.00000031 00000-0 10000-3 0 5187 2 04793 102.0931 138.9934 0031991 161.7350 198.4876 12.53938420804769 STARBOOKCOORDFILE 5,VixenStar01,RADEC,12,23,45,67,89.6

6,Mt.VixenSummit,ALTAZ,275,12,1,1

※ "VixenStar01"、 "Mt.VixenSummit"は架空であり実在しません。
※彗星および人工衛星データは本書作成時点での情報です。観測に使用 される際は新しいデータを入手のうえご使用ください。

◎ なお、データに不正がある、または通信に失敗すると以下のように警告表示されます。



こちらが表示された場合はデータ形式、内容に間違いがないかよくお 確かめください。

またLANケーブルがしっかり接続されているかどうかをご確認いただ き、ブラウザを再起動する、STAR BOOK TENを再起動するなどして 再度お試しください。

## Ⅷ 付録(Appendix)

## ◎ STAR BOOK TENコントローラー本体コネクターの仕様

#### ※実際の寸法とは若干異なる場合があります。※改良のため予告なく仕様変更することがあります。







## ◎ 赤道儀本体寸法図



## ◎ SXGハーフピラー(別売)寸法図





## ◎ SXG-HAL130三脚(別売)寸法図





## ◎ ピラー脚SXG-P85(別売)寸法図



## ⑥ FAQ(質問編)

質問No.	質問	
Q 1	倍率は何倍まで高くできますか?	むやみに高倍率にしても暗くて見えにくくぼんやりとするだけです。鏡筒の種類にもよりますが、 目安として最大でも対物有効径をmm数で表した数値の2倍まで(口径100mmなら200倍まで) を目安としてご使用ください。
Q 2	初心者ですが、どんな天体が見えますか?	鏡筒の種類によって変わりますが、月面のクレーター(凹凸)、水星・金星の満ち欠け、木星の四大 衛星・縞模様、土星の輪などであれば観察できます。また星団も観察できます。星雲や彗星も観察 できますが、その多くは極めて淡い見え方をします。このため街灯の影響を受けない郊外などの 環境下でないと殆ど見えません。また星雲を見るには経験が必要となります。個人差はあります が、初めての方だと星雲は分からないことが多いようです。(トラブル編Q14T参照)(※1)
Q 3	写真にあるような鮮やかな星雲が見たいの ですが、どうすれば見えますか?	鮮やかな星雲の姿は写真でしか見ることができません。(トラブル編 <b>Q14T</b> 参照)
Q 4	シーイングとは?	星像の揺らぎ(シンチレーション)の程度を表す言葉です。大気の状態によっては観察対象がユ ラユラと動いて見えることがあります。これは地球の大気の影響によるものです。シーイング が悪いと惑星の模様などがよく見えません。大気の状態が安定している時(星が瞬いていない 夜など)に観察することをおすすめします。
Q 5	筒内気流とは?	鏡筒の観測環境における温度順応(外気へのなじみ)が不十分だと鏡筒内部で空気のゆらぎが 起こります。これを筒内気流といいます。ゆらぎがおさまる前に見ると星などを見た際に"か げろう"のように見えてしまい、よく見えなくなります。時間をかけて外気に十分なじませる ことで改善します。
Q 6	自動導入とは何ですか?	目標として選んだ天体を望遠鏡の視野内に見えるように導く機能です。位置がわからない天 体でも自動的に視野に導けるため大変便利です。(P32参照)
Q 7	どうすれば自動導入できるのですか? 難しい設定はありませんか?	複数の星をアライメント(方向設定)することで自動導入できるようになります。 作業そのものは本書を参考に進めていただくだけで簡単に設定できます。但し基礎知識とし て代表的な星空、星座などの知識(小中学校の2010年学習指導要領程度)が必要です。
Q 8	自動追尾とは何ですか?	天体の運動(日周運動または固有運動)にあわせて赤道儀を動作させることで視野内に目標と して捕えた天体を追尾する機能です。高倍率での観望や長時間露出を必要とする星雲などの 写真撮影では必須です。
Q 9	アライメントとは何ですか?	STAR BOOK TENコントローラーが記憶する天体座標上の位置情報と実際に見える星の位置 (視位置)を一致させる作業のことです。カーナビゲーションにおけるマップマッチングに相 当します。
Q10	彗星の核を自動追尾できますか?	彗星に限らず、惑星や人工衛星など目標天体を自動導入することでそれぞれの天体固有の運 動を追尾するようになります(※2、※3 <b>P53~62</b> 参照)。
Q11	自動導入の精度はどのくらいですか?	初めて使用される方が約40倍の視野のどこかに導入できることを想定しております。
Q12	自動導入速度は何倍速ですか?	最高約1000倍速です(対恒星時)。但し搭載機材の重量が大きいと遅くなることがあります。 設定で1000倍速以下に変えることもできます。(P101参照)
Q13	SXD2赤道儀のモーターは何PPSですか?	約250PPSで動作しております(天体追尾時)。
Q14	SXD2赤道儀のコントローラー接続端子は D-SUB9PINのようですが、ここからパソコン 接続して制御できるのでしょうか?	パソコンと接続すると故障しますので絶対に接続しないでください。
Q15	STAR BOOKケーブルは市販の長いケーブ ルで代用できますか?	専用ケーブル以外は接続しないでください。長くした場合の動作については保証致しかねます。
Q16	SXD2赤道儀は-30℃の環境で使用できますか?	SXD2赤道儀の動作可能温度は0~40℃です。
Q17	SXD2赤道儀の動作可能電圧は?	10~15Vまで動作できます(12Vを推奨)。

131

## ⑥ FAQ(質問編)

質問No.	質問	回答	
Q18	SXD2赤道儀の消費電流は?	0.45~2.2A(約10kg搭載時)、0.6~2.5A(約15kg搭載時)となっております。ただし使用状況 によって変わります。また、設定で変えることもできます(P102参照)	
Q19	電源として発電機を使用できますか?	電源電圧が不安定となることがありますので推奨できません。電圧が不安定な電源を使用す ると正常動作できないことがあります。 家庭用電源100VにてACアダプター12V・3Aをご使用いただくか、または12Vバッテリーなど 安定した電源のご使用を推奨いたします。(※4)	
Q20	自動車のシガーソケットから電源を取れま すか?	推奨しておりません。SXD2赤道儀の消費電力を考慮するとバッテリーが上がる危険があり ます。また通電中にエンジンをかけると電圧が不安定となることがあり正常動作できない ことがあります。 付属のシガーコードは12Vバッテリーなどから電源を取る目的で付属しているものです。	
Q21	乾電池(バッテリーBOX単一8本用)で動作で きますか?	乾電池では十分な電力が得られず動作できません。	
Q22	SXD2赤道儀はパソコン制御できますか?	LAN接続することにより一般市販ソフトに対応しております。 詳しくはソフトウェアメーカーにお問合せください。	
Q23	オートガイダーには対応していますか?	アドバンスユニット(別売)を接続することによりSTAR BOOK TENコントローラーがオート ガイダー機能を搭載します。 外部オートガイダーとしてはSBIG社製オートガイダーに対応しております。( <b>P93</b> 参照)	
Q24	STAR BOOK TENはバージョンアップに対 応しますか?	お手持ちのネットワークに接続されたパソコンにLAN接続することによりバージョンアップでき る仕様となっております。バージョンアップは随時ホームページでご案内いたします。(P119参照)	
Q25	パソコンを持っていないのですが、STAR BOOK TENをバージョンアップできますか?	修理品と同等のお取扱いにてコントローラーのみお預かりさせていただき、有料でバージョ ンアップを承ります。	
Q26	STAR BOOK TENコントローラーとSTAR BOOKコントローラーに互換性はありますか?	互換性はございません。プラグ形状が同じですが、接続しても動作しません。	
Q27	内蔵時計電池(CR2032)の寿命はどのくらい ですか?	新品をご使用いただいた場合で約1年です。ただしSXD2赤道儀お買い上げ時に付属の電池は 動作確認用のため、早く消耗することがあります。	
Q28	内蔵時計電池が切れると使用できなくなる のでしょうか?	電池切れでもご使用いただけますが、ご使用毎に観測地情報や時計を合わせなければなりま せん。	
Q29	SXD2赤道儀の搭載可能重量は?	搭載可能重量約1.3~15kg(※5※6)までとなっております。 (モーメント荷重32.5~375kg・cm:不動点から25cmの位置で約1.3~15kg)	
Q30	不動点とはどこのことでしょうか?	赤経の回転中心軸と赤緯の回転中心軸が交差するところです。(P129図参照)。赤経軸または 赤緯軸を回転させても位置が移動しないことから不動点と呼ばれます。	
Q31	モーメント荷重とは何ですか?	カのモーメントとも呼ばれ、力学における質点に回転運動を与える働きをいいます。ここでは 赤道儀に搭載する機材重量が赤道儀の赤経軸に与える回転運動への働きとし、弊社では以下 のように定義しています。	
		こ アンド回車ー(下動点がつ) 1 戦(成何単心よくのが再知力回取及距離UII) へ(拾戦(成何次の 重量kg) ※ウェイト重量は計算に含みません。	
Q32	SXD2赤道儀にSX赤道儀、GP赤道儀などの ウェイトを取付けできますか?	取付けできます。( <i>ф</i> 20mm)	
Q33	SXD2赤道儀にAXD赤道儀、アトラクス赤道 儀、ニューアトラクス赤道儀のウェイトを取 付けできますか?	ウェイト軸の直径が異なります(φ25mm)ので取付けできません。	

## ⑥ FAQ(質問編)

質問No.	質問	回答
Q34	他社製鏡筒を取付けできますか?	筒受けの図(P14,P129参照)を参考にご確認ください。
Q35	脚の高さや不動点の高さなどについて教え	架 台 (不動点):架台底面から約255.5mm/高度35度設定において( <b>P129</b> 参照※7)
		SXG-HAL130三脚:設置半径460~706mm( <b>P130</b> 参照※7) 高さ730~1156mm( <b>P130</b> 参照※7)
		ピラー脚SXG-P85DX :設置半径450mm ( <b>P130</b> 参照※7) 高さ839.5mm ( <b>P130</b> 参照※7)
		SXGハーフピラー : 高さ207.5mm( <b>P129</b> 参照※7)
Q36	彗星軌道要素などの入力で近日点通過時刻 はUT (世界標準時)でしょうか、JST (日本標 準時)でしょうか。	入力はUTで行います。ただし、公開されている軌道要素がどちらであるかは分かりません。 公開データをご確認ください。
Q37	アライメントデータの保存・消去はできます か?	アライメントデータを完全保存することはできませんが、再起動時に"前回の架台設定を使用" を指定することで前回のアライメント情報を復元できます。また任意のアライメント情報を 消去することができます。(P107参照)
Q38	電源端子の規格を教えてください。	統一規格 DC12V EIAJ RC5320A Class4(センタープラス)となっています。

※1:天体は季節や時間、観測地によっては見えないことがあります。また自然物ですので想定外の変化により見えなくなることがあります。

※2:観測地、時刻が設定済であること、人工衛星、彗星については観測地、時刻だけではなく公開されている最新の軌道要素が設定済であることを前提とします。
 ※3:人工衛星については動作が極めて速いことがあり、軌道要素や観測地、時刻が正しくても自動導入・追尾できないことがあります。

※4:バッテリーによっては過放電保護回路になどの作用によりご使用いただけないことがあります。市販のバッテリーをご使用の際は十分にご注意ください。

※5:ウェイトレス構造をとっているため、搭載可能最低重量設定がございます。1.3kg以下の搭載機材ですと重量バランスが取れませんのでご注意ください。

※6:搭載可能重量はあくまで設計値です。

※7:あくまで設計値であり、製品では若干の個体差がございます。厳密な値が必要な場合は現物にてお確かめください。

## ⑦ FAQ(トラブル編)

質問No.	トラブル内容	原因	対策
Q 1 T	全く見えません (望遠鏡視野	本体キャップを外していません。	本体キャップを取り外してください。
	が真っ暗)	ミラー切替ハンドルが不適当な位置にあります(フリッ プミラーをご使用の場合)。	切り替えレバーを反対にしてみてください。
Q 2 T	全く見えません (望遠鏡視野	接眼レンズをさし込んでいません。	接眼レンズをさし込んでください。
	に尤は入っている)	ピントを合わせていません。	合焦ハンドルをゆっくり回してピントを合わせてください。
		ファインダーの光軸が合っていません。	Q3T参照
		目標が視野に導入できていません。天体望遠鏡では倍率 が高いため、おおよその方向を定めても目標が視野内に 収まらないことがあります。	低倍率の接眼レンズを使用し、またファインダーと併用 して慎重に導入してみてください。
		観察する目標物までの距離が近すぎます。天体望遠鏡は 無限遠にある目標物を観察する目的でできています。こ のため200m程度以内の近距離には必ずしもピントが合 うとは限りません。	最低でも200m以上遠方の目標物をのぞいてください。
		接眼部パーツの接続が適切でありません。	本書または取付けるパーツの説明書を参考に接続が適 切であるかどうかをよくお確かめのうえ、再度接続して みてください。
Q 3 T	ファインダーからは見えます が、望遠鏡本体では何も見え ません。	望遠鏡をお買い求めの当初はファインダーの光軸は合っていません。また久しぶりにご使用される場合やファ インダーを取外したことがある場合は光軸が狂ってい ることがあり、ファインダーで合わせても望遠鏡本体で 見えないことがあります。	P28~を参考に明るい昼間のうちにファインダーを調整してから天体観測にご使用ください。
Q 4 T	ぼやけてよく見えません。	天体の種類や観察の目的によって適正な倍率も変わり ます。むやみに高倍率にしてもよく見えるものではなく、 かえって暗くぼんやりとしてしまいます。低倍率で見た ほうが鮮明に見えます。	適正な倍率(有効な最高倍率以下)で観察してください。 鏡筒の種類にもよりますが、目安として対物有効径をミ リ数で表した数値の2倍までが有効な最高倍率と言わ れています。(例:口径100mmであれば最高でも100× 2=200倍まで。)
Q 5 T	像が逆さまに見えます。	天体望遠鏡でのぞいた像は必ずしも実際の上下左右と 一致していません。天地逆に見えることもございます。 特に屈折式望遠鏡、カタディオプトリック式鏡筒などで 直視でのぞくと倒立像となります。	異常ではありません。正立で見たい場合は地上レンズ AD31.7(別売)を併用することで正立像となります。(た だし、像は若干暗くなります。)
Q 6 T	自分の目が見えます。	接眼レンズをさし込んでいません。	接眼レンズをさし込んでください。
Q 7 T	星を見ても大きく見えません。	星(恒星)は大きさが感じられないほど遠くにあり、拡大 しても点にしか見えません。	異常ではありません。
Q 8 T	低倍率だと見えるのに高倍率だと見えません。	光学機器ではその種類にかかわらず倍率に比例して像 が暗くなりぼんやりとする性質があります。このため、 高倍率だとよく見えなくなることがあります。	適正な倍率で観察してください(Q4T参照) 特にバローレンズなどを用いると過剰倍率になりやす くなりますのでご注意ください。
		天体望遠鏡は視野の中心を拡大して見る機器です。また、 高倍率にすると視野が狭くなりますので、対象物が十分 に中心付近に寄せていないと、高倍率とした際に見えな くなる(目標物が視野から外れる)ことがあります。	低倍率の状態で目標物を十分視野の中心に寄せてから 高倍率の接眼レンズと交換してください。
		大気の影響を受けたり望遠鏡の観測環境における外気 への温度順応が十分でないと"かげろう"のように見 えてよく見えないことがあります。高倍率となるほど 顕著になりますので、低倍率の時のみ見えたものと思 われます。	Q10T参照
		望遠鏡の観測環境における温度順応(外気へのなじみ) が足りません。望遠鏡はわずかながら温度により膨張 収縮を起こします。このため温度順応が十分でないと 本来の性能を発揮できないことがあります。	十分温度順応させることでよく見えが改善されます。 対物レンズ3枚以上の屈折望遠鏡、カタディオプトリッ ク式望遠鏡、大口径望遠鏡(口径15cm以上)では温度順 応にかなり長時間かかることがあります(3時間程度~)

134

## ⑦ FAQ(トラブル編)

質問No.	トラブル内容	原因	対策
Q 9 T	惑星の細かな模様が見えませ ん。	大気の影響を受けたり望遠鏡の観測環境における外気 への温度順応が十分でないと"かげろう"のように見え てよく見えないことがあります。	Q8T·Q10T参照
		見ている天体の高度が低いと大気の影響を受けやすく、 よく見えないことがあります。また惑星からの光が大気 中で屈折することにより色にじみが見えることもあります。	高度が高い時に見るとよく見えます。但し惑星の見える 位置に制限があり高い高度を望めない場合は日を改め るなどしてください。
		惑星観測に慣れていないと、よく見えないことがあり ます。	観測を繰り返し行ってみてください。個人差もあります が、慣れてくると細部が見えるようになります。
		惑星は公転していますので、時期により地球からの距 離や角度が大きく変化することがあります。このため、 細部模様の見え方も変わります。また自然のものです ので、模様が変わることもあり、目立つ模様がないこ ともあります。	市販天文誌などの情報をもとに観測してみてください。 また、例えば火星であれば接近時と最遠の時とではかな り見え方が異なります。また土星であれば見える角度も 変わるため、輪が見えたり見えなかったりすることがあ ります。
		市販天文誌などに掲載の写真レベルまでは望めません。 これら写真の殆どは特殊な技法を駆使して撮影された ものです。	異常ではございません。
Q10T	星がゆらゆらとかげろうのよ うに見えます。	望遠鏡が観測環境において外気に温度順応していない (なじんでいない)ため筒内気流と呼ばれる"ゆらぎ" 現象が生じ、かげろうのように見えるものです。天体 望遠鏡であれば機種にかかわらず起こる現象ですが、 特に大口径の望遠鏡や対物レンズ構成枚数の多い望遠 鏡(対物レンズが3枚以上の機種)では顕著です。	機種や環境にもよりますが、ご使用前に最低限1時間以 上外気になじませることで温度順応が進み、よく見える ようになります。大口径の望遠鏡やレンズ構成枚数の多 い望遠鏡(対物レンズ3枚以上)では外気になじむまでに 3時間以上かかることがあります。
		部屋の中から観測していませんか?部屋の中から観測 すると室内外で空気の出入りによる"ゆらぎ"が生じま すので、かげろうのように見えます。	屋外で観測してください。
		大気のゆらぎ(気象現象)が影響することがあります。 日本国内ですと特に秋~冬~春にかけて大気の条件が 悪くなり、見にくくなる傾向があります。 また大口径の望遠鏡ほど大気のゆらぎの影響を敏感に 受けます。このため性能に反して口径が小さな望遠鏡 のほうがよく見えることもあります。	星が瞬いていませんか?瞬きの少ない日に観察すれば もっとよく見えます。星がまたたいて見える日は拡大し てもよく見えませんので、この場合は日を改めて観察し たり、低倍率で観察してみてください。
Q11T	星を見ると光の筋が見えます。	ニュートン反射式望遠鏡やカタディオプトリック式望 遠鏡では鏡筒内部にスパイダーと呼ばれる副鏡支持金 具があります。ここを通った光は回折という光学現象 を生じますので、この影響で見みえたものです。上記 望遠鏡の性質上避けることができません。	異常ではありません。
Q12T	左右が逆に見えます。	フリップミラーや天頂プリズムで望遠鏡の光路をまげ て観察すると鏡像に見えます。	フリップミラーや天頂プリズムを使用しない、またはフリッ プミラーの直視側で見ることで倒立像(正常)となります。 直視で見た場合は倒立像になりますが、気になる場合は 地上レンズAD31.7(別売)を併用することで正立像が得 られます。
Q13T	レンズが汚れています。ゴミ のようなものが見えて、油が 流れるように少しずつ動いて いるのが見えます。	接眼レンズを回してもゴミが一緒に回らない場合は、 目の中のホコリや僅かなキズが見える生理現象です。 日常の生活でも起こりますが、目立たないため気がつ かないものです。望遠鏡や双眼鏡、顕微鏡など光学機 器をのぞくと気がつくことがあります。	異常ではありません。
Q14T	鮮やかな星雲を期待してのぞ いたが何も見えません。	星雲の発光は極めて淡く、慣れないと見つけることがか なり困難です。また街灯の影響がある都市部(目安とし て懐中電灯なしでも支障なく夜道を歩ける環境)では殆 ど見えません。 肉眼で見た場合はそこにタバコの煙があるような"気が する"というような具合で非常に淡い見え方をします。 写真集などにある鮮やかな星雲の姿は写真で長時間か けて光を集めた結果得られたものです。	星雲の姿を肉眼で観察するには環境と経験が必要です。 山や郊外など街灯の影響を受けにくい場所に出かけた 際に観察してみてください。最初はわかりにくいかも知 れませんが、何度も観察するうちに淡い光芒が見えるよ うになってきます。

## ⑦ FAQ(トラブル編)

質問No.	トラブル内容	原因	対策
Q15T	赤道儀が作動しません。	赤道儀のスイッチが入っていません。	赤道儀のスイッチを入れてください。
		バッテリーが充電不足または消耗しています(バッテリ ーをご使用の場合)。	バッテリーを充電するか、または充電済みのバッテリー と交換してください。(※4 : <b>P133</b> )
		赤道儀の赤経赤緯クランプがゆるんでいます。	赤経赤緯クランプをしめてください。
		極性が間違っています(バッテリーなどで自分で極性端 子を接続した場合)。	極性をもう一度お確かめください。
		電源コードをコントローラーにつないでいませんか?	電源コードは赤道儀側電源端子に接続してください。コ ントローラー側の電源端子はコントローラー単独でご 使用いただく場合のものです。
		電源をつないでいません。	赤道儀に正しく電源を繋いでください。
Q16T	赤道儀を使用中に電源が落ち ます。	電源接続端子またはSTARBOOKケーブルのコネクター (コントローラーのケーブル)がゆるんでいるかまたは 外れています。	接続端子を確実に接続してください。
		ご使用の電源が対応していないため、十分な電力が得ら れていません。	対応の電源をご使用ください。SXD2赤道儀は12V・2.5Ah程 度以上で動作いたします。12V・3Ah以上の電源を推奨します。
		バッテリーが充電不足または消耗しています(バッテリ ーをご使用の場合)	バッテリーを充電するか、または充電済みのバッテリー と交換してください。(※4 : <b>P133</b> )
Q17T	コントローラーを動かすと星 が反対に移動します。	天体望遠鏡で覗いた像は必ずしも上下左右が実際と一 致していません。このためコントローラーを動かすとイ メージ通りに動かないことがあります。	異常ではありません。慣れるまでは難しいかも知れませ んが、動作のコツを掴んでください。
Q18T	動き方が悪いようです。	赤経クランプまたは赤緯クランプがゆるんでいませんか?	赤経・赤緯クランプをしっかりしめてください。
		重量バランスが崩れています。	P 16~に従いバランスをとってください。
		自動導入の速度設定が遅くなっていませんか?	P101~に従い導入速度の変更をしてみてください。
		バッテリーが充電不足または消耗しています(バッテリ ーをご使用の場合)	バッテリーを充電するか、または充電済みのバッテリー と交換してください。
Q19T	コントローラの画面が真っ暗 です。	LCD調整設定が消灯(一番暗い状態)になっています。	P72~に従いLCD調整を行ってください。
Q20T	時刻を数ヶ月前に合わせたの に、狂っています。	多少の誤差を発生することがあります。	数分以内の誤差であれば異常ではございません。そのま まご使用いただいても通常のご使用に影響ございませ ん。但し人工衛星の自動導入・追尾を行う場合は時刻の 正確さが求められますので、観測直前に合わせ直してく ださい。
Q21T	自動導入を行っても目標天体 とは明らかに別の方向を向き ます。	観測地設定・時刻設定に間違いはありませんか。特に北 緯と南緯を間違えると追尾方向も逆になりますので自 動導入、追尾ともできなくなります。	P20~23に従い観測地設定、時刻設定、タイムゾーン (日本国内では+9)をご確認ください。
		自動導入1点目はセッティングの精度によります。	続けて他の星でアライメントを取得してみてください。
		アライメントを取得していません。	P35~に従いアライメントを取得してください。
		ホームポジションを正確に設定しないと自動導入に影 響することがあります。	P33~に従い正確にホームポジションを設定してください。
Q22T	STAR BOOK TENに表示されて いるのに自動導入できる天体 として選ぶことができません。	地平下にある天体(昇っていない天体)は自動導入する ことができません。	地平線より上にある天体を選んでください。

⑦ FAQ(トラブル編)							
質問No.	トラブル内容	原因	対策				
Q23T	地平線より上に昇っている天 体なのにSTAR BOOK TENで は自動導入できない天体とな っています(地平下にある)。	観測地設定または時刻設定に間違いはありませんか。 観測地設定や時刻設定に間違いがあると自動導入や自 動追尾ができないことがあります。	設定または時刻設定に間違いはありませんか。 設定や時刻設定に間違いがあると自動導入や自 ができないことがあります。				
Q24T	惑星、太陽、月の自動導入、追 尾ができません。	観測地設定または時刻設定に間違いはありませんか。 惑星や太陽、月については日周運動とは異なる固有運動 をしていますので、観測地設定や時刻設定に間違いがあ ると自動導入や追尾ができないことがあります。	P20~23を参考に観測地設定と時刻設定をもう一度お 確かめください。間違いがある場合は再設定してくだ さい。				
Q25T	彗星の自動導入、追尾ができ ません。	観測地設定、時刻設定に間違いがあると自動導入、追 尾ができないことがあります(Q24T参照)。 また軌道要素に間違いがあると自動導入、追尾ができ ないことがあります。 また公開されている軌道要素が最新のものでなく精度 が足りないことがあります。(※8)					
Q26T	人工衛星の自動導入、追尾が できません。	観測地設定、時刻設定、軌道要素(情報の正確さを含む ※8)に間違いがあると自動導入、追尾ができないこと があります(Q25T参照)。 特に人工衛星では1秒単位で時刻設定をしないと自動 導入、追尾ができないことがあります。	観測地設定と時刻設定をもう一度ご確認いただき、間違 いがある場合はP20~23を参考に再設定してください。 特に時刻設定は観測直前に1秒単位で設定されることを 推奨いたします。また軌道要素に間違いがないかをよく 確かめてください。特に公開されている人工衛星の軌道 要素変更は極めて頻繁に行われています。CelesTrak、 NASAホームページ(何れも海外機関)などを参考に常 に新しい軌道要素を入手し入力してください。				
Q27T	Q27T 使用方法に間違いはないはず だが、自動導入ができません。 望遠鏡鏡筒など搭載機材の光軸と赤緯軸の直交が取 ていないため死角ができています。 直交度(直交の精度)が悪いとそれに比例して自動 入の精度が得られにくくなります。		望遠鏡鏡筒などの搭載機材は赤緯軸と光軸が直角にな るように取付けてください。特に他社製品や自作機材を 搭載した場合、およびカメラ雲台など向きを自由に決め られる機材を搭載した場合は十分ご注意ください。				
Q28T	極軸望遠鏡をのぞいたが見え	極軸キャップ(フロント)を外していません。	極軸キャップ(フロント)を取外してください。(P63参照)				
	ません。	ウェイト軸を伸ばしていないため視界を遮っています。	ウェイト軸を伸ばしてください。( <b>P13</b> 参照)				
		赤緯軸が中途半端なところで止まっているため、極軸 望遠鏡が貫通していません。赤緯軸は電動で動かすた め、位置によっては極軸望遠鏡の視界を遮ることがあ ります。	極軸望遠鏡の対物側(極軸キャップのところ)をのぞき ながら極軸望遠鏡が貫通するまでコントローラー操作 で赤緯軸を回してください。 赤緯軸は赤道儀の電源投入後、"鏡筒を西向き水平にし てください"画面が出るところまで進めると右↑・↓キ ーで操作できます。(P64参照)				
Q29T	LANケーブルでパソコンと接 続たがIPアドレスを入れても ブラウザ画面がエラーとなり ます。	IPアドレスが間違っている可能性があります。	STAR BOOK TENコントローラーにてもう一度IPアド レスをご確認のうえお試しください( <b>P76~</b> 参照)。				
		ストレートLANケーブルでは通信できないことがあります。 	クロスLANケーブルでお試しください。				
Q30T	STAR BOOK TENでIPアドレ スを確認したが、	"Disconnected"と表示されている場合はLANケーブ ルが正しく接続されていません。	接続が外れていないかどうかをよくお確かめください。 外れているようでしたらしっかりと接続してください。				

※8:公開されている軌道要素には誤差が含まれることがあります。このため、入力値に間違いがなくても自動導入・追尾できないことがあります。

ストレートLANケーブルでは通信できないことがあります。

続を確認中です。

"Disconnected"(または" Waiting…")と表示されてい

ます。

クロスLANケーブルでお試しください。

(最大2分程度かかることがあります。)

"Waiting…"と表示されている場合はパソコン側が接 IPアドレスが表示されるまでしばらくお待ちください。


#### ビクセン製品ご相談窓口のご案内

ビクセン製品につきましてお問い合せ、ご相談(製品の使い方、お買い物相談、修理依頼など)がございましたら、お買い上げの販売店または下記 窓口までお問い合せください。

なお、修理をご依頼される際は、もう一度本書(説明およびFAQなど)をご覧になり、故障かどうかをよくご確認ください。 それでも正常に動作し ない(不具合と思われる)場合は、

- ① 商品名
- ② お買い上げ日
- ③ 症状または内容

を具体的にご連絡ください。

#### 1. 弊社ホームページからお問い合わせ

お問い合わせ窓口はこちらから

#### http://www.vixen.co.jp/contact/index.htm

WEBページの構成変更等によりリンク切れが起る場合は、トップページ(http://www.vixen.co.jp/)よりお進みください。

#### 2. お電話によるお問い合わせ

カスタマーサポートセンター

電話番号: 04-2969-0222(カスタマーサポートセンター専用番号)\*1

受付時間:9:00~12:00・13:00~17:30※2 (土・日・祝日、夏季休業、年末年始休業など弊社休業日を除く)

※1:都合によりビクセン代表電話に転送されることもございます。 また、お電話によるお問合せは時間帯によってつながりにくい場合もございます。 お問い合わせにスムーズに回答させていただくためにも、"1.弊社ホームページからお問い合わせ"に てご用意しているお問い合わせメールフォームのご利用をお薦めいたします。

※2:受付時間は変更になる場合もございます。弊社ホームページなどでご確認ください。

# Vixen



## **Vixen** SXD2赤道儀取扱説明書記載間違いに関するお詫び

平素よりビクセン製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

このたびお買い求めいただきましたSXD2赤道儀に付属の取扱説明書において記載の間違いが判明いたしました。 お客様にはご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございません。謹んでお詫びするとともに、訂正内容をお知らせいたします。 今後このようなことにならないよう、一層努力する所存でございます。

記

ペ-	-ジ	記載間違い箇所	訂正前	訂正後
Р	4	SXD2赤道儀のセット内容	M8ネジx2本 六角レンチ6mm、1.5mm(各1本)	実際には使用しませんので 付属していません。
Р	6	スペック 電源・消費電流	(約16kg搭載時:最大搭載)	(約15kg搭載時:最大搭載)

製品についてのお問い合わせ

弊社ホームページ(下記URL参照)のお問い合わせメールフォーム、またはお電話にて受け付けております

カスタマー サポートセンター 電話番号:04-2969-0222(カスタマーサポートセンター専用番号) 受付時間:9:00~12:00、13:00~17:30 (土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業など弊社休業日を除く)

株式会社ビラセ 〒359-0021 埼玉県所沢市 東所沢 5-17-3 表] TEL: 04-2944-4000 FAX: 04-2944-4045 [代 [ホームページ] http://www.vixen.co.jp

60+-11-0.1S-(CLC1160)(M)